Asahi

自然冷媒（CO_2）ヒートポンプ給湯機〔エコアース〕
取扱説明書

形名

ASQ-3703FS
ASQ-4603FN
ASQ-3703FT
ASQ-4603FT

	貯湯ユニット形名	ヒートポンプユニット形名
ASQ-3703FS	AQT-37CFS	AQH-45C
ASQ-4603FN	AQT-46CFN	AQH-60C
ASQ-3703FT	AQT-37CFT	AQH-45C
ASQ-4603FT	AQT-46CFT	AQH-60C

このたびは当社製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

●このヒートポンプ給湯機は電気料金の割引が適用されます。お買い求めの販売店にご相談のうえ、お早めに最寄りの電力会社にお申し出ください。

●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は保証書・取扱ガイドと共に必ず保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
●保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
●取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
●電力会社により昼夜間の時間帯区分が異なりますので、詳しい内容については最寄りの電力会社にお問い合わせください。
●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

20630480 (K)

もくじ

ご使用の前に
特　長……1
特に注意していただきたいこと……3
各部のなまえとはたらき
　外観図……10
　台所リモコン……11
　浴室リモコン……13
　増設リモコン……15
　機能設定について……16

給湯・ふろ運転
時刻の設定……17
契約電力制度の設定……21
沸き上げ設定……23
沸き増し運転……30
給湯温度の設定……31
数日間運転を停止する方法……32
沸き増し停止……34
ふろ自動運転……35
ふろ自動運転の予約時刻の設定……37
ふろ自動運転の予約……39
ふろ水位の設定……40
ふろ温度の設定……40
ふろ保温時間の設定……41
高温たし湯運転……42
たし湯運転……43
さし水運転……44
追いだき運転……45

ナビ
ナビ表示……46
ナビ履歴の初期化……48

その他の機能
お知らせ表示……50
お知らせ表示の設定……51
リモコンの設定……53
インターホン機能……67
配管洗浄機能……75
チャイルドロックの設定……77
災害時などにお湯を取出す方法……78
凍結予防……79

故障かな？
停電したとき……79
地震などの被害があったとき……79
使用上の注意……80
安全装置……80
故障・異常の見分けかたと処置方法
　修理を依頼する前に……81
　エラーコード(警報)表示……84
部品交換について……85

長く使ってたくために
長期間使用しない場合……86
水抜き後の再使用方法……89
日常の点検・手入れのしかた……91
定期点検……93
仕　様……94
アフターサービス……96

特　長

エコアースとは

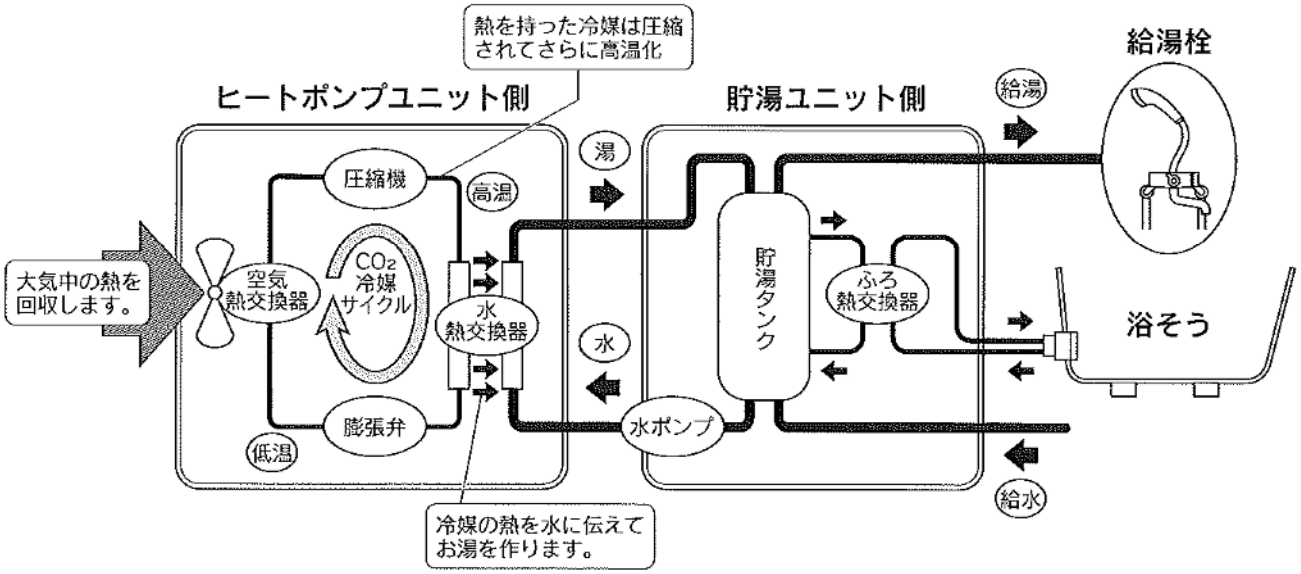
地球(アース)環境にやさしい(エコロジー)
省エネ(エコノミー)次世代給湯機です。

1 地球環境にやさしい自然冷媒(CO_2)を使用しています。

●オゾン層破壊係数はゼロです。(破壊しません。)
●地球温暖化係数は従来冷媒の約 1/1700 です。

2 省エネ性に優れたヒートポンプ方式

●大気中の熱を回収してお湯をつくるヒートポンプ方式です。
●圧縮機により電気を効率よく利用するので、従来の電気温水器よりお得です。



●時間帯別電灯 / 季節別時間帯別電灯契約をすることで割安な夜間にお湯を沸き上げます。
お湯が足りなくなったら昼間に効率よく沸き上げます。

3 火を使わない安全設計

●火を使わず電気でお湯を沸かします。
●電気ヒータなしで最高 90℃のお湯を沸かせます。

便利な機能

選べる「沸き上げ設定」

日々の使用量を学習して、沸き上げ湯量を自動で設定する「**おまかせ**」設定と、お湯の使用状況に合わせて「**多め**」設定、「**深夜のみ**」設定を選択できます。

23ページ

「沸き増し停止」で省エネ

「今日はもう少ししかお湯を使用しないので夜間電力時間帯までお湯を沸かさなくていい」、そんな日は「**沸き増し停止スイッチ**」で昼間時間帯の沸き増しをストップできます。

34ページ

「ナビ」表示

あとどれくらいお湯が使えるか、毎日どれくらいお湯を使っているか(過去７日間)、現在の沸き上げ状態を表示します。

46ページ

「お知らせ」表示

貯湯タンク内のお湯が少なくなったときに表示と音声でお知らせします。

50ページ

運転のしくみ

(1)夜間時間帯になると給水温度、設定温度などにより、マイコンが所要通電時間を算出します。
(2)所定の時間になるとヒートポンプユニットへ通電を開始します。

特に注意していただきたいこと

●ご使用の前に、この「**特に注意していただきたいこと**」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示について次のような意味があります。

	一般的な禁止		一般的な危険・警告・注意		必ず行うこと
	接触禁止		高温注意		アースを接続すること
	分解禁止		感電注意		

⚠危険(DANGER)

ASQ-3703FS・ASQ-4603FNの場合
浴室内設置禁止（感電・事故の原因）

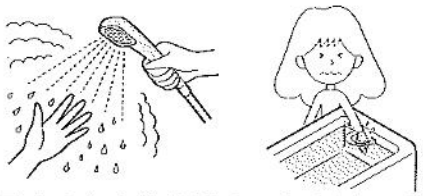
貯湯ユニットは浴室内に設置しないでください。

ASQ-3703FT・ASQ-4603FTの場合
屋内設置禁止（感電・事故の原因）

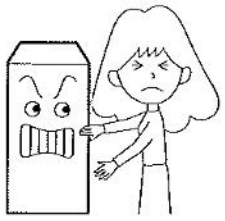
貯湯ユニットは屋内に設置しないでください。

⚠警告(WARNING)

高温注意



シャワーを使用するときや入浴するときは、手で湯温を確かめてください。また給湯栓を開けると、熱湯が吹き出ることがあります。
やけどに注意してください。



使用中は高温部に手など触れないでください。
やけどをすることがあります。

給湯時は混合水栓に手を触れない

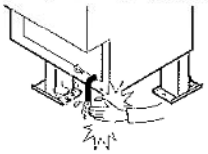


お湯を出しているときに混合水栓に触れると、やけどをすることがあります。

電源は単相200Vを使用する（火災・事故の原因）

電源は単相200Vで、専用回路が必要です。配線用遮断器(ブレーカ)、電線の太さなどは機器にあったものを使用してください。

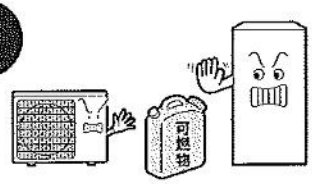
排水時は配管や排水に手を触れないで、ゆっくり操作する



熱湯が勢いよく出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。

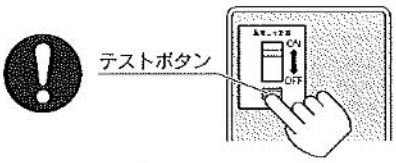
⚠警告(WARNING)

周囲の確認（火災の原因）



機器の周囲に可燃物・灯油・ガス・ガソリンなど引火性のもの、危険物などがないことを確認してください。

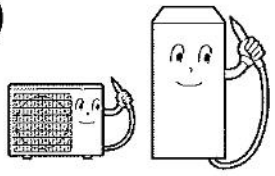
漏電遮断器の作動確認



漏電遮断器が故障したまま使用すると、漏電のときに感電の原因になります。「**日常の点検・手入れのしかた**」に従って作動テストを行ってください。

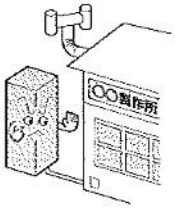
92 ページ

アースの確認



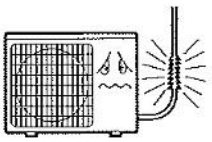
この機器はアースが必要です。アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

家庭用以外の使用禁止



この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。業務用に使用すると保証の対象外になります。

電源コードを破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままで使用しない



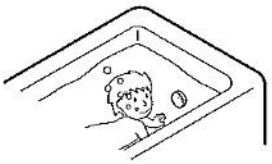
重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると、破損して感電・火災の原因になります。

ヒートポンプユニットのフィンに触れたり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない



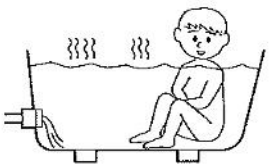
ファンが高速で回転していますので、けがの原因になります。

子どもに注意



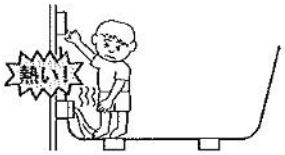
循環口付近でもぐらないでください。特に小さなお子様には注意してください。
思わぬ事故の原因になります。

高温たし湯運転をするときは、循環口から離れる



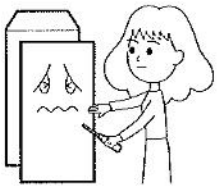
循環口から熱いお湯が出ますので、やけどのおそれがあります。

浴そうにお湯がないときは高温たし湯スイッチを押さない



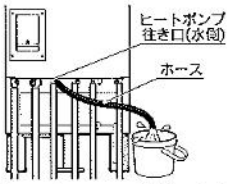
循環口から熱いお湯が出ますので、やけどのおそれがあります。浴そうや循環口のお手入れを行うときは、特に注意してください。

修理技術者以外は前パネル、ヒートポンプユニットのカバーを外さない



感電のおそれがあります。

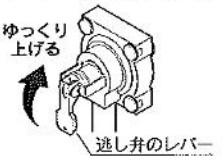
取水はお湯が冷めてから行う



熱湯が出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。

78 ページ

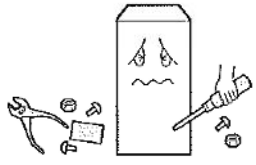
逃し弁のレバーが熱くなります



逃し弁のレバーは熱くなりますので、やけどに注意してください。また、レバーを急に上げると熱湯が出ることがありますので、ゆっくり操作してください。

分解・修理・改造をしない

（感電・漏電・火災の原因）



故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行う

突然熱湯が出てやけどをすることがあります。

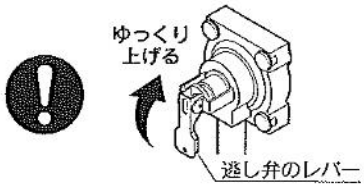
異常(こげ臭いなど)時は、200V 電源ブレーカを「切」にし、お買い求めの販売店にご連絡ください。

異常のまま使用すると故障や感電・火災の原因になります。

特に注意していただきたいこと

⚠注意(CAUTION)

逃し弁の確認



逃し弁が故障したまま使用すると、事故の原因になります。
「日常の点検・手入れのしかた」に従って作動テストを行ってください。
92ページ

安全装置が作動したときは



安全装置が作動したときは、この説明書に従って処置をしてください。
処置をしないと火災・事故の原因になります。
80ページ

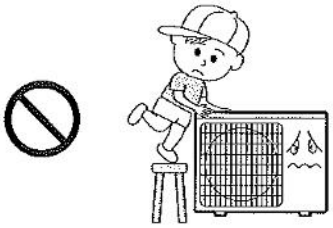
純正部品以外は使用しない

(事故・故障の原因)



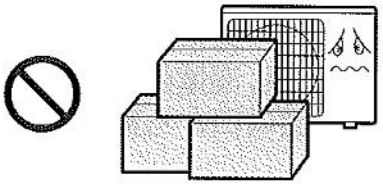
部品は必ずAsahi自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機純正部品(指定された部品)を使用してください。

ヒートポンプユニットに乗ったり、ものを載せたり配管に力を加えない



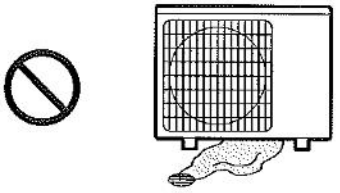
落下・転倒などによりけがや、やけどの原因になることがあります。

ヒートポンプユニットの吸込口や吹出口をふさがない



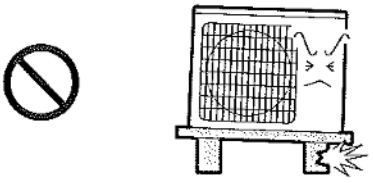
能力低下や故障の原因になることがあります。

ヒートポンプユニットの真下に濡れて困るものを置かない



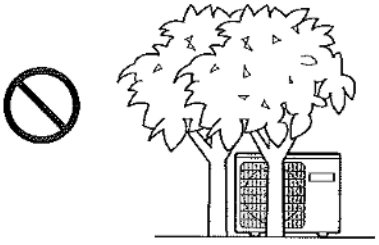
ドレン水が出ます。

ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない



傷んだ状態で放置するとヒートポンプユニットの落下につながりけがの原因になります。

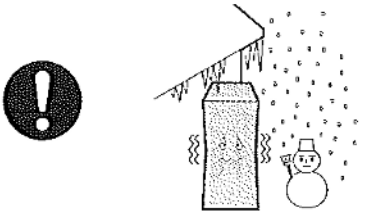
ヒートポンプユニットの風を動植物に直接当てない



動植物に悪影響をおよぼす原因になります。

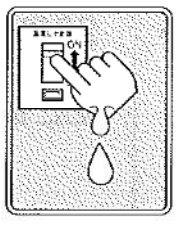
配管の保温工事を確認する

(故障の原因)



冬期には凍結のおそれがある地域だけでなく暖かい地方でも、急な寒波のために機器や配管が凍結して破損することがあります。
79ページ

濡れた手危険



漏電遮断器のレバーを濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあり、危険です。

操作部・点検口のふたは閉じる

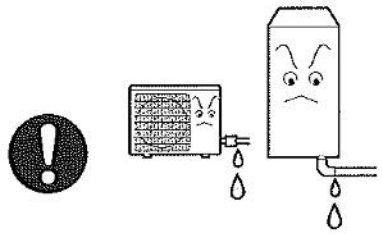
(ショート・感電・漏電の原因)



操作部・点検口のふたは開いたままにしないで、操作・点検の後は必ず閉じてください。

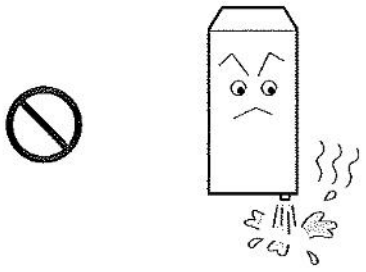
⚠注意(CAUTION)

水漏れの確認



機器・配管・浴そう内の循環口などから水漏れがないことを確認してください。
事故の原因になります。

熱湯の排水禁止
(やけどの原因)

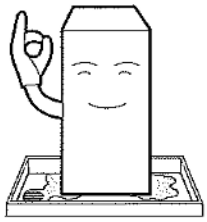


貯湯ユニット内のお湯は冷めてから排水してください。

ヒートポンプユニットは屋内に設置しない

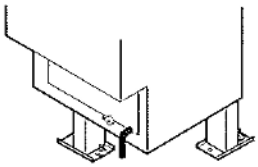
正常に沸き上がらないことがあります。

防水処理・排水処理の確認



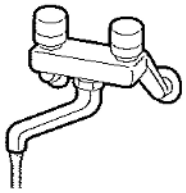
貯湯ユニットを屋内に設置する場合は、床面が防水処理・排水処理されていることを確認してください。処理されていないと水漏れが起きた場合に大きな被害の原因になります。

貯湯ユニットの固定確認
(事故の原因)



貯湯ユニットがアンカーボルトで固定されていることを確認してください。転倒すると危険です。

用途に注意



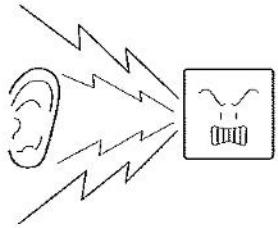
家庭の給湯、シャワー以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

貯湯ユニットの上に乗ったり、配管に力を加えない



貯湯ユニットの上に乗ったり、配管をゆらさないでください。
貯湯ユニットが倒れたり、配管が破損して事故の原因になります。

リモコンのスピーカーに耳を近づけて使用しない



大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。

水抜きをしない場合、冬期は漏電遮断器のレバーを「OFF」にしない
(故障の原因)



配管が凍結し、水漏れすることがあります。

1カ月以上使用しないときは機器の水抜きを行う

長期間使用しないと、水質が変化することがあります。

86～88ページ

井戸水は使用しない

ヒートポンプユニットの熱交換器にスケールが付着し、正常に沸き上がらなくなることがあります。

適用契約電力制度の設定を変更しない

適用契約電力制度が合っていないと、思わぬ電気料金がかかることがあります。

特に注意していただきたいこと

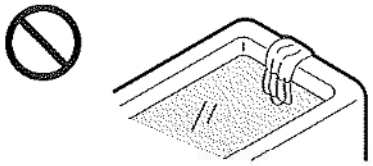
お願い(NOTICE)

湯切れについて



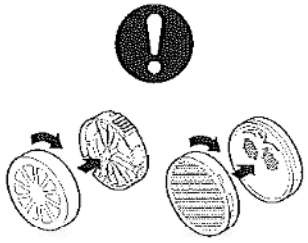
シャワーを使うときや洗いものをするときは、お湯をこまめに止めてください。
お湯を出したままにすると湯切れの原因になります。

循環口をふさがない
(故障の原因)



浴そう循環口を手や足、タオルなどでふさがないでください。

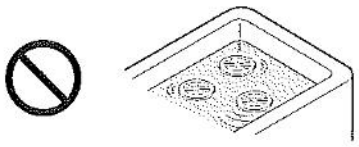
循環口フィルタは必ずつける



循環口の形状は種類により異なります。

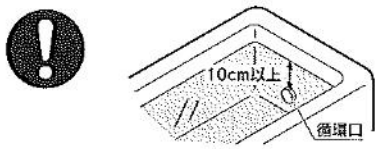
循環口フィルタを外して使用しないでください。循環ポンプに髪の毛やゴミがつまり故障の原因になります。

循環口フィルタのつまりに注意



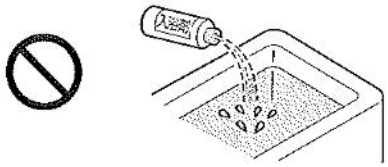
浴そうにミカンやレモンなどを浮かべて使用しないでください。またポプリなどを使用する場合は、袋などに入れて使用してください。循環口につまると故障の原因になります。

空だき注意 (故障の原因)



追いだきをするときには循環口から10cm以上の水位を保ってください。

水質・入浴剤に注意



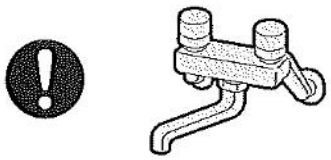
温泉水や、イオウ、酸、アルカリ、油分を含んだ入浴剤、洗剤は本体や配管、循環ポンプの腐食などの原因になりますので使用しないでください。

石けんの使用禁止

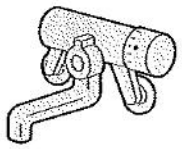


浴そう内では石けんやボディーシャンプーを使用しないでください。次回使用時に泡が出たり、故障の原因になります。

混合水栓について



水栓は逆止弁付混合水栓で通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。水圧の低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しないでください。



特に浴室ではやけど防止のため、サーモスタット付混合水栓(通水抵抗の少ないもの)を使用してください。リモコンの設定温度は混合水栓の設定温度より高めにして使用してください。

浴そうや洗面用具などのお手入れ

配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。
使い始めに発生しやすく、時間の経過とともに発生しにくくなります。
汚れを放置しますと取れにくくなりますので、こまめに掃除してください。
汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を使用するか、つけ置き洗いをすると効果的です。
その後、水で充分に洗い流してください。

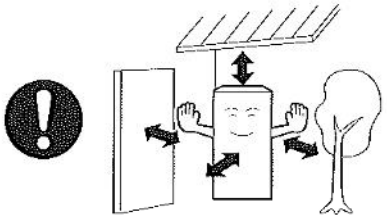
お願い(NOTICE)

リモコンに水をかけない



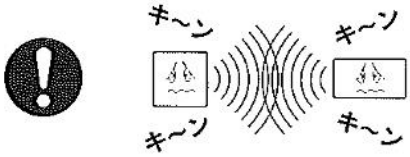
リモコンに水をかけないでください。マイクやスピーカーの穴に水がはいり、マイクの感度が落ちる、スピーカーの音が聞こえにくくなるなど、故障の原因になります。

サービススペースの確保



機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。

リモコンの設置場所について



台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合、通話をするとハウリング(キーンなどの大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は、お買い求めの販売店に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。

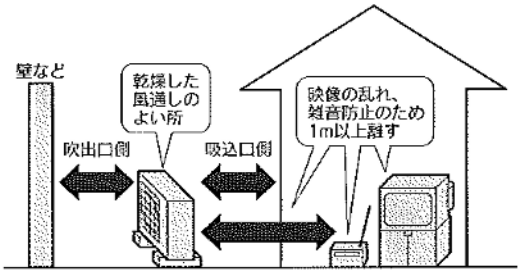
この機器は上水道用です

水道法に規定された水質基準に適合した水を使用してください。地下水・井戸水・温泉水を使用すると、水質によっては機器内に異物が付着し、水漏れ・故障の原因になります。
この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

特に注意していただきたいこと

設置場所について

●設置場所に余裕がある場合は、できるだけ広い間隔を取ってください。
●ヒートポンプユニットからの排水は水はけのよい場所にしてください。



■次のような場所に設置されていないことを確認してください。

●油・蒸気・油煙の発生する場所
●温泉地などの硫化ガスの発生する場所
●アンモニアにさらされる場所
●湿気の多い場所
●積雪により、ヒートポンプユニットがふさがれてしまう場所
●最低気温が－10℃を下回るような場所
●海浜地区など塩分の多い場所
●人の出入りの多い場所、階段や避難口の近く
●寝室の近くや運転音が隣家の迷惑になる場所
●火気・引火物が近くにある場所

■運転音にも配慮を

次のような場所をお選びください。
●貯湯ユニットの重量に充分耐え、騒音や振動が増大しない場所
●ヒートポンプユニットの吹出口からの風や運転音が隣家の迷惑にならない場所

■電気工事について

●電源は必ずエコアース専用回路を設置してください。

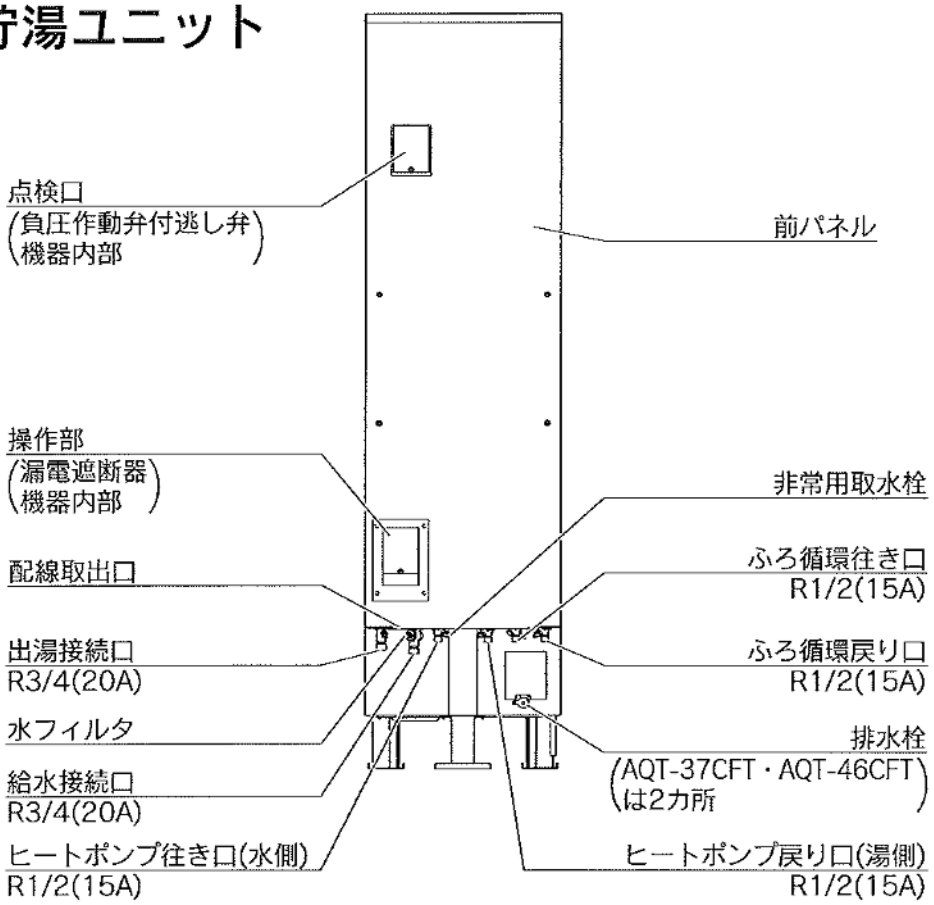
■移設について

●増改築・引っ越しなどで、製品を移設したり再据付けする場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

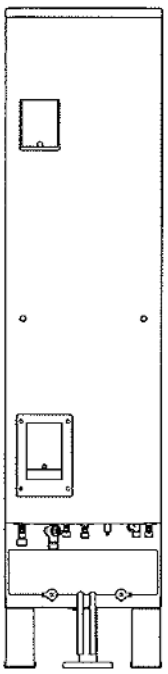
各部のなまえとはたらき

外観図

貯湯ユニット

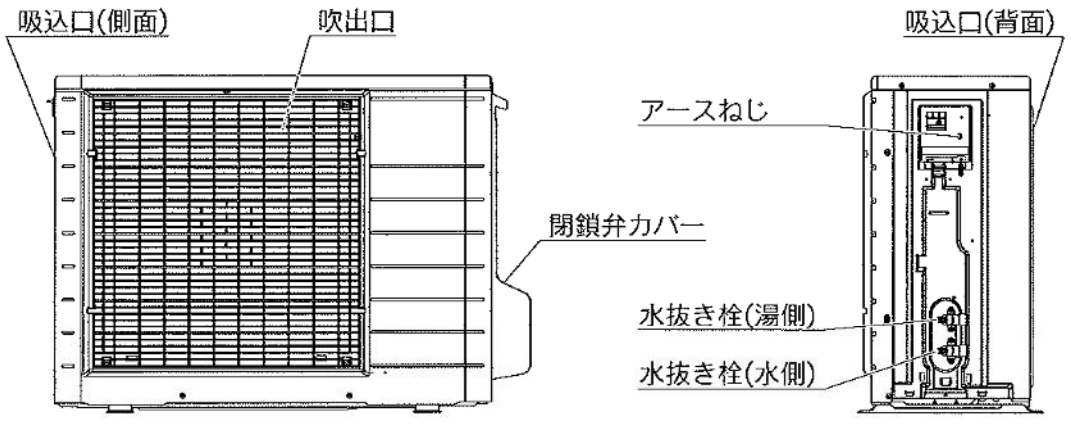


〈 AQT-37CFS・AQT-46CFN 〉



〈 AQT-37CFT・AQT-46CFT 〉

ヒートポンプユニット



【閉鎖弁カバーを外した場合】

台所リモコン (CMR-2505P…インターホン付き)

①マイク(側面)
浴室リモコンと通話するときに使います。

②ふろ自動スイッチ(ふろ自動ランプ)
ふろ自動運転をするときに押します。
点灯…保温運転中です。
点滅…お湯はり中またはお湯はり準備中です。

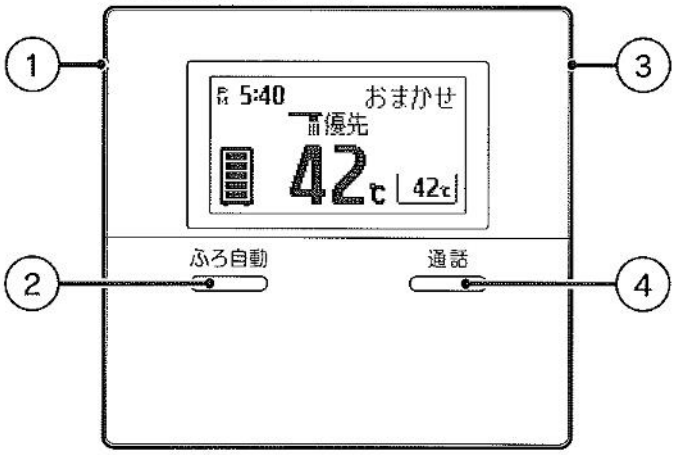
③スピーカー(側面)
ここから音声や音が出ます。

④通話スイッチ(通話ランプ)
浴室リモコンと通話するときに押します。
点灯…台所リモコンから通話ができます。
点滅…浴室リモコンから通話ができます。

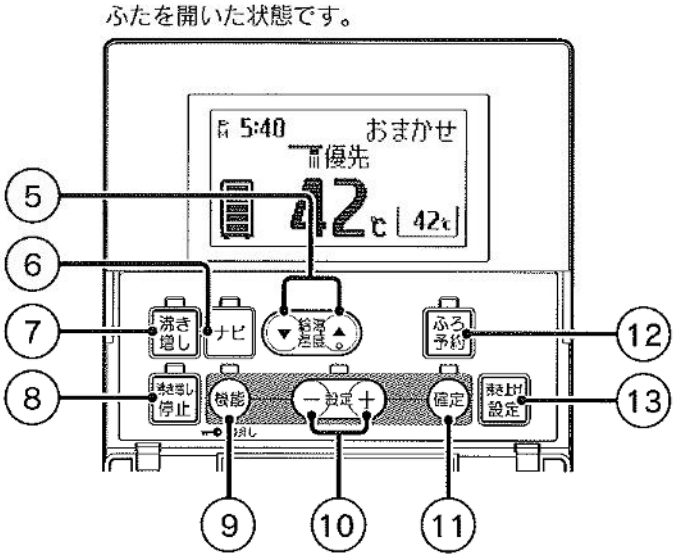
⑤給湯温度調節スイッチ
給湯温度の調節、ナビ表示を切替えるときに押します。
●給湯温度の調節
優先表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。
▲…あつくします。
▼…ぬるくします。
温度調節範囲…約32~60℃
32℃・35℃・37~50℃(1℃ごと)・55℃・60℃に設定できます。
●ナビ表示の切替
▲…進む。
▼…戻る。

⑥ナビスイッチ(ナビランプ)
使用可能湯量、使用湯量履歴、給湯使用量、湯量モニタを確認するときに押します。
ナビ表示中に点灯します。

ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。



ランプはスイッチ全体が均一に光るものではありません。

⑦沸き増しスイッチ(沸き増しランプ)
沸き増しをするときに押します。
沸き増し運転中に点灯します。

⑧沸き増し停止スイッチ(沸き増し停止ランプ)
昼間時間帯の沸き増しを停止するときに押します。
沸き増し停止中に点灯します。

⑨機能スイッチ
機能設定をするときに押します。
約3秒間押し続けると、チャイルドロックの設定・解除ができます。
16・77ページ

⑩設定スイッチ
選択した機能の設定を変更するときに押します。
+…進む。
−…戻る。

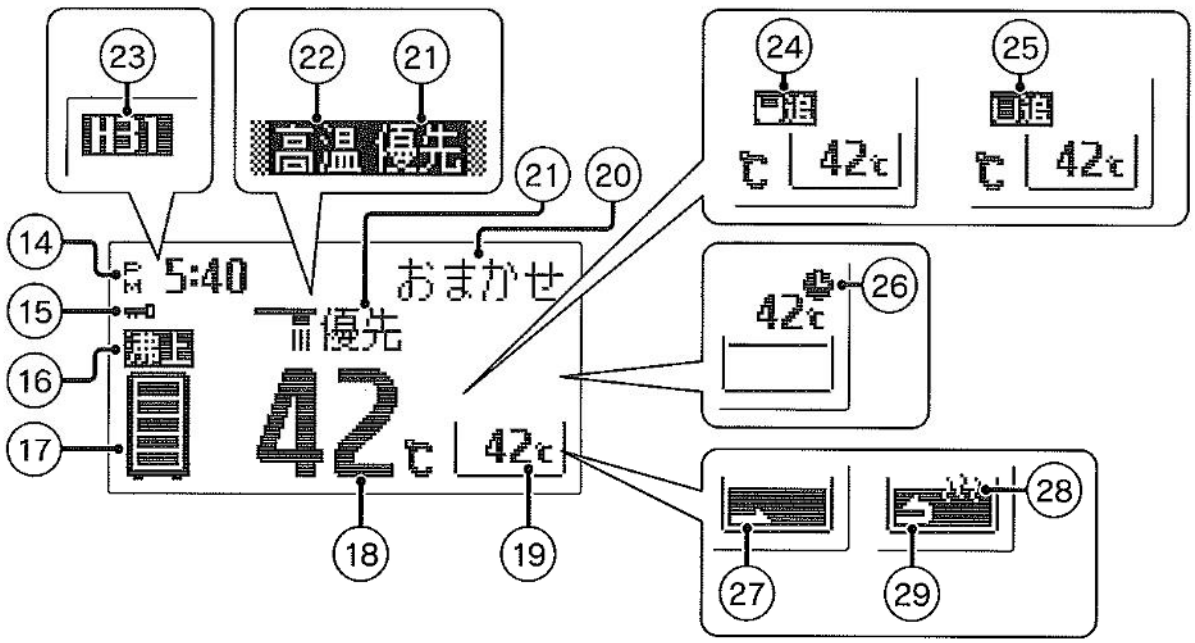
⑪確定スイッチ
機能設定の内容を確定するときに押します。

⑫ふろ予約スイッチ(ふろ予約ランプ)
ふろ自動運転を予約するときに押します。
ふろ自動運転の予約中に点灯します。

⑬沸き上げ設定スイッチ
沸き上げ設定を変更するときに押します。

ディスプレイの特性について
●液晶ディスプレイは表示内容やコントラスト調整などにより明るさにムラが生じますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイの画面を正面以外から見ると表示色が変化して見える場合がありますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイは気温が下がると表示の切替わりが遅くなる場合がありますが故障ではありません。

表示画面

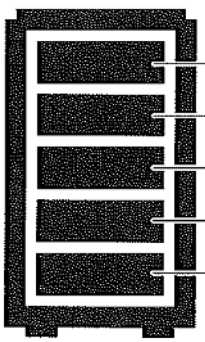


⑭現在時刻表示	⑲ふろ温度表示	㉒高温表示	㉖ふろ予約表示
現在時刻を表示します。	ふろ設定温度(沸き上げ温度)を表示します。 ◎お湯はり表示中・追いだき表示中・保温表示中・ふろ予約表示中は表示位置が変わります。	給湯設定温度が55℃以上のときに表示します。	ふろ自動運転の予約中に表示します。
⑮チャイルドロック表示		**㉓エラーコード(警報)表示**	**㉗お湯はり表示**
チャイルドロックが設定されているときに表示します。		異常時に点滅して異常をお知らせします。	ふろ自動運転や高温たし湯運転、たし湯運転、さし水運転で浴そうにお湯・水を入れているときに表示します。
⑯沸き上げ表示	**⑳作動表示部**	**㉔追いだき注意表示**	
沸き上げ中に表示します。	お知らせ表示の内容、沸き上げモードなどの作動状態を文字で表示します。	残湯量が少ない場合に表示します。50ページ	**㉘保温表示**
⑰残湯量表示			保温運転中や追いだき中に表示します。
貯湯タンク内のお湯の量を表示します。	**㉑優先表示**	**㉕追いだき不可表示**	**㉙追いだき表示(循環表示)**
⑱給湯温度表示	この表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。	残湯量が少なく追いだきができない場合に表示します。50ページ	追いだき中や配管洗浄中に表示します。
給湯設定温度を表示します。			

●表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

■残湯量のめやす

●残湯量表示は45℃以上のお湯の量を表示します。



	ASQ-3703FS ASQ-3703FT	ASQ-4603FN ASQ-4603FT
	約300L以上	約370L以上
	約240～300L	約310～370L
	約190～240L	約230～310L
	約100～190L	約150～230L
	約50～100L	約50～150L
	(50L未満 消灯)	(50L未満 消灯)

浴室リモコン (YST-2504P…インターホン付き)

①マイク(側面)

台所リモコンと通話するときに使います。

②ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)

ふろ自動運転をするときに押します。
点灯…保温運転中です。
点滅…お湯はり中またはお湯はり準備中です。

③追いだきスイッチ (追いだきランプ)

追いだきをするときに押します。
追いだき運転中に点灯します。

④高温たし湯スイッチ (高温たし湯ランプ)

浴そうに高温たし湯をするときに約2秒間押します。
高温たし湯運転中に点灯します。

⑤たし湯スイッチ (たし湯ランプ)

浴そうにたし湯をするときに押します。
たし湯運転中に点灯します。

⑥通話スイッチ (通話ランプ)

台所リモコンと通話するときに押します。
点灯…浴室リモコンから通話ができます。
点滅…台所リモコンから通話ができます。

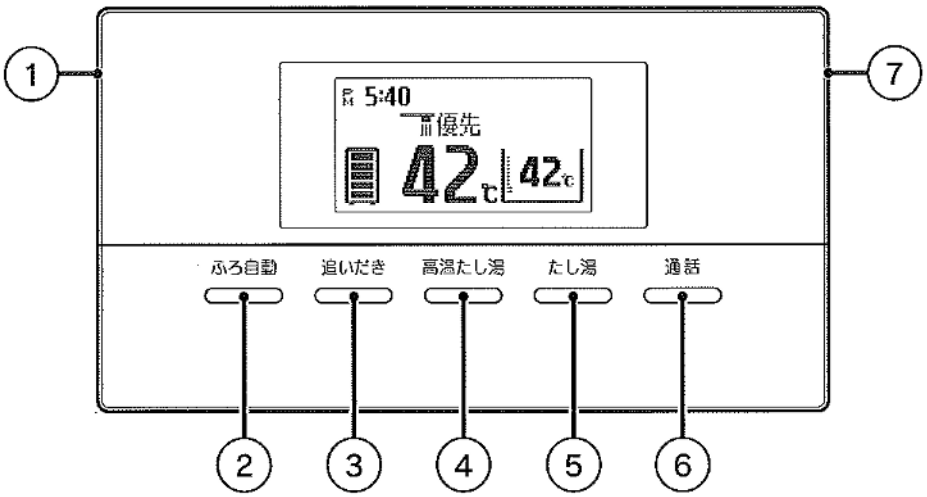
⑦スピーカー(側面)

ここから音声や音が出ます。

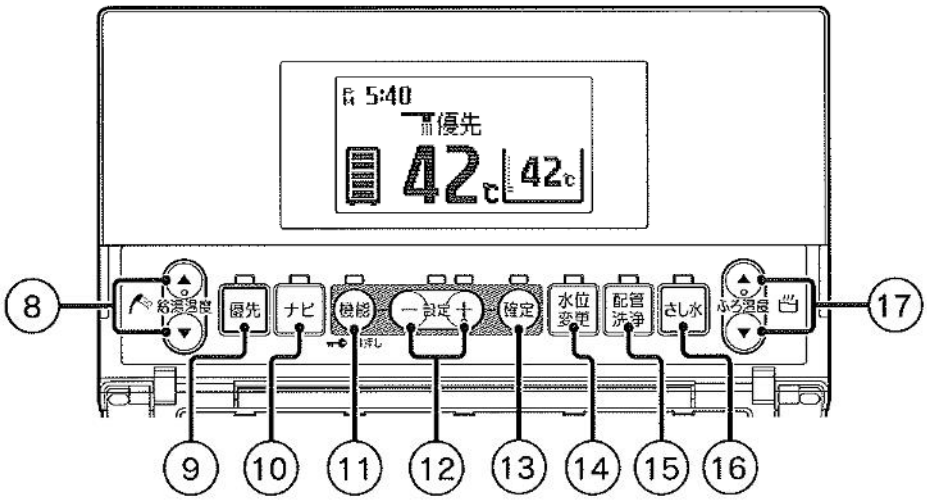
⑧給湯温度調節スイッチ

給湯温度の調節、ナビ表示を切替えるときに押します。
●給湯温度の調節
優先表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。
▲…あつくします。
▼…ぬるくします。
温度調節範囲…約32~60℃
32℃・35℃・37~50℃(1℃ごと)・55℃・60℃に設定できます。
●ナビ表示の切替
▲…進む。
▼…戻る。

ふたを閉じた状態です。



ふたを開いた状態です。

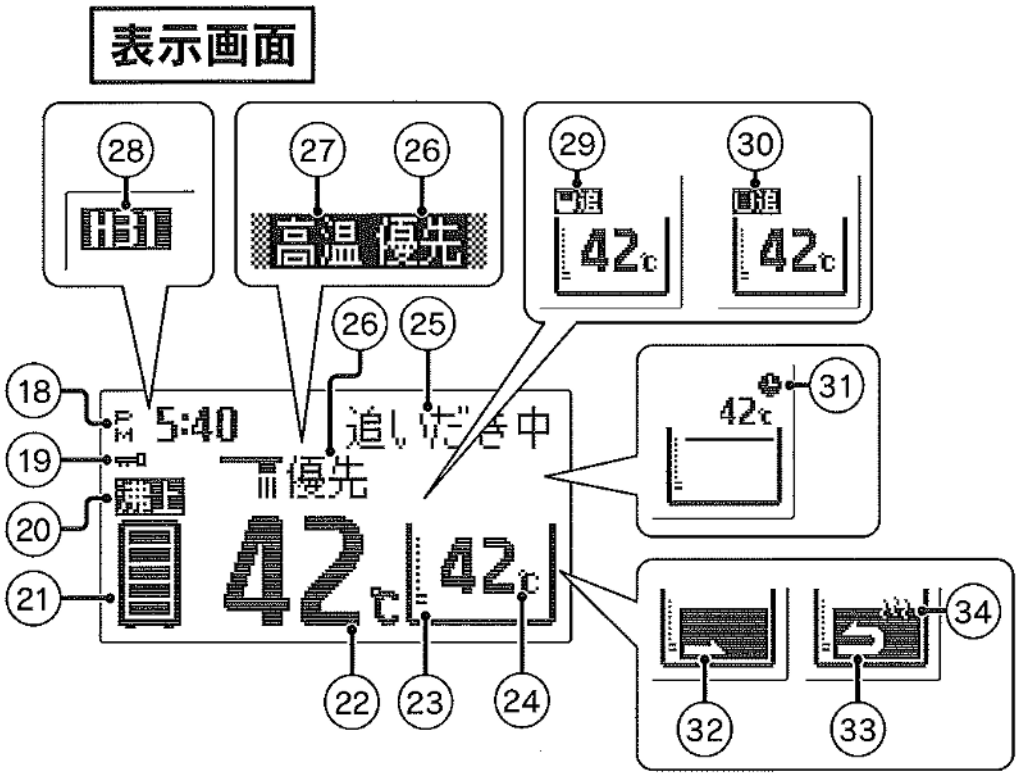


ランプはスイッチ全体が均一に光るものではありません。

ディスプレイの特性について

●液晶ディスプレイは表示内容やコントラスト調整などにより明るさにムラが生じますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイの画面を正面以外から見ると表示色が変化して見える場合がありますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイは気温が下がると表示の切替わりが遅くなる場合がありますが故障ではありません。

表示画面



⑨優先スイッチ（優先ランプ）
浴室リモコンで給湯温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

⑩ナビスイッチ（ナビランプ）
使用可能湯量、使用湯量履歴、給湯使用量、湯量モニタを確認するときに押します。
ナビ表示中に点灯します。

⑪機能スイッチ
機能設定をするときに押します。
約3秒間押し続けると、チャイルドロックの設定・解除ができます。
16・77ページ

⑫設定スイッチ
選択した機能の設定を変更するときに押します。
＋…進む。
－…戻る。

⑬確定スイッチ
機能設定の内容を確定するときに押します。

⑭水位変更スイッチ
ふろ自動運転で、ふろ水位(お湯はり量)の設定を変更するときに押します。
押すとふろ水位(お湯はり量)が変更できます。

⑮配管洗浄スイッチ（配管洗浄ランプ）
ふろ配管に残っている残水を洗い流すとき、または配管洗浄剤を使用して配管洗浄するときに押します。
配管洗浄中に点灯します。

⑯さし水スイッチ（さし水ランプ）
浴そうにさし水をするときに押します。
さし水運転中に点灯します。

⑰ふろ温度調節スイッチ
ふろ自動運転、追いだき運転、たし湯運転の温度を調節するときに押します。
▲…あつくする。
▼…ぬるくする。
温度調節範囲…約35～48℃
1℃ごとに設定できます。

⑱現在時刻表示
現在時刻を表示します。

⑲チャイルドロック表示
チャイルドロックが設定されているときに表示します。

⑳沸き上げ表示
沸き上げ中に表示します。

㉑残湯量表示
貯湯タンク内のお湯の量を表示します。

㉒給湯温度表示
給湯設定温度を表示します。

㉓ふろ水位表示
ふろ自動運転でお湯はりをする水位と自動たし湯をする水位を表示します。

㉔ふろ温度表示
ふろ設定温度(沸き上げ温度)を表示します。
◎お湯はり表示中・追いだき表示中・保温表示中・ふろ予約表示中は表示位置が変わります。

㉕作動表示部
お知らせ表示の内容などの作動状態を文字で表示します。

㉖優先表示
この表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。

㉗高温表示
給湯設定温度が55℃以上のときに表示します。

㉘エラーコード(警報)表示
異常時に点滅して異常をお知らせします。

㉙追いだき注意表示
残湯量が少ない場合に表示します。
50ページ

㉚追いだき不可表示
残湯量が少なく追いだきができない場合に表示します。
50ページ

㉛ふろ予約表示
ふろ自動運転の予約中に表示します。

㉜お湯はり表示
ふろ自動運転や高温たし湯運転、たし湯運転、さし水運転で浴そうにお湯・水を入れているときに表示します。

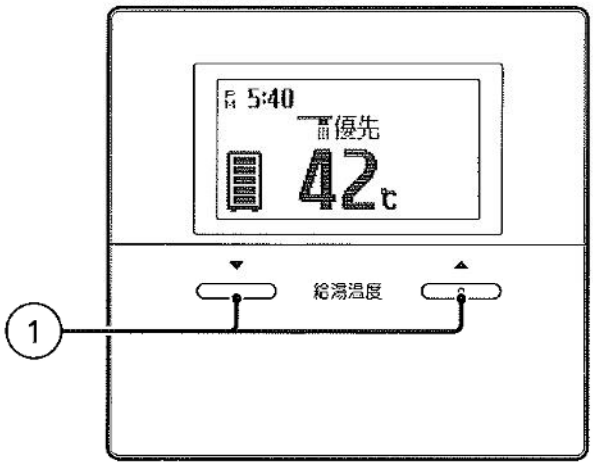
㉝追いだき表示（循環表示）
追いだき中や配管洗浄中に表示します。

㉞保温表示
保温運転中や追いだき中に表示します。

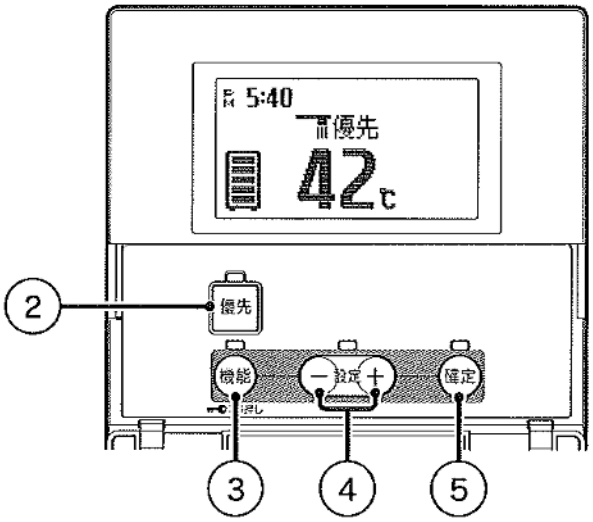
●表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

増設リモコン(別売) (CMR-2505S)

ふたを閉じた状態です。



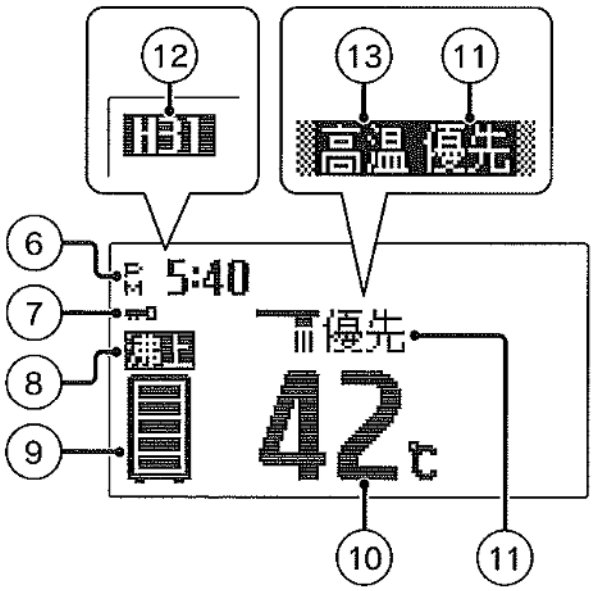
ふたを開いた状態です。



①給湯温度調節スイッチ	⑤確定スイッチ
給湯温度の調節をするときに押します。 優先表示が点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。 ▲…あつくします。 ▼…ぬるくします。 **温度調節範囲…約32~60℃** 32℃・35℃・37~50℃(1℃ごと)・55℃・60℃に設定できます。	機能設定の内容を確定するときに押します。
②優先スイッチ(優先ランプ)	**⑥現在時刻表示**
増設リモコンで給湯温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。	現在時刻を表示します。
③機能スイッチ	**⑦チャイルドロック表示**
機能設定をするときに押します。 約3秒間押し続けると、チャイルドロックの設定・解除ができます。 16・77ページ	チャイルドロックが設定されているときに表示します。
④設定スイッチ	**⑧沸き上げ表示**
選択した機能の設定を変更するときに押します。 +…進む。 −…戻る。	沸き上げ中に表示します。
	⑨残湯量表示
	貯湯タンク内のお湯の量を表示します。
	⑩給湯温度表示
	給湯設定温度を表示します。
	⑪優先表示
	この表示が点灯しているときのみ給湯温度の調節ができます。
	⑫エラーコード(警報)表示
	異常時に点滅して異常をお知らせします。
	⑬高温表示
	給湯設定温度が55℃以上のときに表示します。

●表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

表示画面



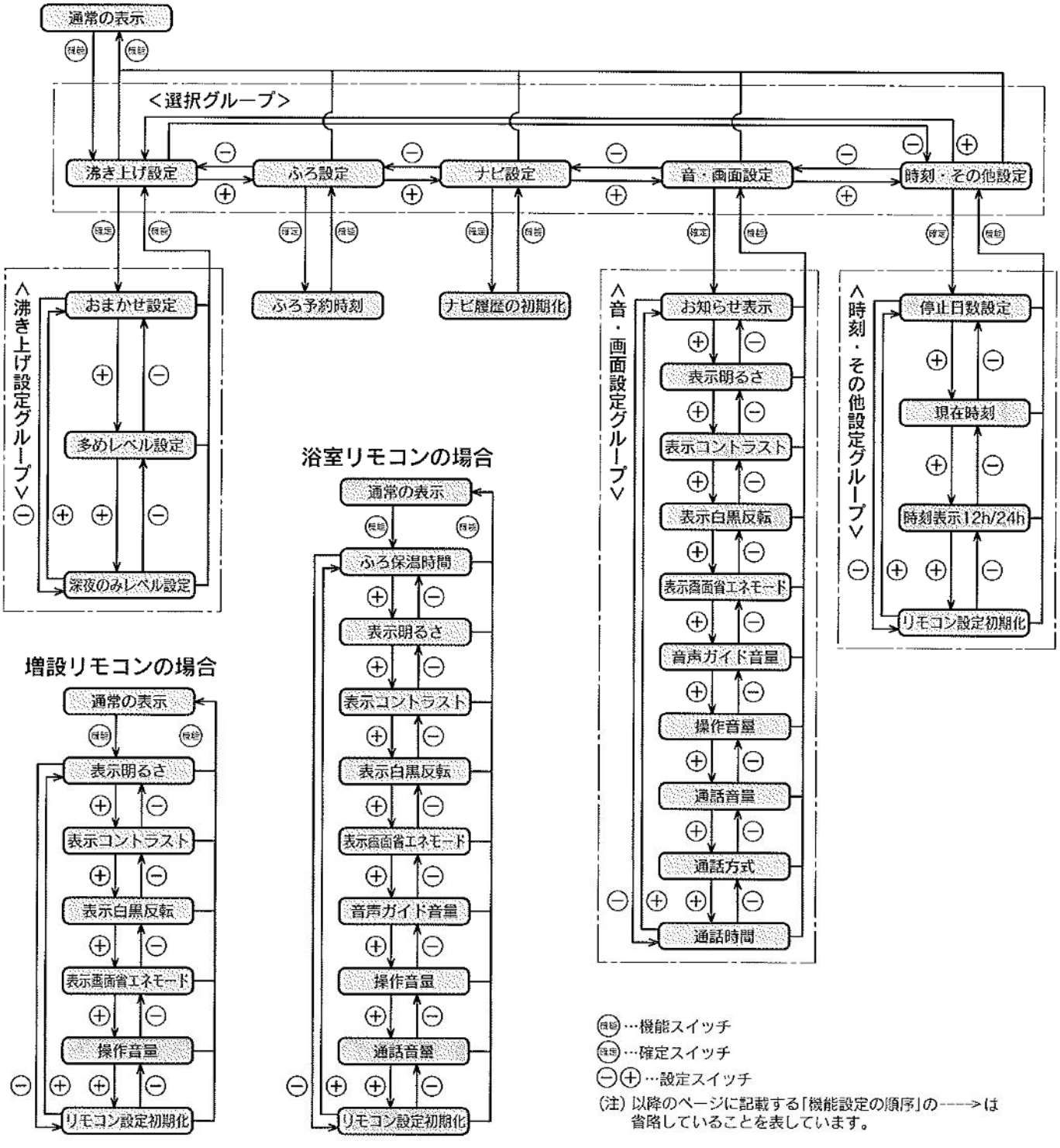
ディスプレイの特性について

●液晶ディスプレイは表示内容やコントラスト調整などにより明るさにムラが生じますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイの画面を正面以外から見ると表示色が変化して見える場合がありますが故障ではありません。
●液晶ディスプレイは気温が下がると表示の切替わりが遅くなる場合がありますが故障ではありません。

機能設定について

●機能スイッチ、確定スイッチ、設定スイッチを操作することにより、下記の機能設定ができます。

台所リモコンの場合



浴室リモコンの場合

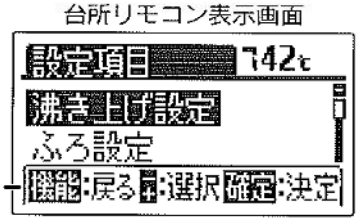
増設リモコンの場合

機能…機能スイッチ
確定…確定スイッチ
⊖⊕…設定スイッチ
(注) 以降のページに記載する「機能設定の順序」の----->は省略していることを表しています。

お知らせ

●現在時刻の設定を行っていない場合は、機能スイッチを押すと「**現在時刻**」の設定画面を表示します。
●機能設定中に約 10 秒間操作をしないと操作ガイドが表示されます。

台所リモコン表示画面



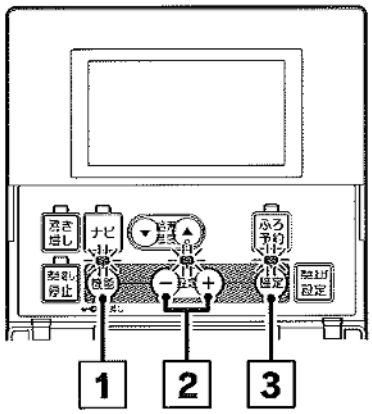
時刻の設定

現在時刻の設定

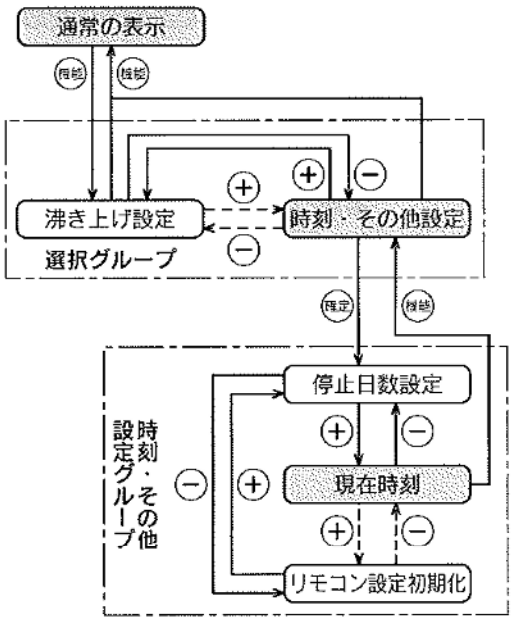
⚠注意

●必ず現在時刻の設定を行ってください。
●現在時刻の設定は台所リモコンで行います。

台所リモコン



機能設定の順序

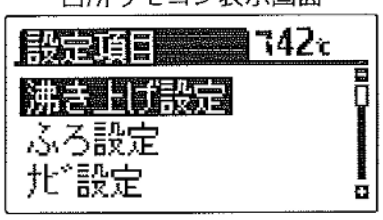


1 ふたを開く

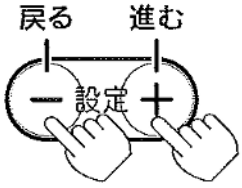
2 機能スイッチ[1]を押す

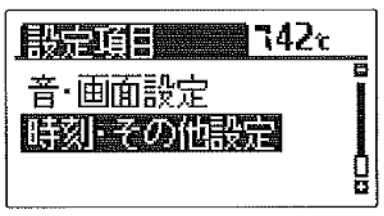


台所リモコン表示画面

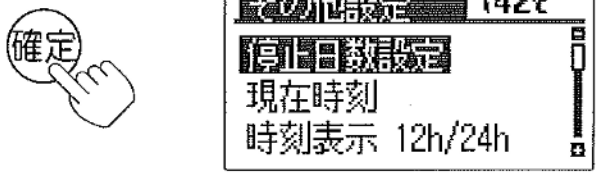


3 設定スイッチ[2]を押して「時刻・その他設定」を選択する



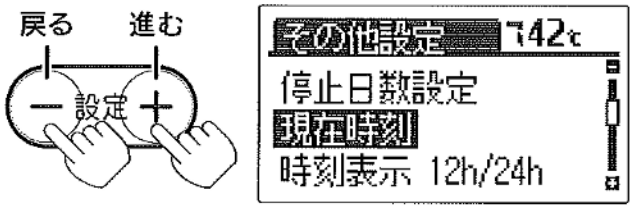


4 確定スイッチ3を押す

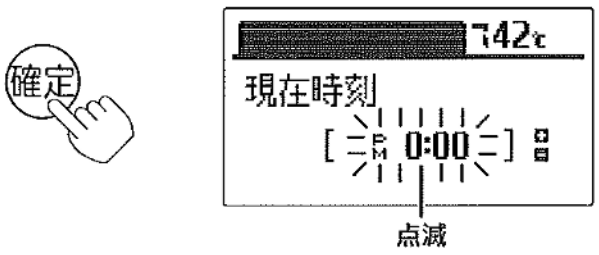


時刻・その他設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ2を押して「現在時刻」を選択する

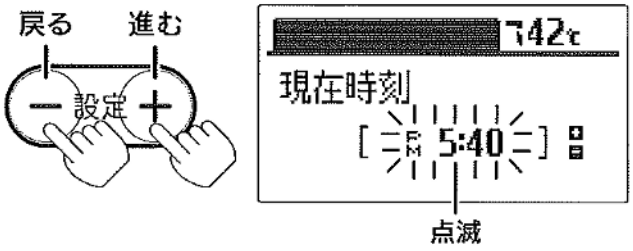


6 確定スイッチ3を押す



現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ2を押して現在時刻を設定する



1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

8 確定スイッチ3を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ1を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

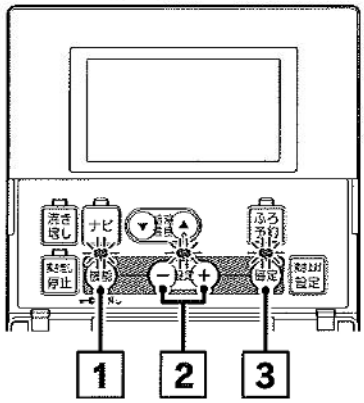
お知らせ

- 現在時刻が合っていないと昼夜の判断が正しく行われず、電気料金が割高になることがあります。(AMは午前、PMは午後です。)
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。
- 停電により「**現在時刻を設定してください**」と表示しているときは「***6***」から操作を行い、現在時刻を設定してください。
- 停電した後は現在時刻が合っていることを確認してください。

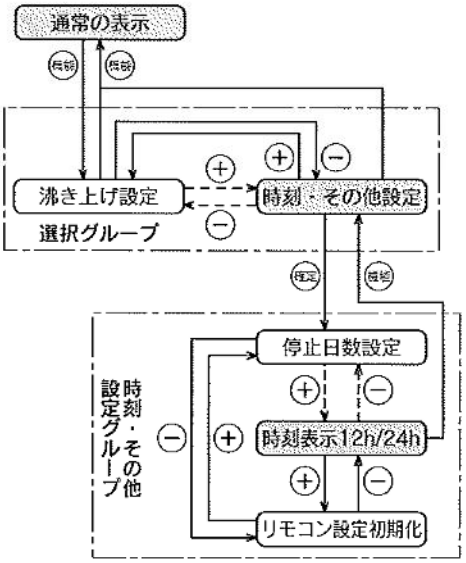
時計の表示方法の設定

●時計の表示を「AM・PM表示」または「24時間表示」のどちらかに設定できます。
時計の表示を変更すると現在時刻・設定時刻・音声などが変更されます。

台所リモコン



機能設定の順序

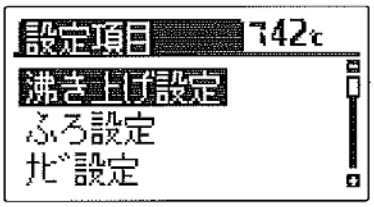


1 ふたを開く

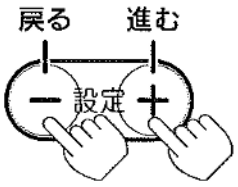
2 機能スイッチ[1]を押す

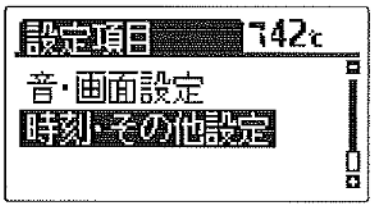
台所リモコン表示画面





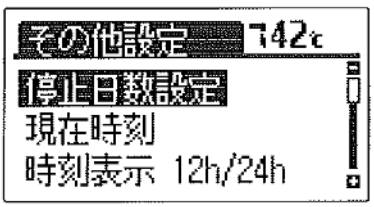
3 設定スイッチ[2]を押して「時刻・その他設定」を選択する





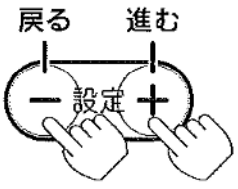
4 確定スイッチ[3]を押す

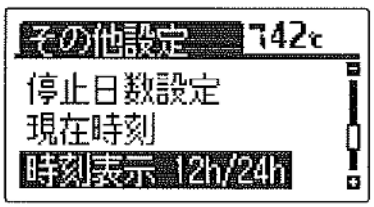




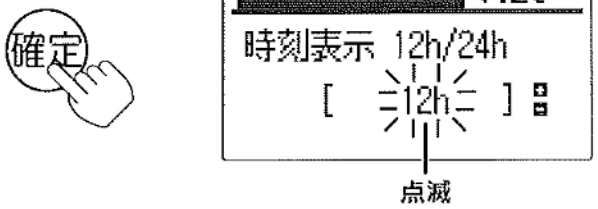
時刻・その他設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ[2]を押して「時刻表示 12h/24h」を選択する



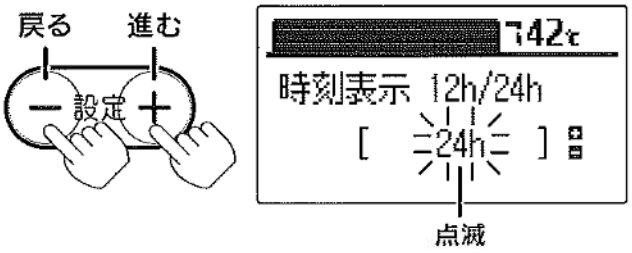


6 確定スイッチ3を押す



現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ2を押して希望の内容を設定する



12h ⟷ 24h を選択できます。
(AM・PM表示) (24時間表示)

8 確定スイッチ3を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ1を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

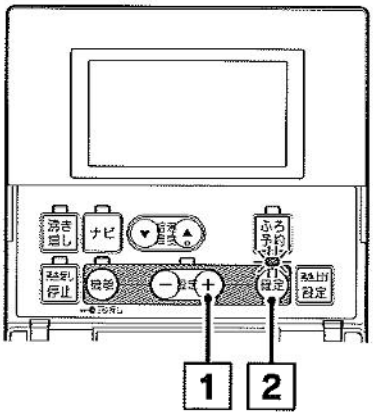
お知らせ

●お買い求め時には「12h(AM・PM表示)」に設定されています。
●途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

契約電力制度の設定

●この機器は申請により、通電制御型として電気料金の割引が適用されます。

台所リモコン



⚠注意

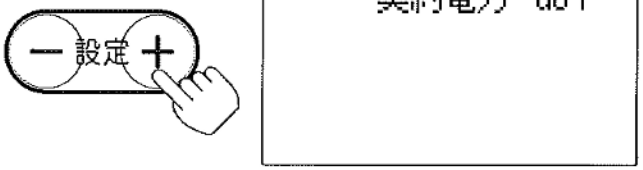
●すでに契約電力制度に合わせて設定されている場合は変更しないでください。通常は据付け時に設定しています。
●適用契約電力制度が合っていないと、思わぬ電気料金がかかることがあります。

●電源が入っていない状態では、契約電力制度の設定はできません。

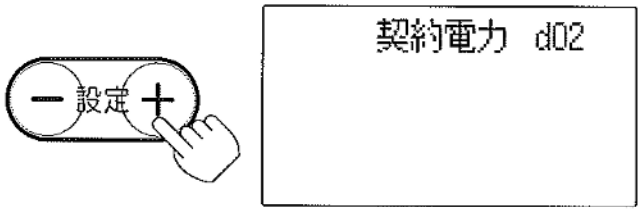
1 ふたを開く

2 設定スイッチ[1]の⊕を5秒間押し続ける

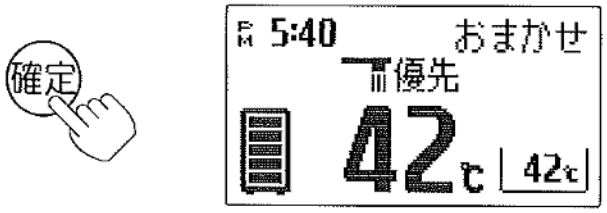
台所リモコン表示画面



3 設定スイッチ[1]の⊕を押して契約電力制度を設定する

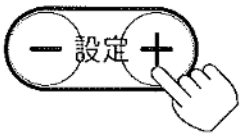


4 確定スイッチ[2]を押す



通常の表示に戻ります。

契約電力制度を確認したいときは

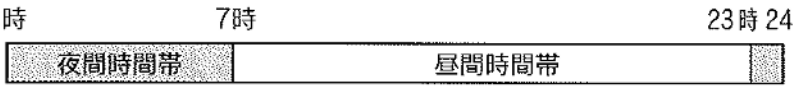


設定スイッチ[1]の⊕を5秒間押し続けてください。
表示画面に契約電力制度を表示します。
約30秒間操作しない、またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

■契約電力制度の内容

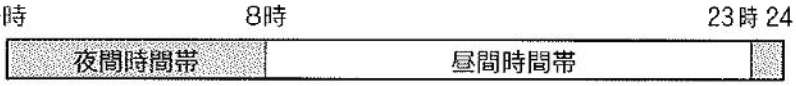
「d01」表示(お買い求め時)

北海道電力･･･ドリーム8B
東北電力･･･やりくりナイト8
東京電力･･･おトクなナイト8
北陸電力･･･エルフナイト8
中部電力･･･タイムプラン
四国電力･･･電化Deナイト
関西電力
四国電力
九州電力
沖縄電力
･･･時間帯別電灯(8時間型)



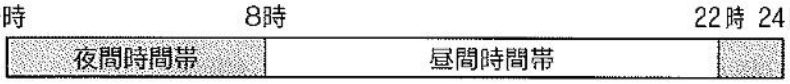
「d02」表示

中国電力･･･エコノミーナイト(時間帯別電灯)



「d03」表示

東北電力･･･やりくりナイト10
東京電力･･･おトクなナイト10
北陸電力･･･エルフナイト10
九州電力･･･よかナイト10



「d04」表示

北海道電力･･･ドリーム8A



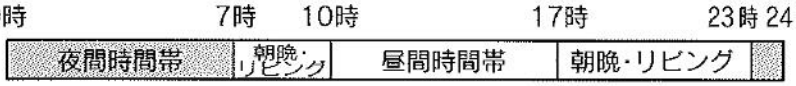
「d05」表示

北海道電力･･･ドリーム8C



「h01」表示

東京電力･･･電化上手
関西電力･･･はぴeタイム
沖縄電力･･･Eeらいふ



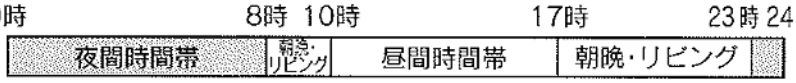
「h02」表示

中部電力･･･Eライフプラン



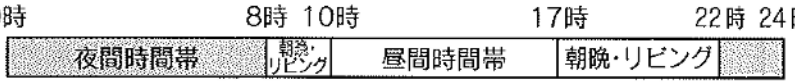
「h03」表示

中国電力･･･ファミリータイム



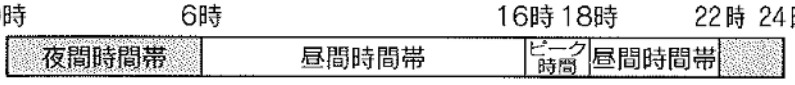
「h04」表示

北陸電力･･･エルフナイト10プラス
九州電力･･･電化Deナイト



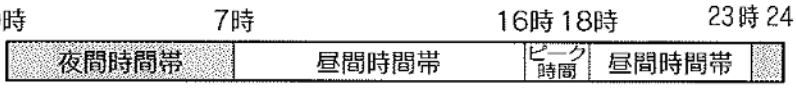
「h05」表示

北海道電力･･･ドリーム8エコA



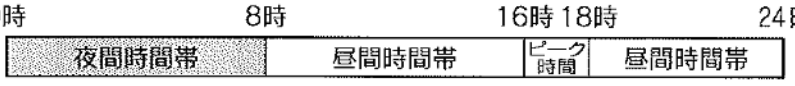
「h06」表示

北海道電力･･･ドリーム8エコB



「h07」表示

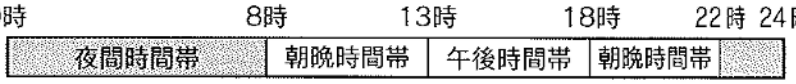
北海道電力･･･ドリーム8エコC



ドリーム8エコのピーク時間は冬期間(12月～3月)のみです。
その他の期間(4月～11月)はピーク時間の設定はありません。

「h08」表示

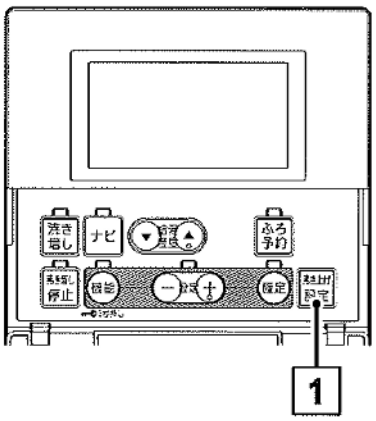
北海道電力･･･eタイム3



●契約している電力制度の内容については、各電力会社へお問い合わせください。
●上記に当てはまるものがない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

沸き上げ設定

台所リモコン



●お買い求め時には省エネ推奨モードの「**おまかせ[省エネ]**」に設定されています。
●通常は「**おまかせ[省エネ]**」での使用をおすすめします。

1 ふたを開く

2 沸き上げ設定スイッチ[1]を押す



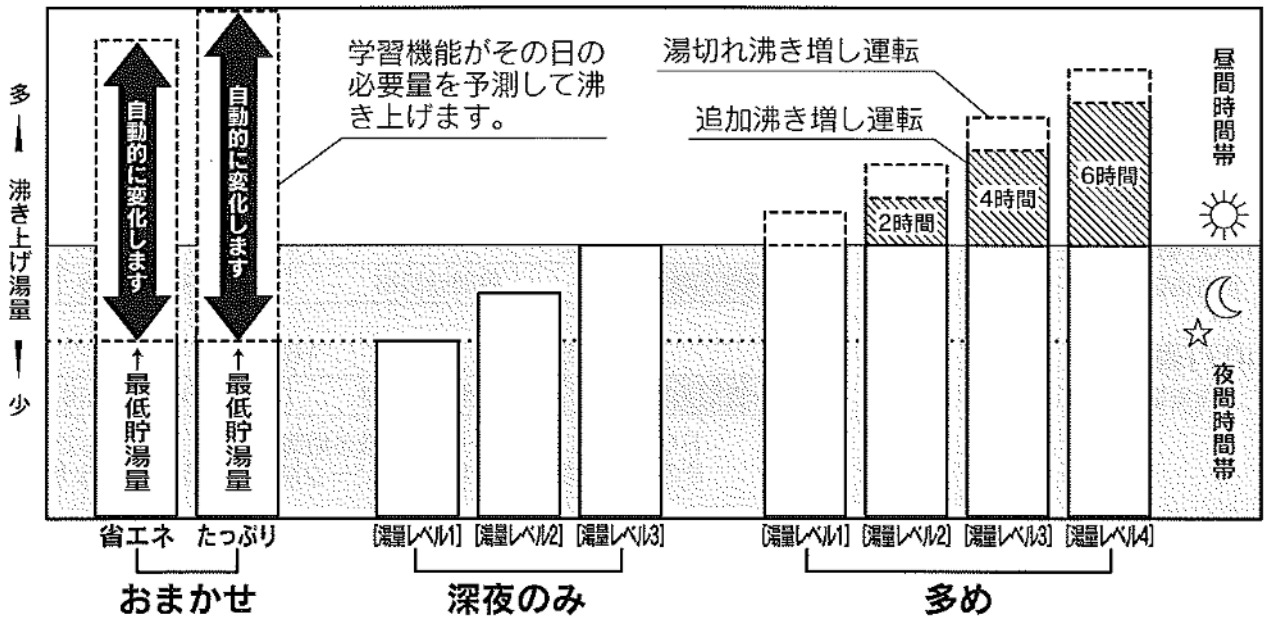
希望の沸き上げ設定に合わせます。

↳**おまかせ→多め→深夜のみ**→ の順で変更されます。

設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
約 30 秒間操作しない、またはふたを閉じることで、通常の表示に戻ります。

沸き上げ設定	特　長	沸き上げ運転を行う時間帯	こんなときに
おまかせ	日々のお湯の使用量を学習して、沸き上げ湯量を自動で設定します。	昼間時間帯と夜間時間帯	通常は**おまかせ**での使用をおすすめします。
多め	昼間時間帯の沸き増し湯量を4段階で設定できます。		いつもよりたくさんお湯を使いそうな場合
深夜のみ	夜間時間帯のみ沸き上げを行います。 湯切れしないように注意してください。	夜間時間帯	普段からあまりお湯を使用しない場合

●昼間時間帯の沸き上げは昼間電力で沸き上げますので、電気料金は割高になります。

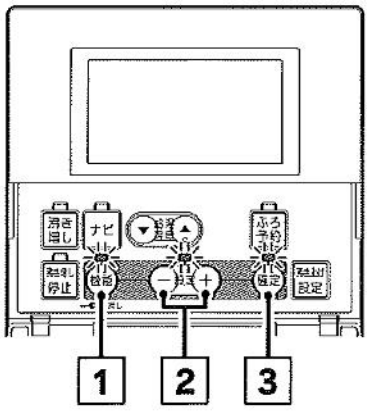


沸き上げ設定と沸き上げ湯量の関係

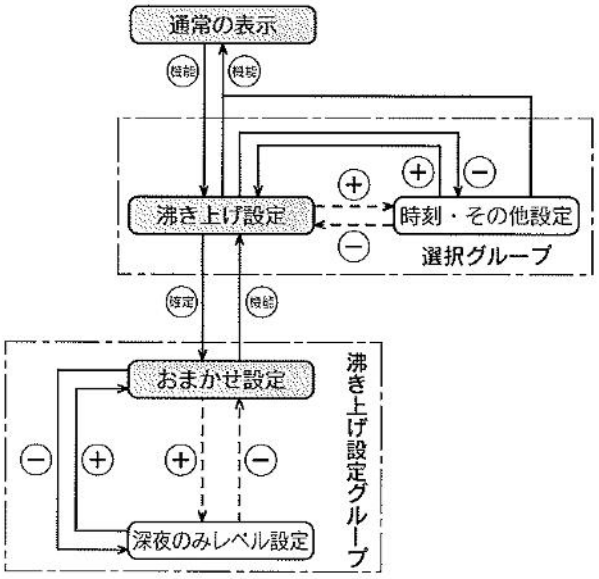
■「おまかせ」設定について

●「**おまかせ**」の湯量レベルは２段階の設定ができます。
お買い求め時には「**省エネ**」に設定されています。
●「**省エネ**」でお湯が不足するときは、設定を「**たっぷり**」に変更してください。
●沸き上げ設定を「**おまかせ**」にしないと、湯量レベルの設定変更は反映されません。

台所リモコン



機能設定の順序

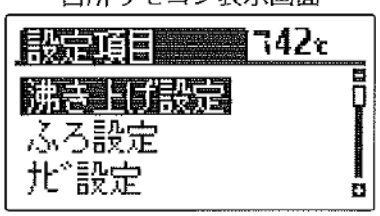


1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

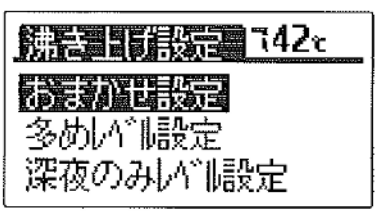


台所リモコン表示画面



3 確定スイッチ[3]を押す

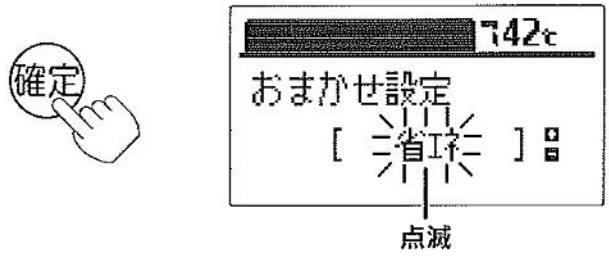




沸き上げ設定グループの項目を表示します。

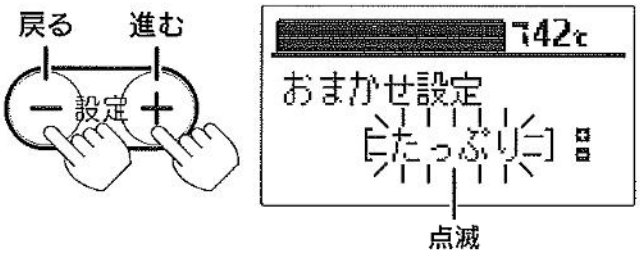
沸き上げ設定

4 確定スイッチ[3]を押す



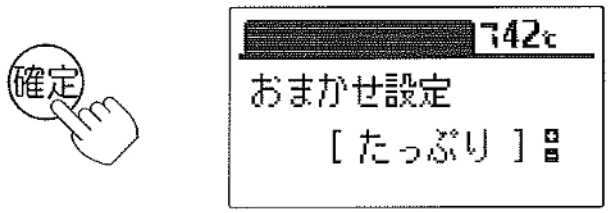
現在の設定が点滅します。

5 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を設定する



省エネ⇔たっぷりを選択できます。

6 確定スイッチ[3]を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ[1]を押すと「***3***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

7 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 「**おまかせ**」設定でお湯の使用量が少ない場合は、夜間時間帯の沸き上げ湯量を制限しますので、朝の時点で残湯量表示が全点灯しない場合があります。また、少ないお湯の使用量で残湯量表示が 1 目盛り消灯する場合もあります。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

■「多め」設定について

●「多め」の湯量レベルは４段階の設定ができます。
お買い求め時には「4」に設定されています。

●「多め」はお湯の使用に応じて以下の運転を行います。

《追加沸き増し運転》
昼間時間帯にお湯を使用すると、自動的に使用した量のお湯を追加で沸き上げます。
最長で６時間の追加沸き上げ運転を行います。

《湯切れ沸き増し運転》
急な来客などで多量にお湯を使用し、残湯量が設定された湯量以下になると昼間時間帯に自動的に沸き上げを行い、湯切れを防止します。

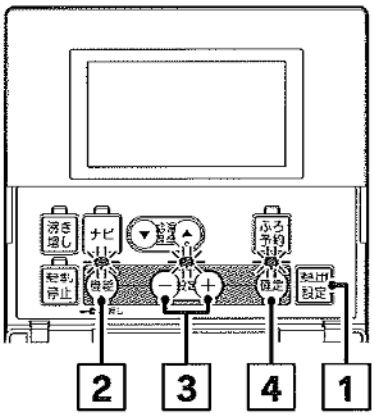
湯量レベル	沸き上げ温度	沸き上げ湯量	追加沸き増し	湯切れ沸き増し	
				ASQ-3703FS ASQ-3703FT	ASQ-4603FN ASQ-4603FT
4	約75～85℃(※)	全量沸き上げ	6時間	100L	150L
3			4時間	100L	150L
2			2時間	50L	50L
1			なし	50L	50L

※外気温によって沸き上げ温度は変わります。

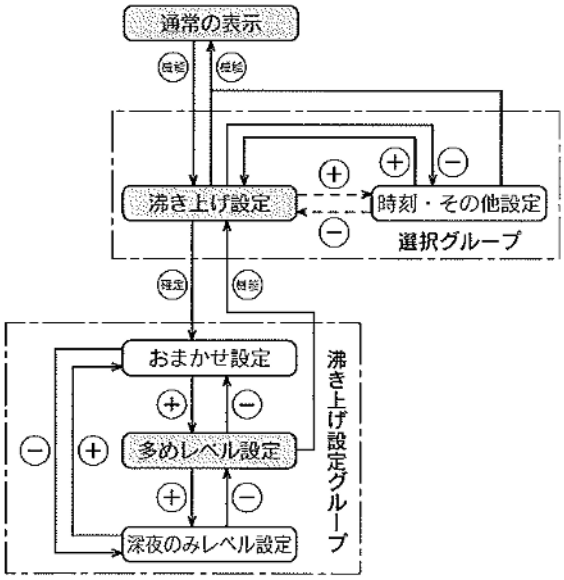
●用途　湯量レベル４または３･･･急な来客などでお湯を多量に使用するとき
湯量レベル２または１･･･「**深夜のみ[湯量レベル３]**」ではお湯が不足するとき

●沸き上げ設定を「**多めレベル**」にしないと、湯量レベルの設定変更は反映されません。

台所リモコン



機能設定の順序

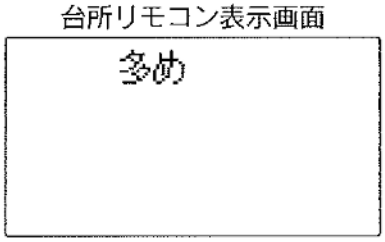


1 ふたを開く

2 沸き上げ設定スイッチ[1]を押して「多め」に設定する

台所リモコン表示画面

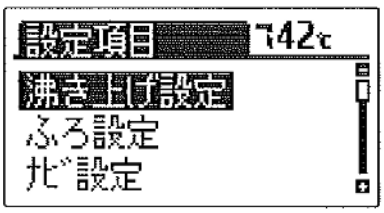




設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
約30秒間操作しない、またはふたを閉じることで、通常の表示に戻ります。

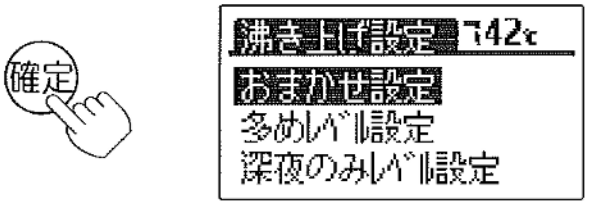
3 機能スイッチ[2]を押す





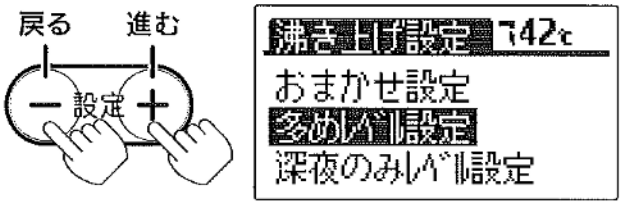
沸き上げ設定

4 確定スイッチ[4]を押す



沸き上げ設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ[3]を押して「多めレベル設定」を選択する

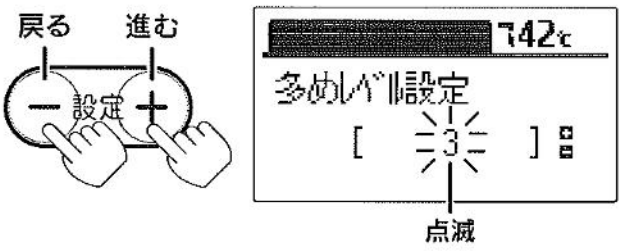


6 確定スイッチ[4]を押す



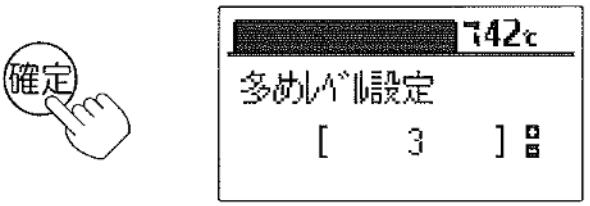
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ[3]を押して希望の内容を設定する



4 ↔ 3 ↔ 2 ↔ 1 の順に変更できます。
(最高)(高)(中)(低)

8 確定スイッチ[4]を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ[1]を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

■「深夜のみ」設定について

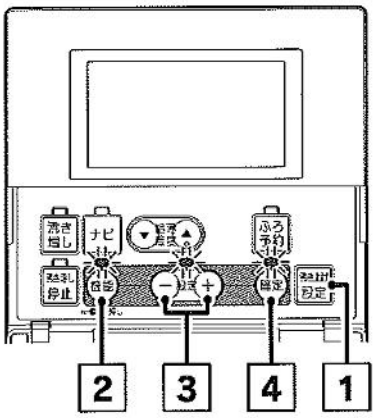
●お得な夜間時間帯のみ沸き上げを行います。
●「**深夜のみ**」の湯量レベルは３段階の設定ができます。
お買い求め時には「3」に設定されています。

湯量レベル	沸き上げ温度	沸き上げ湯量	追加沸き増し	湯切れ沸き増し
3	約75～85℃(※)	全量沸き上げ	なし	なし
2	約65℃	全量沸き上げ		
1	約65℃	部分沸き上げ		

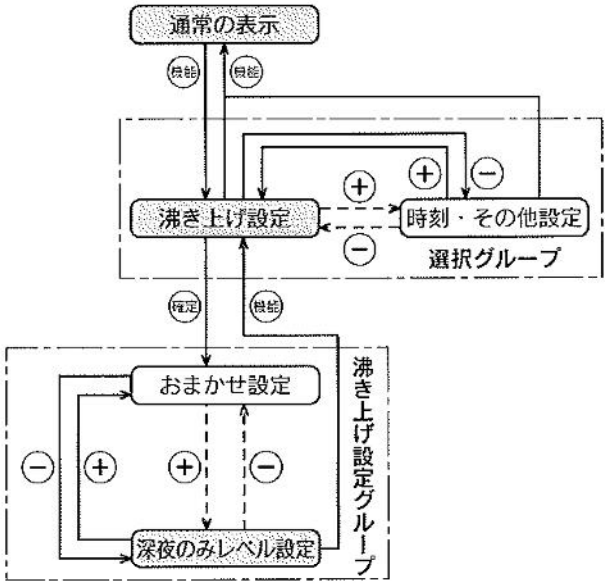
※外気温によって沸き上げ温度は変わります。

●用途　湯量レベル３･･･「**多め[湯量レベル 1]**」ではお湯が余り気味のとき
湯量レベル２･･･「**深夜のみ[湯量レベル 3]**」ではお湯が余り気味のとき
湯量レベル１･･･お湯の使用量が非常に少ないとき
●沸き上げ設定を「**深夜のみ**」にしないと、湯量レベルの設定変更は反映されません。

台所リモコン



機能設定の順序



1 ふたを開く

2 沸き上げ設定スイッチ[1]を押して「深夜のみ」に設定する



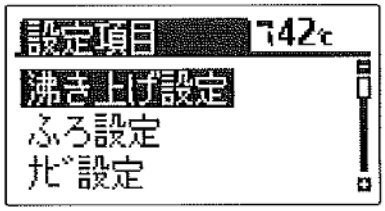
台所リモコン表示画面



設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
約 30 秒間操作しない、またはふたを閉じることで、通常の表示に戻ります。

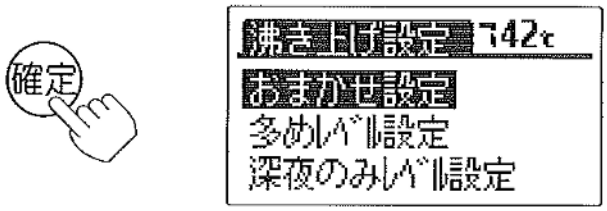
3 機能スイッチ[2]を押す





沸き上げ設定

4 確定スイッチ[4]を押す



沸き上げ設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ[3]を押して「深夜のみレベル設定」を選択する

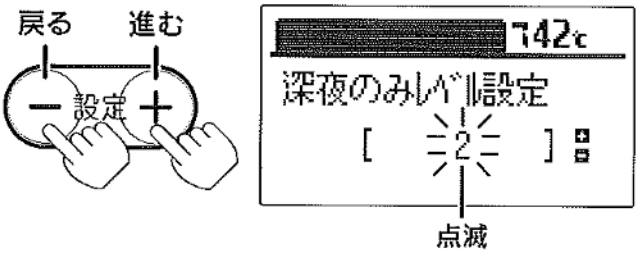


6 確定スイッチ[4]を押す



現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ[3]を押して希望の内容を設定する



3 ⇔ 2 ⇔ 1 の順に変更できます。
(高)(中)(低)

8 確定スイッチ[4]を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ[2]を押すと「**5**」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 「**深夜のみ[湯量レベル 1]**」設定時は、夜間時間帯の沸き上げ湯量を制限しますので、朝の時点で残湯量表示が全点灯しない場合があります。また、少ないお湯の使用量で残湯量表示が 1 目盛り消灯する場合もあります。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

沸き増し運転

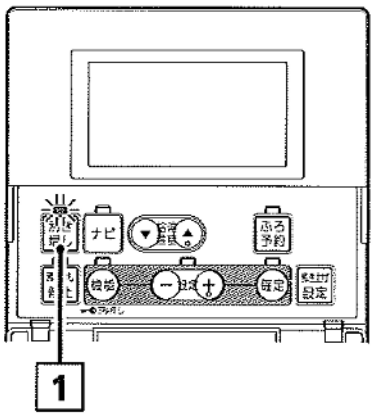
●お好みの沸き増し運転を選択することにより、必要に応じたお湯を確保します。

沸き増し[＋1]	残湯量表示が1つ点灯する量を沸き増しします。
沸き増し[＋2]	残湯量表示が2つ点灯する量を沸き増しします。
沸き増し[＋3]	残湯量表示が3つ点灯する量を沸き増しします。
沸き増し[＋4]	残湯量表示が4つ点灯する量を沸き増しします。
沸き増し[＋5]	残湯量表示が5つ点灯する量を沸き増しします。

残湯量によっては選択できない場合があります。

満タン[6時間]	選択した時間、常に貯湯タンク内を満タンに沸き上げます。
満タン[12時間]	
満タン[24時間]	

台所リモコン



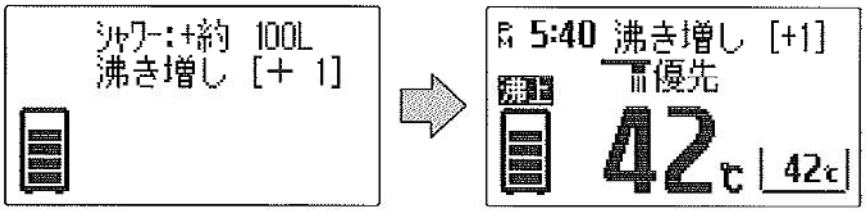
●昼間時間帯の沸き上げは昼間電力で沸き上げますので、電気料金は割高になります。

1 ふたを開く

2 沸き増しスイッチ[1]を押す



台所リモコン表示画面



ご希望の運転に合わせます。(沸き増しスイッチを押すごとに表示が変わります。)
音声で「**沸き増しが設定されました**」とお知らせし、沸き増しランプが点灯、表示画面に追加シャワー湯量のめやすと、選択した沸き増し運転を表示し、沸き増しを開始します。
設定した沸き増し運転を実行すると沸き増しランプが消灯し通常の表示に戻り、自動的に運転を終了します。

沸き増し運転をやめたいときは

沸き増しスイッチ[1]を押してください。
音声で「**沸き増しが解除されました**」とお知らせし、沸き増しランプが消灯して通常の表示に戻ります。



お知らせ

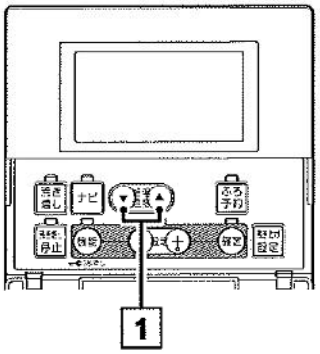
●沸き増し運転の沸き増し量はめやすです。
沸き増し終了時点の残湯量表示と合わない場合があります。
●追加シャワー湯量は42℃換算のめやすです。

給湯温度の設定

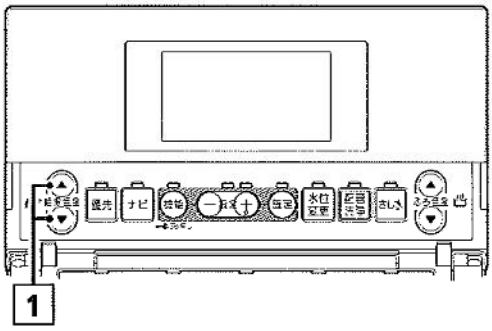
⚠警告

給湯温度を変更するときは、他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。

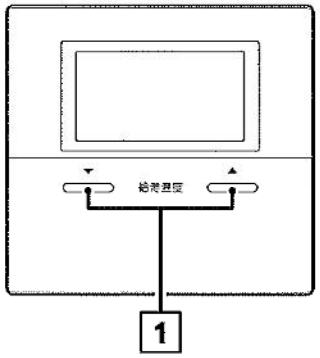
台所リモコン



浴室リモコン

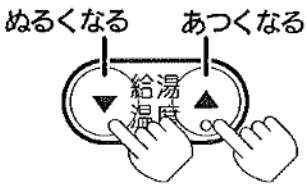


増設リモコン

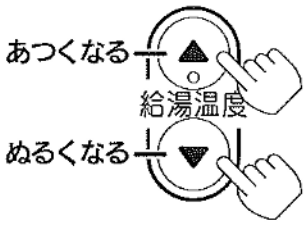


給湯温度調節スイッチ[1]を押す

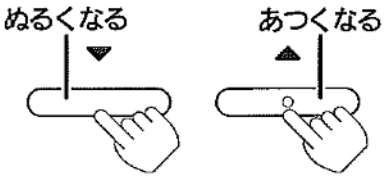
＜台所リモコンの場合＞



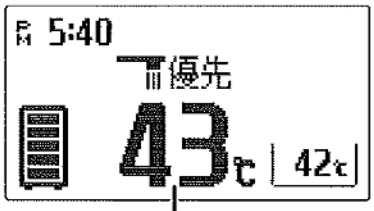
＜浴室リモコンの場合＞



＜増設リモコンの場合＞

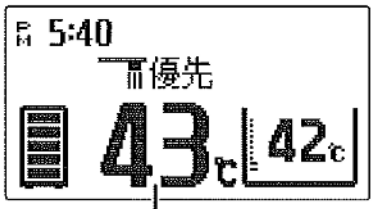


台所リモコン表示画面



給湯設定温度

浴室リモコン表示画面



給湯設定温度

優先表示が点灯しているリモコンで温度調節ができます。
設定温度は32℃・35℃・37℃～50℃(1℃ごと)・55℃・60℃の範囲で調節できます。**設定温度が55℃以上の場合は高温表示が点灯し、**表示と音声で**「給湯温度が○○℃に変更されました。あついお湯が出ます」**、50℃以下の場合は**「給湯温度が○○℃に変更されました」**とお知らせします。

浴室リモコンまたは増設リモコンの優先スイッチを**「切」**にすると、台所リモコンに**「優先」**が移動します。

お知らせ

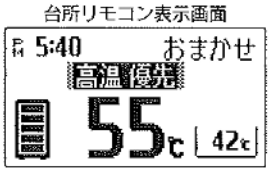
- 追いだき運転をすると高温出湯できない場合があります。
- サーモスタット(自動温度調節装置)付混合水栓を使用し、ぬるいときやシャワーが弱いときはリモコンの給湯温度設定を、使用するお湯の温度より約15℃以上高めにしてください。

例 **約40℃のお湯を使用したい場合**

40℃＋15℃＝55℃

給湯温度設定を55℃以上にしてください。

台所リモコン表示画面



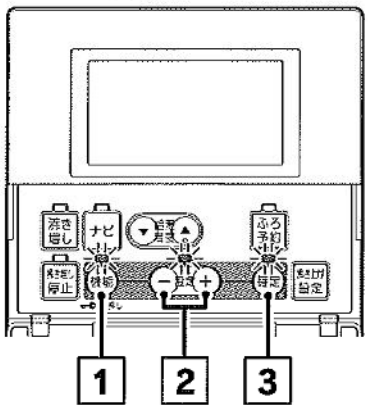
浴室リモコン表示画面



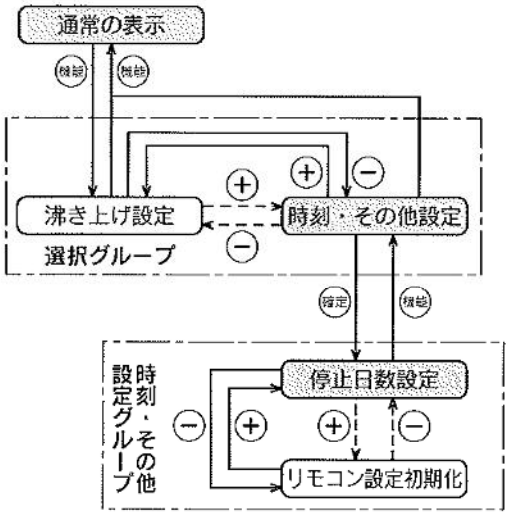
数日間運転を停止する方法［停止日数設定］

●旅行などでお湯を使用しないときに、数日間(1 ～ 30 日)沸き上げを行わないように設定できます。

台所リモコン



機能設定の順序

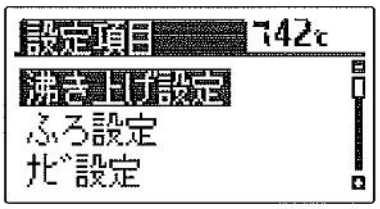


1 ふたを開く

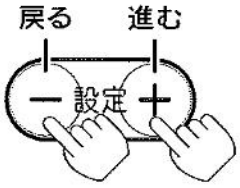
2 機能スイッチ[1]を押す

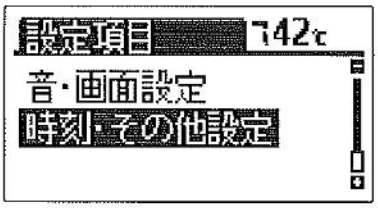


台所リモコン表示画面



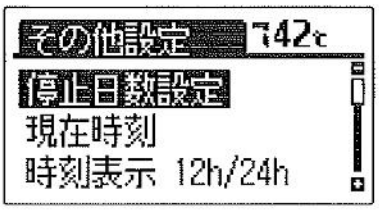
3 設定スイッチ[2]を押して「時刻・その他設定」を選択する





4 確定スイッチ[3]を押す





時刻・その他設定グループの項目を表示します。

5 もう一度確定スイッチ[3]を押す

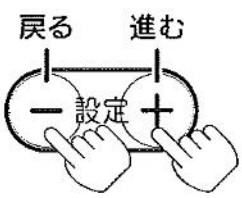


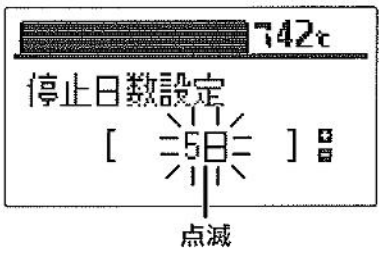


現在の設定が点滅します。

数日間運転を停止する方法［停止日数設定］

6 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を設定する

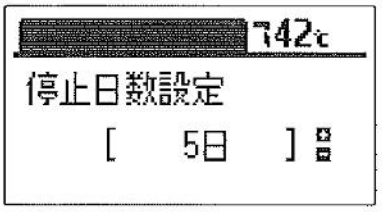




設定スイッチでご希望の日数に設定します。
日数は１～30日間です。

7 確定スイッチ[3]を押す





設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
その日から沸き上げを停止します。
機能スイッチ[1]を押すと「***4***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

8 ふたを閉じる



停止日数を表示します。
約40秒間操作しない場合も停止日数が表示されます。

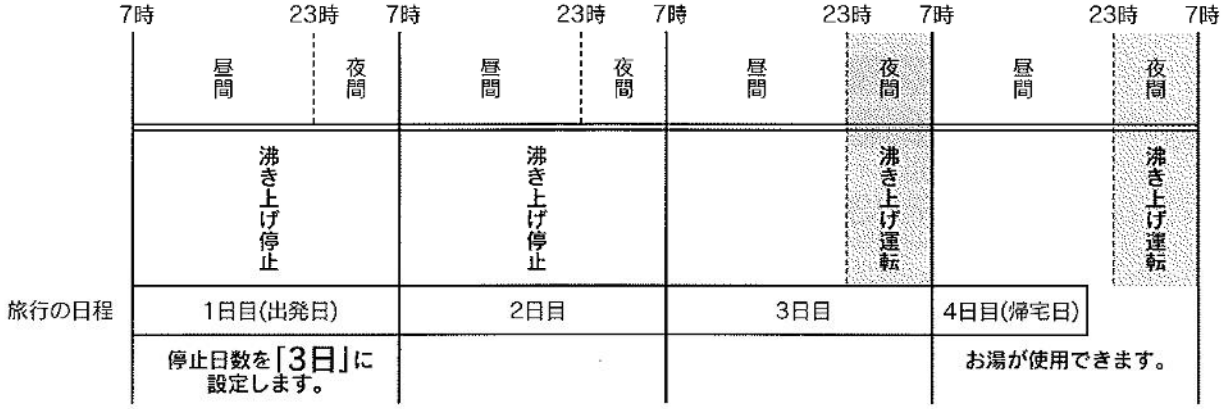
停止日数設定を解除するには

「***6***」で設定を「**0日**」にしてください。
停止日数設定をする前の表示に戻ります。

お知らせ

●停止日数設定を行ったその日から沸き上げを停止します。
●帰宅する前日の夜に沸き上げを行わないと、帰宅する日にお湯が使用できません。

例 **3泊4日の旅行の場合**･･･出発日に停止日数を「**3日**」に設定してください。

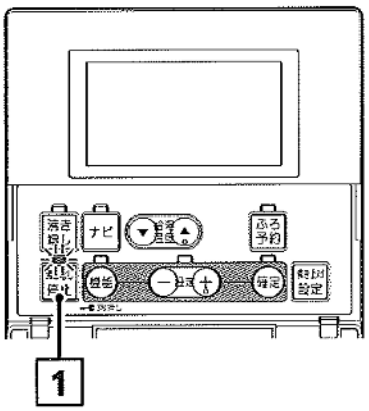


●長期間使用しないと、水質が変化することがあります。
●途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

沸き増し停止

●その日の夜間時間帯まで沸き増しを停止します。
夜間時間帯になると沸き増し停止ランプが消灯し、
設定が自動的に解除されます。

台所リモコン



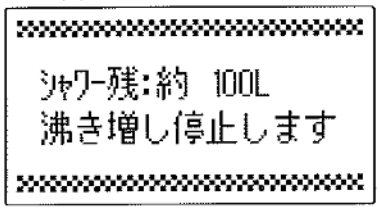
1 ふたを開く

2 沸き増し停止スイッチ[1]を押す

点灯



台所リモコン表示画面





音声で「**沸き増しを一時停止します　残り湯量に注意してください**」とお知らせし、沸き増し停止ランプが点灯、表示画面に「**沸き増し停止**」と表示し、夜間時間帯まで沸き増しを停止します。

沸き増し停止を解除するには

消灯



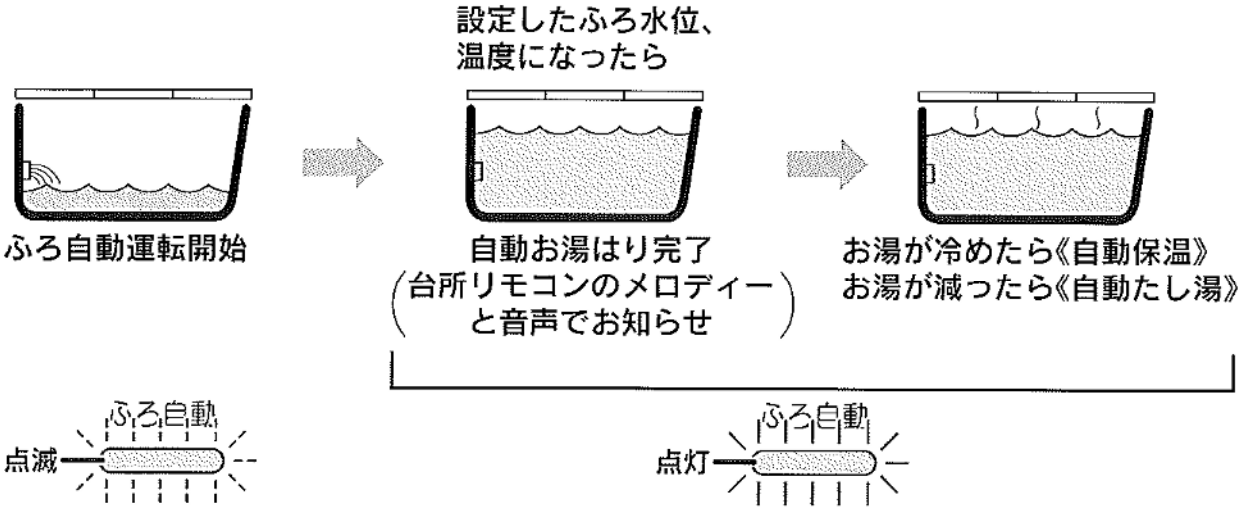
沸き増し停止スイッチ[1]を再度押すと、沸き増し停止が解除されます。
沸き増し停止ランプが消灯し、通常の表示に戻ります。

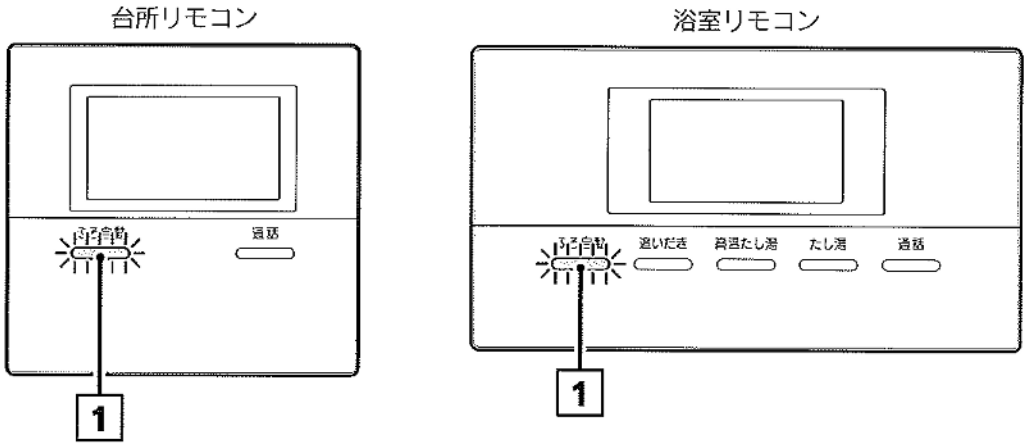
お知らせ

●沸き増し停止中に湯切れしそうになった場合は、沸き増しスイッチを押してください。
沸き増し停止が解除され、沸き増し運転を開始します。
●夜間時間帯に沸き増し停止スイッチを押すと、表示と音声で「**受付できません　確認してください**」とお知らせします。

ふろ自動運転

●自動的に浴そうにお湯をはり《自動お湯はり》、その後はお湯が冷めたら沸き上げを繰り返し《自動保温》、お湯が減ったらたし湯をしてふろ水位を保ちます《自動たし湯》。

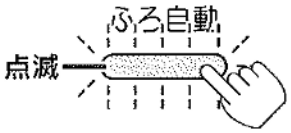




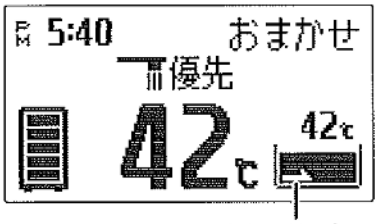
運転前の準備

(1)浴そうの排水栓を閉める。
(2)浴そうの循環口にフィルタがついていることを確認する。
(3)浴そうにふたをする。

ふろ自動スイッチ[1]を押す

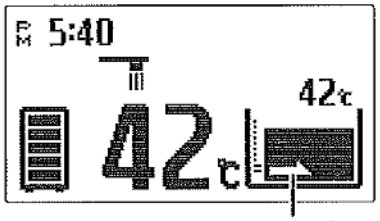


台所リモコン表示画面



お湯はり表示

浴室リモコン表示画面



お湯はり表示

表示と音声で「**ふろ温度○○℃でお湯はりをします**」とお知らせし、ふろ自動ランプが点滅します。
表示画面に「**お湯はり表示**」を表示し、お湯はりをはじめます。

ふろ水位の調節は40ページの「**ふろ水位の設定**」を参照してください。
ふろ設定温度の調節は40ページの「**ふろ温度の設定**」を参照してください。

お湯はり終了後は……

設定したふろ水位までお湯はりをすると自動的に停止します。
設定温度に沸き上げるとリモコンからメロディーと音声で「**おふろが沸きました**」とお知らせします。その後お湯が冷めたら沸き上げを繰り返し、お湯が減ったらたし湯をしてふろ水位を保ちます。保温中は「**保温表示**」とふろ自動ランプが点灯します。

ふろ保温時間の設定は41ページの「**ふろ保温時間の設定**」を参照してください。

ふろ自動をやめたいときは



ふろ自動スイッチ[1]をもう一度押してください。
ふろ自動ランプが消灯し、通常の表示に戻ります。

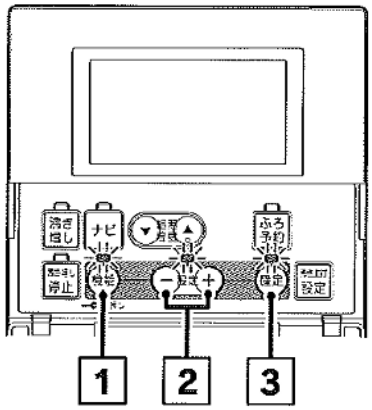
お知らせ

- 残り湯を使用する場合は、残り湯を少なくしてふろ自動運転を行ってください。
- ふろ保温時間が長い場合はタンク内部の湯温が下がり、湯切れする場合があります。
- やけど防止のためふろ設定温度を確認してください。
- 一度ふろ水位を設定すると毎回同じ量でお湯はりができます。
- 保温運転中は約20分に一度循環ポンプが作動して浴そう内の湯温を検知し、湯温が低いときはふろ設定温度まで沸き上げます。
- 保温時間はお買い求め時には2時間に設定されています。

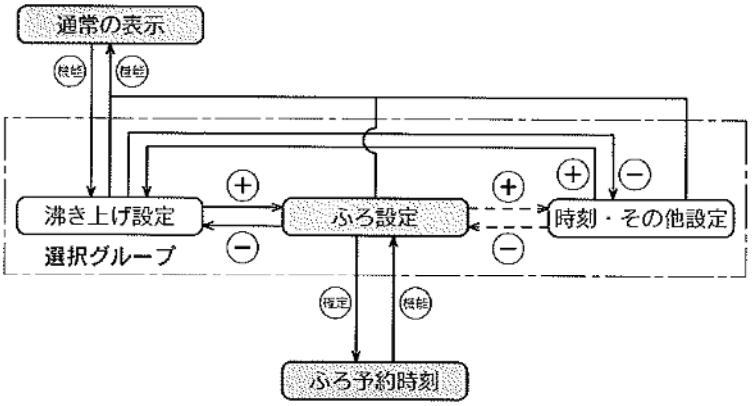
ふろ自動運転の予約時刻の設定

●ふろ自動運転の予約時刻の設定をすることができます。

台所リモコン



機能設定の順序

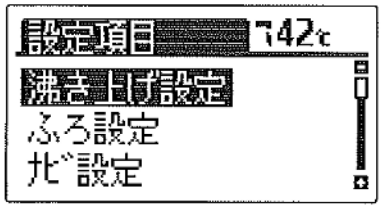


1 ふたを開く

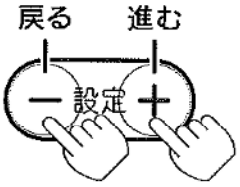
2 機能スイッチ[1]を押す

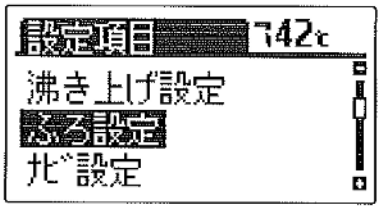


台所リモコン表示画面



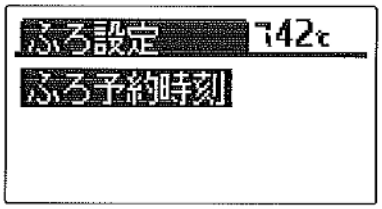
3 設定スイッチ[2]を押して「ふろ設定」を選択する





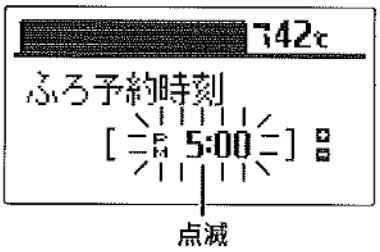
4 確定スイッチ[3]を押す





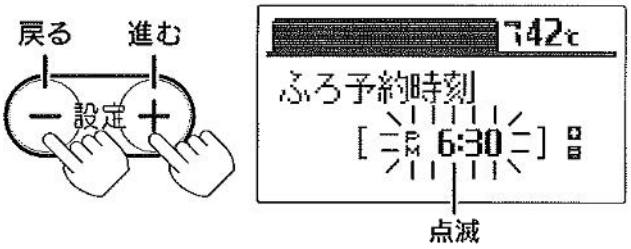
5 もう一度確定スイッチ[3]を押す





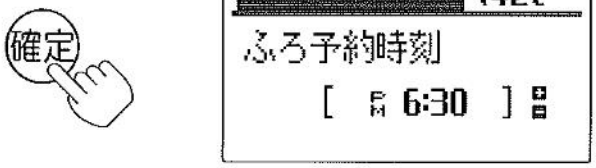
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を設定する



1回ずつ押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

7 確定スイッチ[3]を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。

8 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

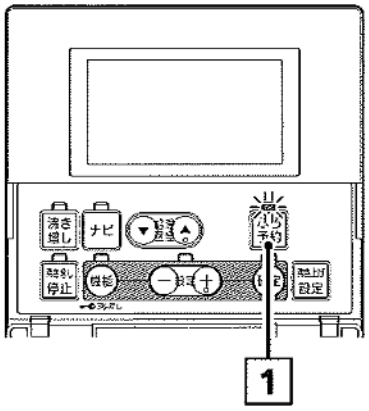
お知らせ

●現在時刻が合っていることを確認して予約時刻を設定してください。
●お買い求め時には「PM5:00(17:00)」に設定されています。
●途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

ふろ自動運転の予約

●「**ふろ自動運転の予約時刻の設定**」で設定した時刻にお湯はりが完了するように、ふろ自動運転を予約することができます。

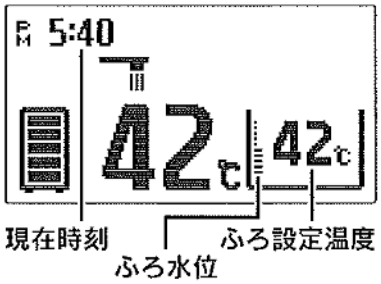
台所リモコン



運転前の準備

(1)浴そうに排水栓をする。
(2)浴そうの循環口にフィルタがついていることを確認する。
(3)浴そうにふたをする。
(4)ふろ設定温度とふろ水位(お湯はり量)を確認する。
　(浴室リモコン)
(5)現在時刻が合っていることを確認する。

浴室リモコン表示画面

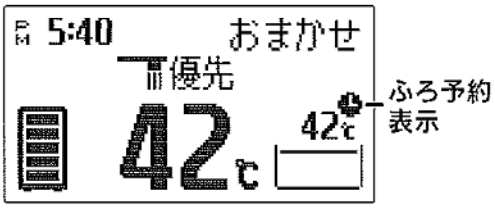


1 ふたを開く

2 ふろ予約スイッチ[1]を押す



台所リモコン表示画面



表示と音声で「**お湯はりが(午後・午前)○○時に予約されました**」とお知らせし、ふろ予約ランプが点灯します。
表示画面に「**ふろ予約表示**」を表示し、予約時刻の約30分前にふろ自動運転を始めます。

予約時刻の変更は37・38ページの「**ふろ自動運転の予約時刻の設定**」を参照してください。

ふろ自動運転の予約をやめたいときは

消灯



ふろ予約スイッチをもう一度押してください。
ふろ予約ランプが消灯し、通常の表示に戻ります。

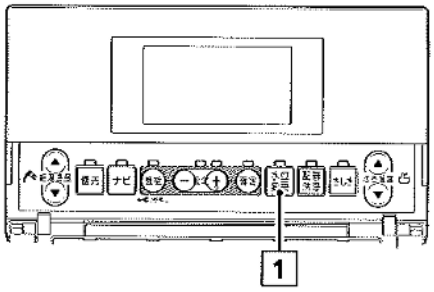
お知らせ

●現在時刻が合っていることを確認してください。
●ふろ水位(お湯はり量)や温度は、ふろ自動運転と同じ設定になります。
●予約中に停電すると、予約が解除されることがあります。
●当日のふろ自動運転の予約は、予約時刻の30分以上前に設定してください。

ふろ水位の設定

●ふろ自動運転のふろ水位(お湯はり量)を設定します。

浴室リモコン



1 ふたを開く

2 水位変更スイッチ[1]を押す

希望のふろ水位に合わせます。
1→2･･･9→10の順で変更できます。



ふろ水位は循環口の高さから１段目は約 10cm、２段目以上は約 4cm ずつ増えます。
設定を変更すると、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
約５秒後に通常の表示に戻ります。

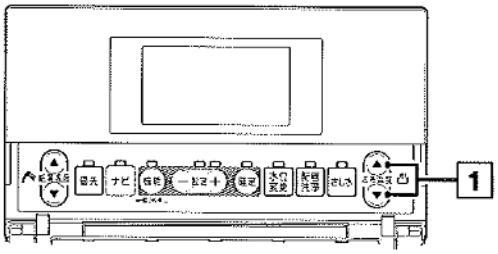
お知らせ

●洋風バスなど浅い浴そうや循環口の位置によっては、ふろ水位設定を高めにすると浴そうから湯があふれる場合があります。また浴そうの大きさによっては設定水位にならない場合があります。
●お買い求め時には「2」に設定されています。

ふろ温度の設定

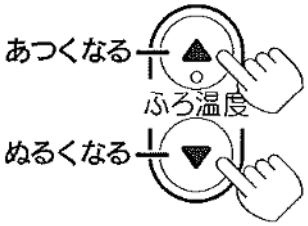
●浴室リモコンのみ設定できます。

浴室リモコン

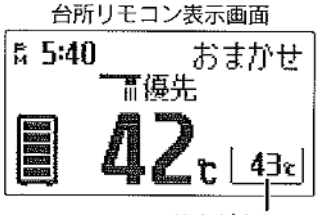


1 ふたを開く

2 ふろ温度調節スイッチ[1]を押す

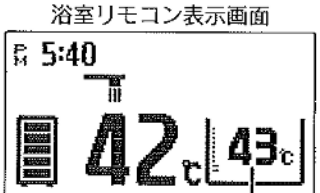


台所リモコン表示画面



数字が変わる

浴室リモコン表示画面



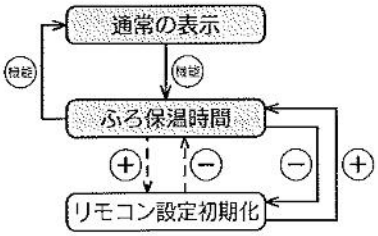
数字が変わる

設定温度は 35℃～48℃(1℃ごと)の範囲で調節できます。
設定温度を変えると表示と音声で「**ふろ温度が○○℃に変更されました**」とお知らせします。

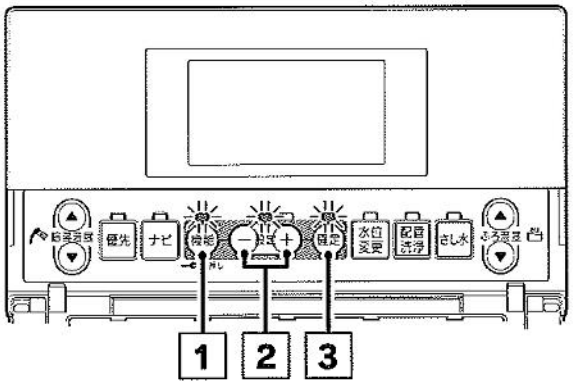
ふろ保温時間の設定

●ふろ自動運転の保温時間を設定することができます。

機能設定の順序



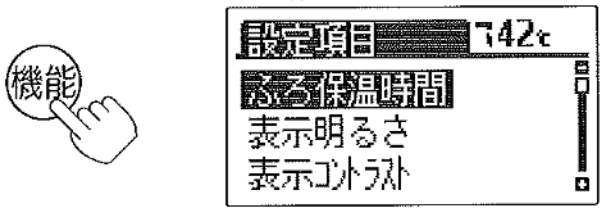
浴室リモコン



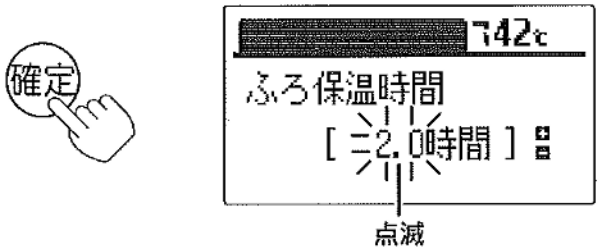
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

浴室リモコン表示画面

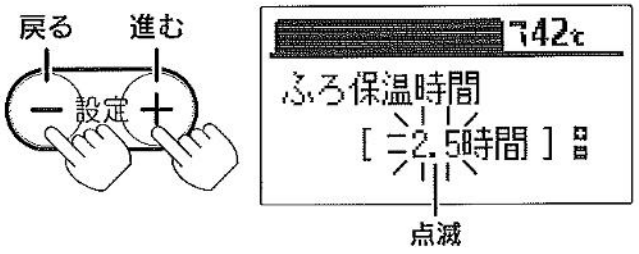


3 確定スイッチ[3]を押す



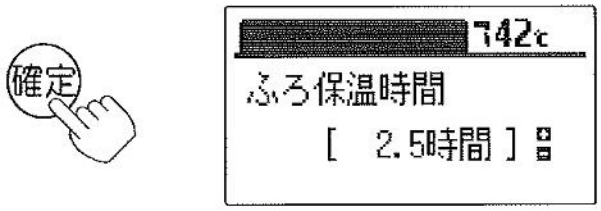
現在の設定が点滅します。

4 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を設定する



設定時間は0～4時間まで30分単位で変わります。

5 確定スイッチ[3]を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ[1]を押すと「**2**」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

6 ふたを閉じる

通常の表示に戻ります。約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

お知らせ

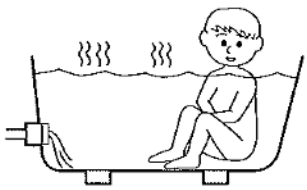
●お買い求め時には「**2.0時間**」に設定されています。(最大4時間)
●途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。
●保温時間中に浴そうの水を抜くとエラーコード「**F03**」が出て運転を停止します。
このときは、浴室リモコンのふろ自動スイッチを押して保温を解除することでリセットできます。

高温たし湯運転

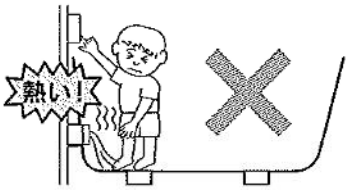
●浴そうに60℃のお湯を約20リットルたし湯します。

⚠警告

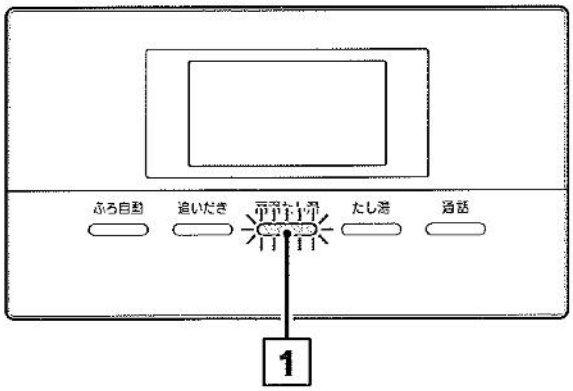
●高温たし湯運転をするときは、循環口から離れてください。やけどをするおそれがあります。



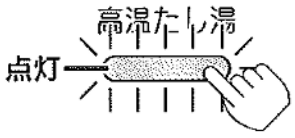
●浴そうにお湯がないときは、高温たし湯スイッチは押さないでください。やけどをするおそれがあります。



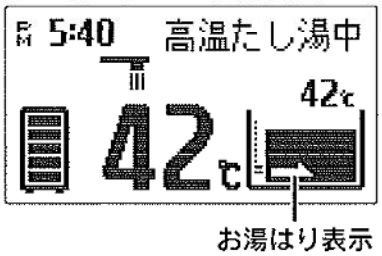
浴室リモコン



高温たし湯スイッチ[1]を約2秒間押し続ける



浴室リモコン表示画面



表示と音声で「**あついお湯をたします**」とお知らせし、高温たし湯ランプが点灯します。
表示画面に「**あついお湯をたします**」「**高温たし湯中**」の表示と、「**お湯はり表示**」と「**高温**」を交互に表示し、高温たし湯を開始します。
また、高温たし湯中は表示と音声で「**あついお湯をたします**」と繰り返しお知らせします。
60℃のお湯を約20リットルたし湯すると高温たし湯ランプが消灯し通常の表示に戻り、自動的に終了します。

高温たし湯運転をやめたいときは

高温たし湯スイッチをもう一度押してください。
高温たし湯ランプが消灯し、通常の表示に戻ります。



お知らせ

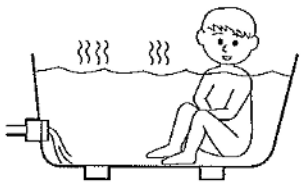
●残り湯を使用する場合は、高温たし湯運転を行うことをおすすめします。

たし湯運転

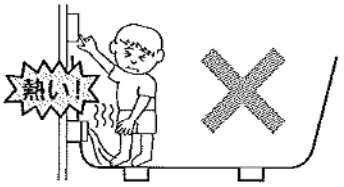
●浴そうにふろ設定温度のお湯を約20リットルたし湯します。

⚠警告

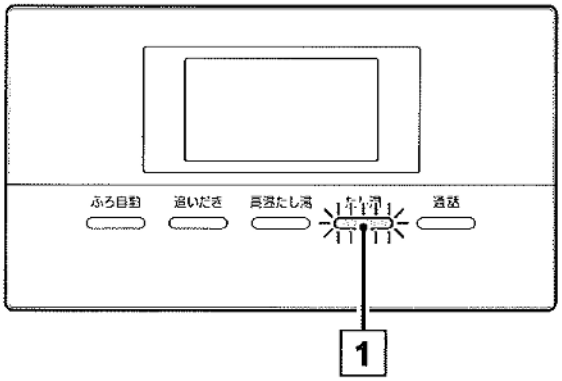
●たし湯運転をするときは、循環口から離れてください。やけどをするおそれがあります。



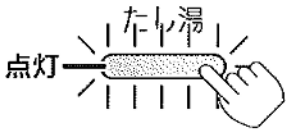
●浴そうにお湯がないときは、たし湯スイッチは押さないでください。
やけどをするおそれがあります。



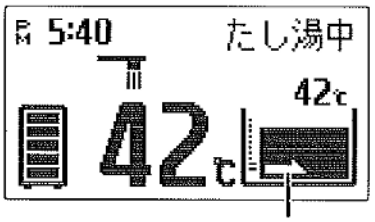
浴室リモコン



たし湯スイッチ[1]を押す



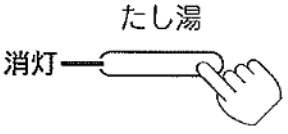
浴室リモコン表示画面



表示で「**たし湯をします**」、音声で「**お湯をたします**」とお知らせし、たし湯ランプが点灯します。
表示画面に「**たし湯中**」と「**お湯はり表示**」を表示し、たし湯を開始します。
ふろ設定温度のお湯を約20リットルたし湯すると、たし湯ランプが消灯し通常の表示に戻り、自動的に終了します。

たし湯の温度調節は40ページの「**ふろ温度の設定**」を参照してください。

たし湯運転をやめたいときは

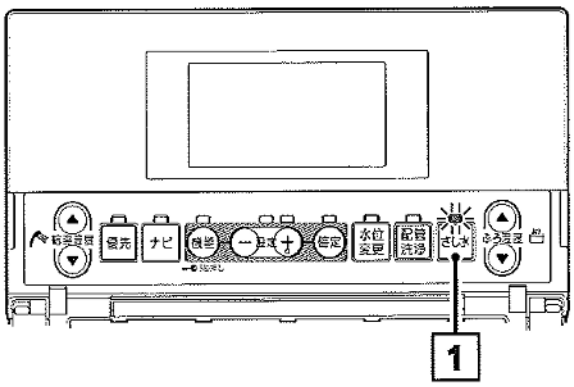


たし湯スイッチをもう一度押してください。
たし湯ランプが消灯し、通常の表示に戻ります。

さし水運転

●浴そうに約10リットルの水をさし水して浴そうのお湯の温度を下げます。

浴室リモコン

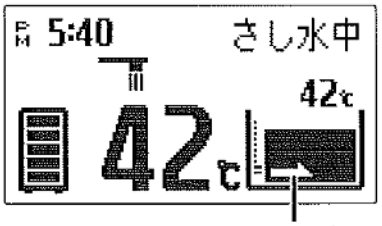


1 ふたを開く

2 さし水スイッチ[1]を押す



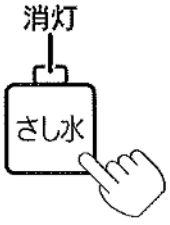
浴室リモコン表示画面



お湯はり表示

表示で「**さし水をします**」、音声で「**水をたします**」とお知らせし、さし水ランプが点灯します。
表示画面に「**さし水中**」と「**お湯はり表示**」を表示し、さし水を開始します。
約10リットルさし水するとさし水ランプが消灯し通常の表示に戻り、自動的に終了します。

さし水運転をやめたいときは



さし水スイッチをもう一度押してください。
さし水ランプが消灯し、通常の表示に戻ります。

お知らせ

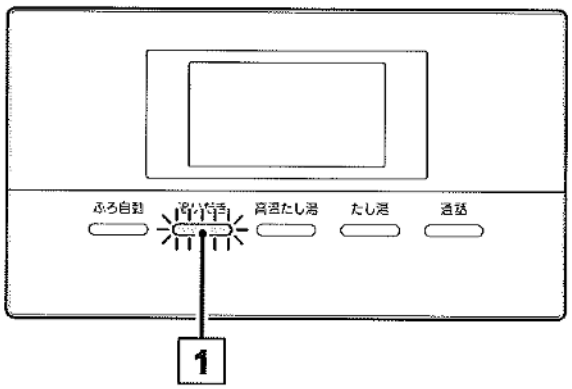
●さし水運転終了後の湯温は、浴そうのお湯の温度と給水温度によって異なります。

追いだき運転

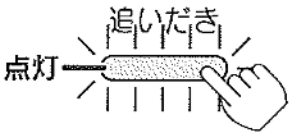
お願い

●浴そうの水が循環口から10cm以上ある状態で使用してください。

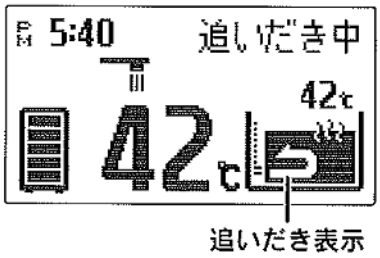
浴室リモコン



追いだきスイッチ[1]を押す



浴室リモコン表示画面

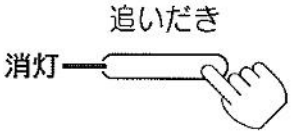


表示と音声で「**追いだきをします　あついお湯が出ます**」とお知らせし、追いだきランプが点灯します。
表示画面に「**追いだき中**」の表示と、「**追いだき表示**」と「**高温**」を交互に表示し、追いだき運転を開始します。
浴そうのお湯の温度がリモコンで設定した温度より低い場合はふろ設定温度まで沸き上げます。
浴そうのお湯の温度がリモコンで設定した温度以上の場合は、お湯の温度＋約1℃まで追いだきして、追いだきランプが消灯し通常の表示に戻り、自動的に運転を終了します。(最高48℃まで追いだき運転をします。)

追いだきの温度調節は40ページの「**ふろ温度の設定**」を参照してください。

追いだき運転をやめたいときは

追いだきスイッチをもう一度押してください。
追いだきランプが消灯し、通常の表示に戻ります。



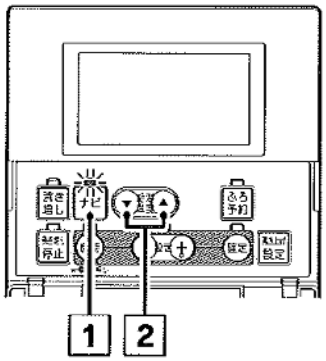
お知らせ

●残り湯を追いだきする場合はタンク内部の湯温が下がり、湯切れすることがありますので、高温たし湯運転を行うか、残り湯を少なくしてふろ自動運転を行ってください。
●追いだき運転をすると高温出湯できない場合があります。
●頻繁に追いだき運転をする場合は、沸き上げ設定を「**多め[湯量レベル3または4]**」にするか、沸き増し運転の「**満タン**」を行ってください。(湯切れの原因になります。)
23～30ページ
●貯湯タンク内の温度が低い場合は、追いだき運転を受け付けないことがあります。
50ページ

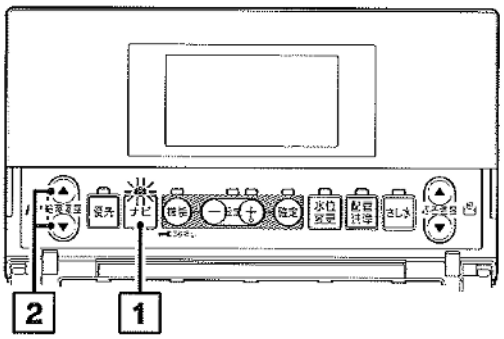
ナビ表示

●使用可能湯量および使用湯量履歴(過去７日間の使用湯量)、給湯使用量、湯量モニタを確認できます。

台所リモコン

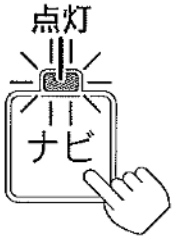


浴室リモコン



1 ふたを開く

2 ナビスイッチ[1]を押す



以降はナビスイッチ[1]と給湯温度調節スイッチ[2]を押すごとに右の順序で表示します。

ナビ表示をやめたいときは

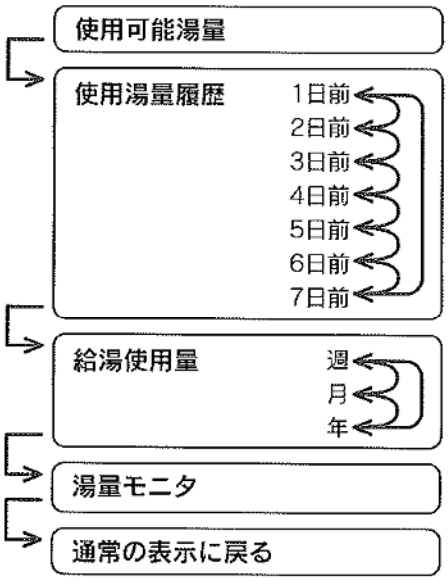


ナビスイッチを数回押すと通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しない、またはふたを閉じることで通常の表示に戻ります。

ナビ表示の順序

ナビ[1]を押すごとに
次の項目を表示します。

▼▲[2]を押すごとに
項目内の表示をひとつずつ
見ることができます。



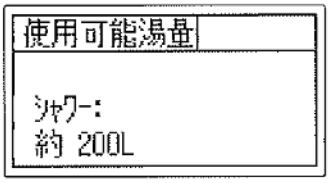
お知らせ

●湯量は給湯温度42℃換算のめやすです。
●使用可能湯量が500リットル以上の場合は、リモコンの使用可能湯量表示は「約500L以上」と表示します。

ナビ表示

使用可能湯量

現在使用可能な湯量のめやすを表示します。



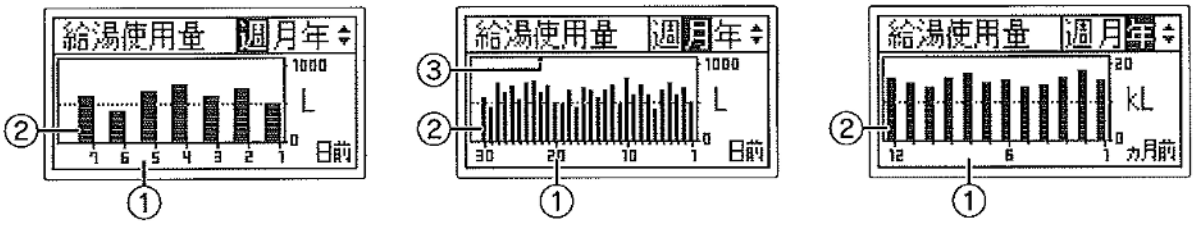
使用湯量履歴

過去７日間の使用湯量を表示します。



給湯使用量

過去１週間の１日ごと・１カ月間の１日ごと・１年間の１カ月ごとに使用した湯量をグラフで表示します。

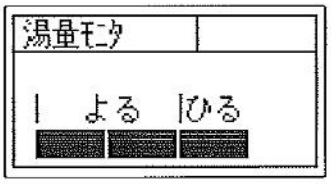


①	何日前または何カ月前
②	1日または1カ月の使用量(※1)
③	「年グラフ」の更新日(※2)

※1…1日の使用量はAM0:00に更新します。
※2…1日前の位置に戻るときに「年グラフ」が更新されます。

湯量モニタ

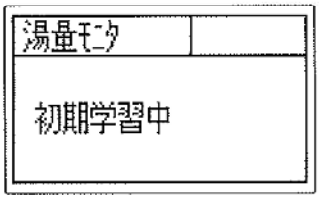
沸き上げ状態をバーグラフで表示します。



バーグラフ	「おまかせ」設定時				「多め」設定時	「深夜のみ」設定時
	沸き上げ温度	沸き上げ湯量	追加沸き増し	湯切れ沸き増し		
よる ひる	約85℃(※)	全量沸き上げ	あり	あり	湯量レベル2~4	−
よる ひる	約65~85℃(※)	全量沸き上げ	なし		湯量レベル1	湯量レベル2・3
よる ひる	約65℃	部分沸き上げ	なし		−	湯量レベル1

※外気温によって沸き上げ温度の上限が約 75 ~ 85℃の間で変わります。

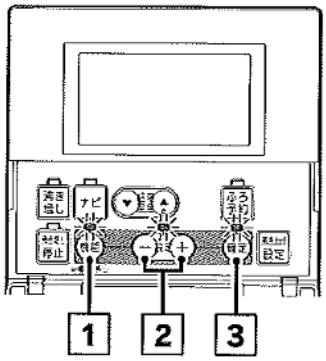
●「おまかせ」設定時で学習データが揃うまでは、表示画面に「初期学習中」と表示します。



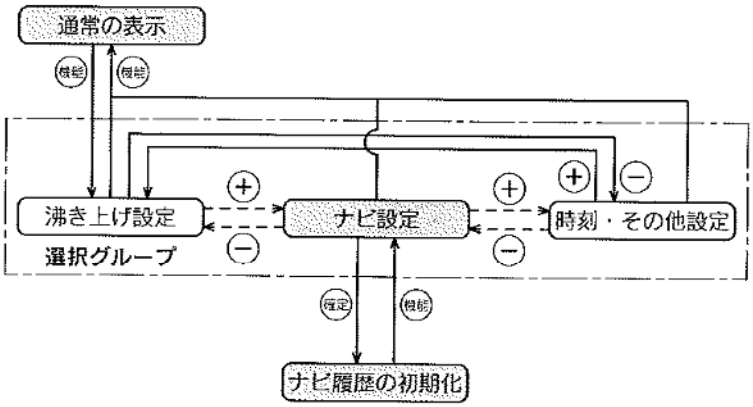
ナビ履歴の初期化

●「ナビ表示」の「使用湯量履歴」、「給湯使用量」をお買い求め時の状態にします。

台所リモコン



機能設定の順序

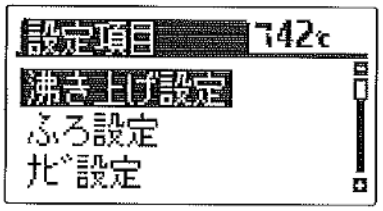


1 ふたを開く

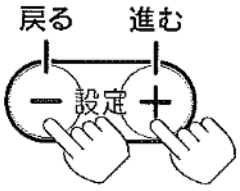
2 機能スイッチ[1]を押す

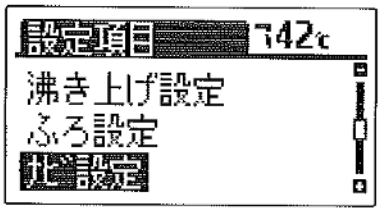


台所リモコン表示画面



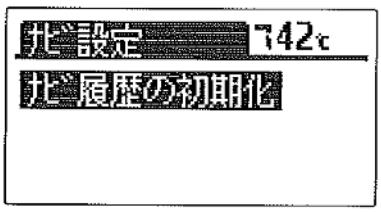
3 設定スイッチ[2]を押して「ナビ設定」を選択する





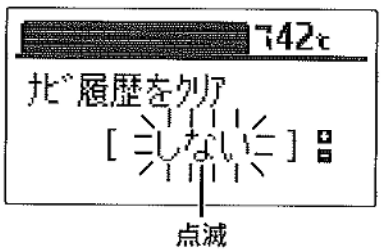
4 確定スイッチ[3]を押す





5 もう一度確定スイッチ[3]を押す

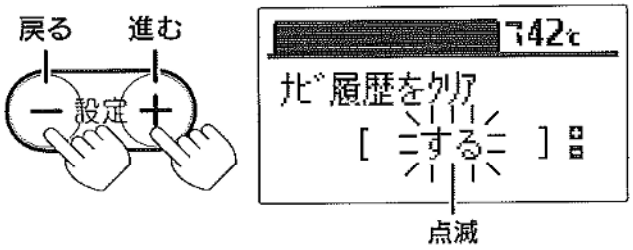




現在の設定が点滅します。

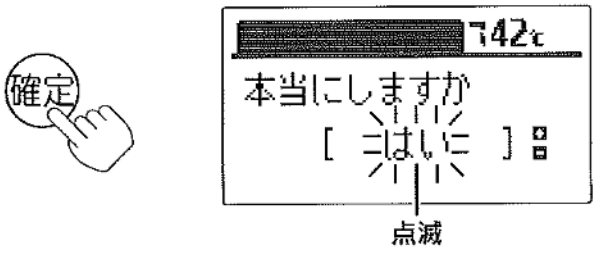
ナビ履歴の初期化

6 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を選択する



する⇔しないを選択できます。

7 確定スイッチ[3]を押す



現在の設定が点滅します。

誤操作防止の確認画面です。
初期化をしない場合は設定スイッチ[2]を押して「**いいえ**」を選択し、確定スイッチ[3]を２回押してください。またはふたを閉じてください。
通常の表示に戻ります。

8 もう一度確定スイッチ[3]を押す



音声で「**変更されました**」とお知らせし、設定の点滅が点灯に変わると初期化が完了します。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

お知らせ

- 使用可能湯量、湯量モニタの沸き上げ状態は初期化されません。
- お買い求め時には「**しない**」に設定されています。初期化後は自動的に設定が「**しない**」に戻ります。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。
- 「***8***」で確定スイッチを押して、初期化した後で再度「**しない**」を選択し確定スイッチを押してもデータは元には戻りません。

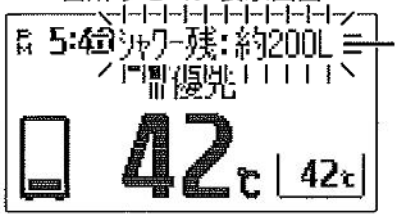
お知らせ表示

●「**お知らせ表示[入]**」に設定した場合に、下記の内容を台所リモコン・浴室リモコン・増設リモコンの表示画面と音声でお知らせします。
お買い求め時には「**入**」に設定されています。

「使用可能湯量」表示

●残湯量表示が２つから１つになったときに、使用可能湯量をお知らせします。

台所リモコン表示画面



5秒ごとに点滅

浴室リモコン表示画面



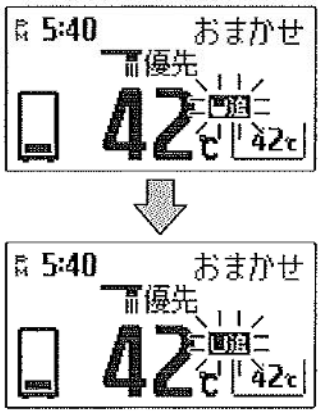
5秒ごとに点滅

●表示画面に使用可能湯量を「**シャワー残：約 200L**」(例)のように表示します。
(5 秒ごとに点滅表示します。)
●使用可能湯量は水温によって変化します。
●使用可能湯量と残湯量表示との相関はありません。
●台所リモコンはふたを開くと、通常の表示に戻ります。
(ふたを閉じると再度表示します。)

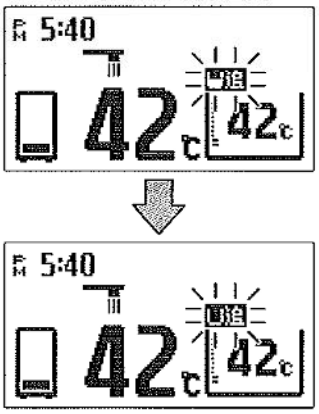
「追いだき情報」表示

●残湯量から判断して表示画面に「**追 (追いだき注意表示)**」または「**追 (追いだき不可表示)**」を表示し、追いだき情報をお知らせします。

台所リモコン表示画面



浴室リモコン表示画面



追いだき運転中または追いだきスイッチを押すと、浴室リモコンの音声で「**お湯が少なくなりました**」とお知らせし、表示画面に「**お湯が少なくなりました 追いだきできません**」と表示します。
※「**お知らせ表示[切]**」に設定しても、この音声と表示は消えません。

●増設リモコンには表示しません。

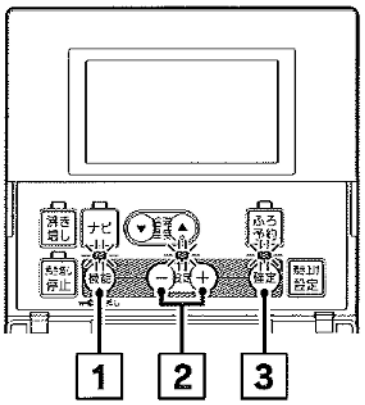
●お知らせ表示があった場合は、必要に応じて沸き増し運転を行ってください。30 ページ

お知らせ

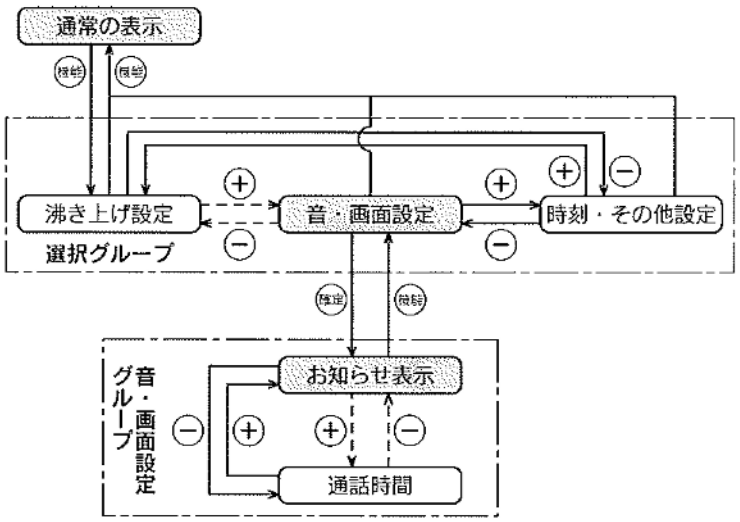
●湯量は給湯温度 42℃換算のめやすです。

お知らせ表示の設定

台所リモコン



機能設定の順序

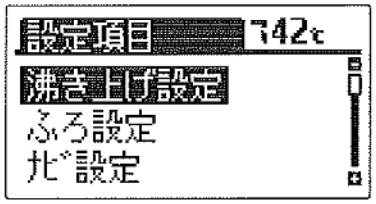


1 ふたを開く

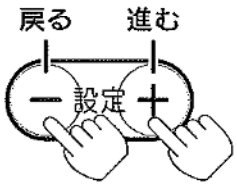
2 機能スイッチ[1]を押す

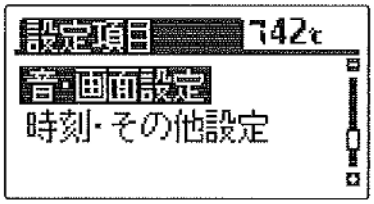


台所リモコン表示画面



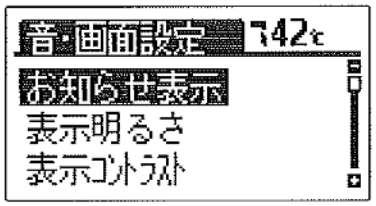
3 設定スイッチ[2]を押して「音・画面設定」を選択する





4 確定スイッチ[3]を押す

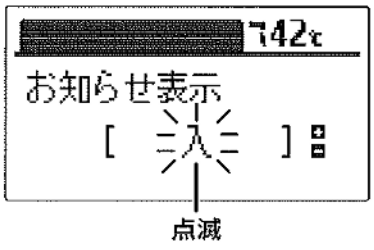




音・画面設定グループの項目を表示します。

5 もう一度確定スイッチ[3]を押す





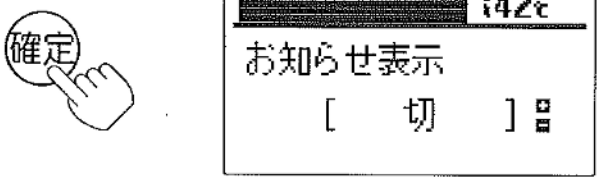
現在の設定が点滅します。

6 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を設定する



入⇔切 を選択できます。

7 確定スイッチ[3]を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ[1]を押すと「**4**」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

8 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

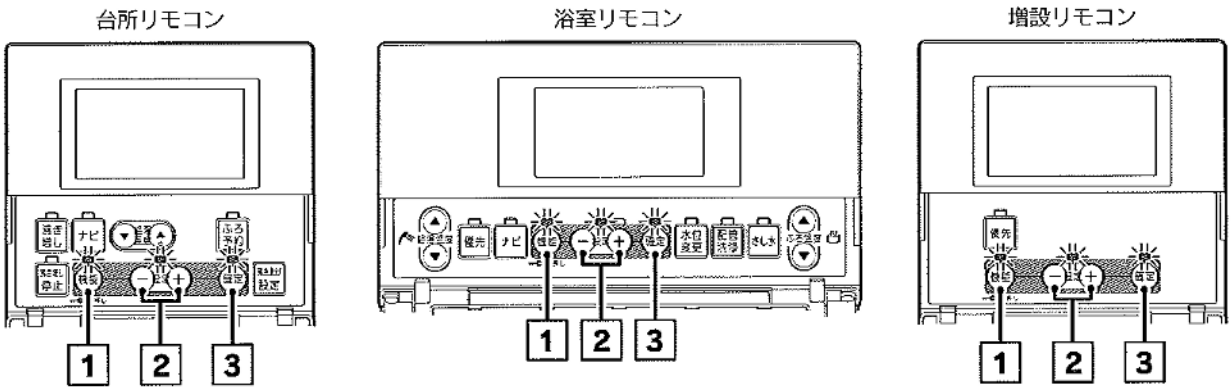
お知らせ

●お買い求め時には「入」に設定されています。
●途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

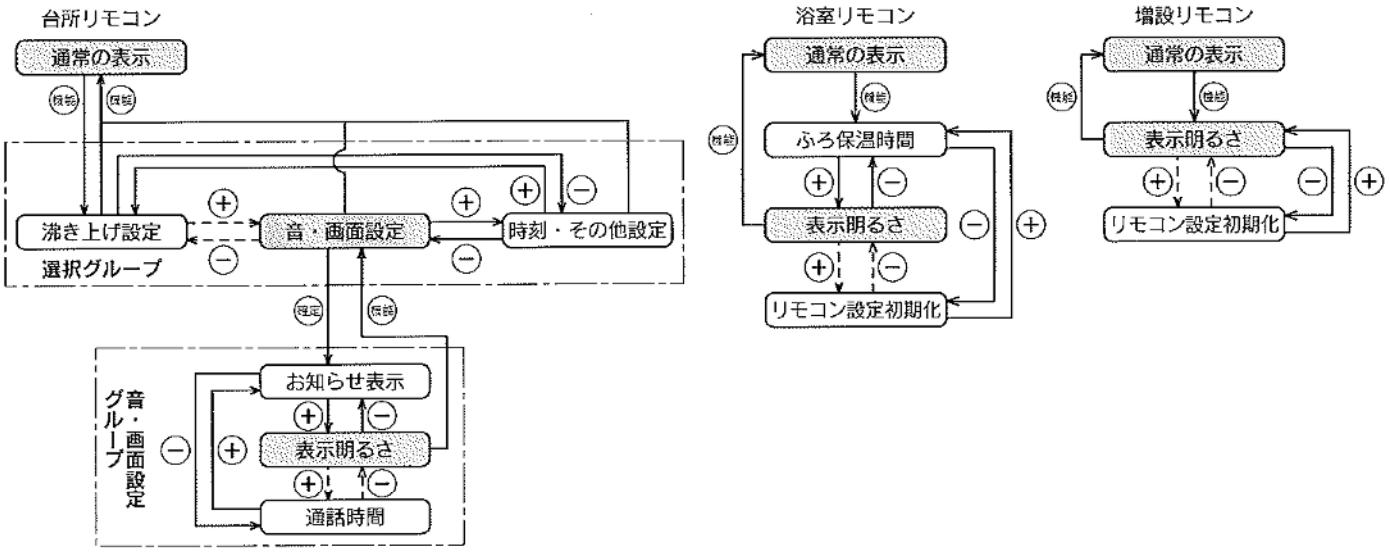
リモコンの設定

表示(画面)明るさの設定

それぞれのリモコンで表示画面の明るさを調節することができます。



機能設定の順序

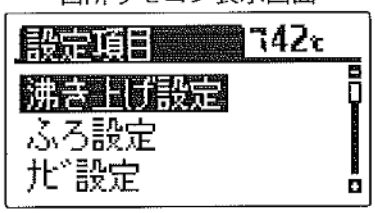


●浴室リモコン、増設リモコンで設定する場合は **3・4** の操作はありません。

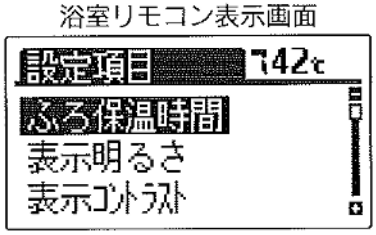
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

台所リモコン表示画面



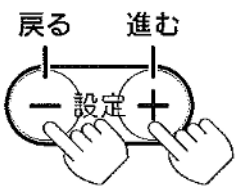
浴室リモコン表示画面

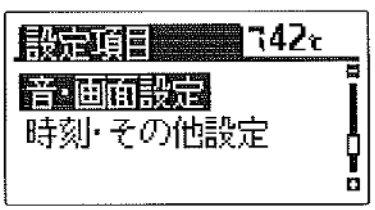




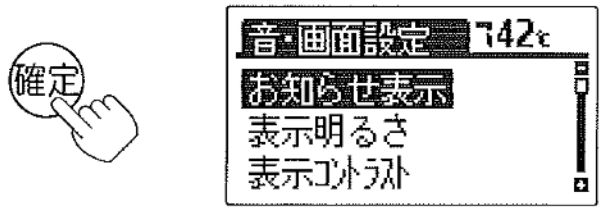
3 設定スイッチ[2]を押して「音・画面設定」を選択する

(台所リモコンのみ)



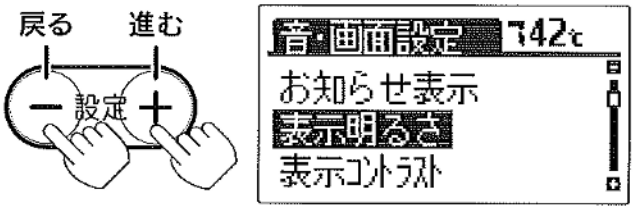


4 確定スイッチ[3]を押す
(台所リモコンのみ)



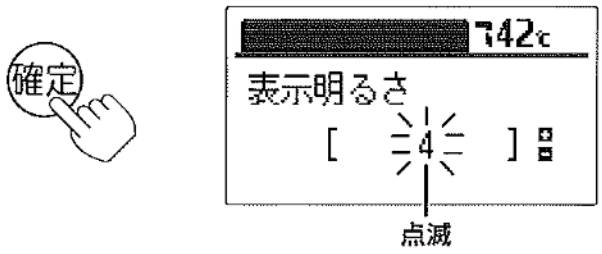
音・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ[2]を押して「表示明るさ」を選択する



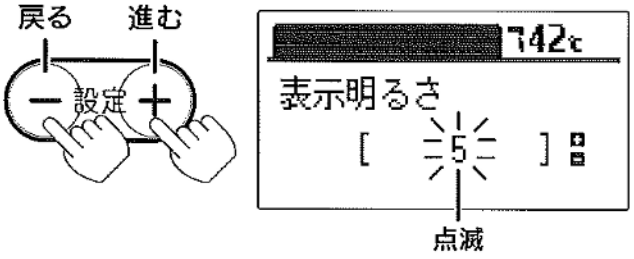
※イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ[3]を押す



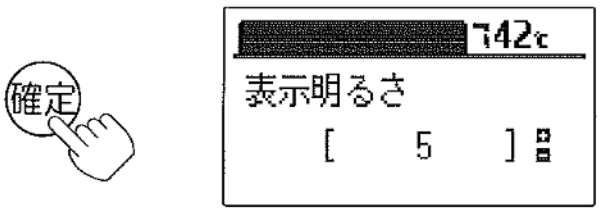
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を設定する



1⇔2･･･6⇔7 の順で変更できます。

8 確定スイッチ[3]を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ[1]を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。
※イラストは台所リモコンの場合です。

お知らせ

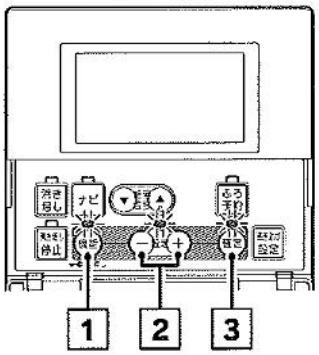
- 台所リモコン、浴室リモコン、増設リモコンは別々に明るさの設定をすることができます。
- お買い求め時には「4」に設定されています。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

リモコンの設定

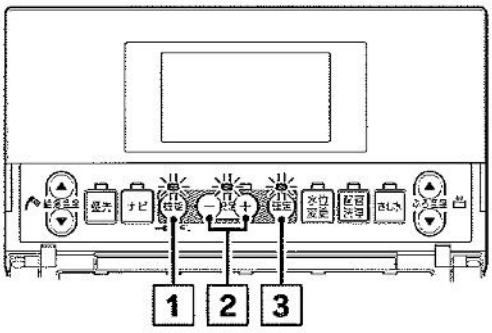
表示コントラストの設定

それぞれのリモコンで表示画面の液晶(LCD)のコントラスト(濃淡のバランス)を調節できます。

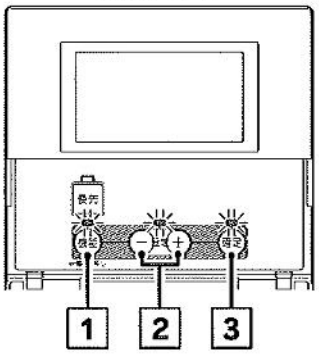
台所リモコン



浴室リモコン

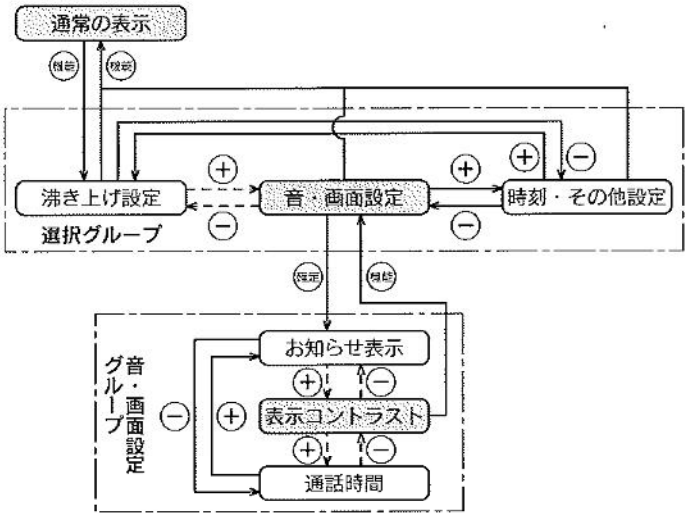


増設リモコン

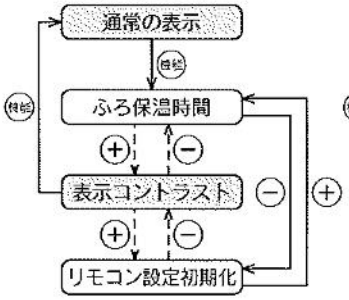


機能設定の順序

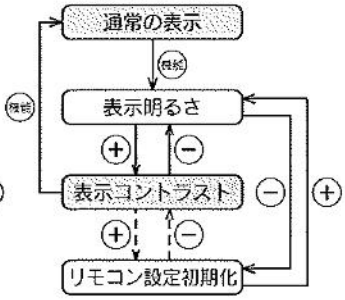
台所リモコン



浴室リモコン



増設リモコン

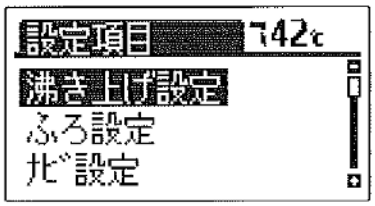


●浴室リモコン、増設リモコンで設定する場合は **3・4** の操作はありません。

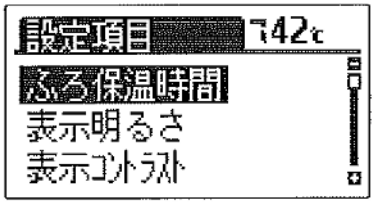
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

台所リモコン表示画面



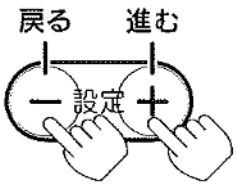
浴室リモコン表示画面

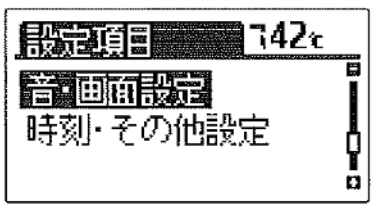




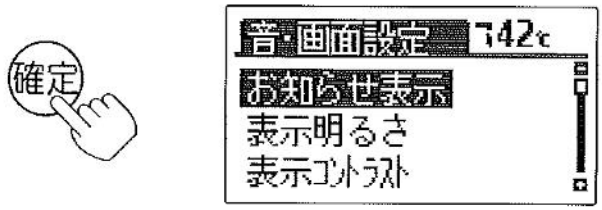
3 設定スイッチ[2]を押して「音・画面設定」を選択する

(台所リモコンのみ)



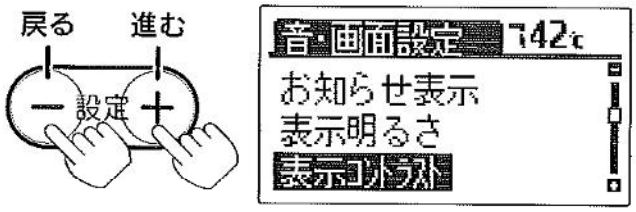


4 確定スイッチ3を押す
(台所リモコンのみ)



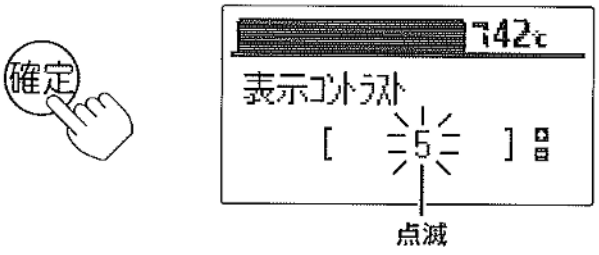
音・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ2を押して「表示コントラスト」を選択する



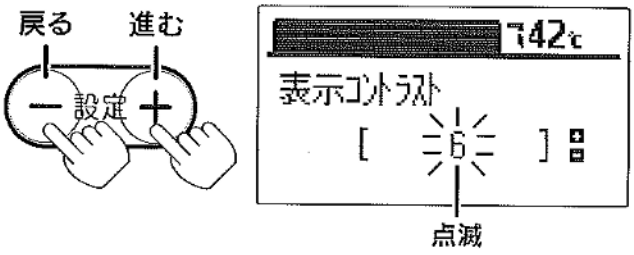
※イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ3を押す



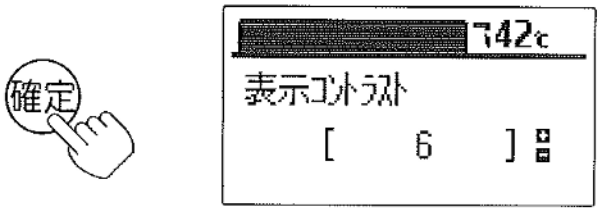
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ2を押して希望の内容を設定する



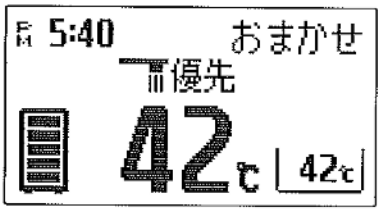
1⇔2･･･8⇔9の順で変更できます。

8 確定スイッチ3を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ1を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。
※イラストは台所リモコンの場合です。

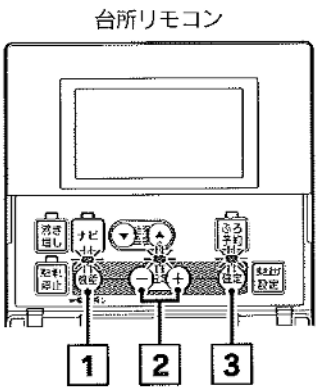
お知らせ

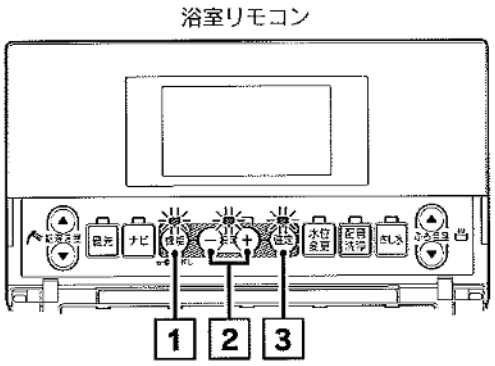
- 台所リモコン、浴室リモコン、増設リモコンは別々にコントラストの設定をすることができます。
- お買い求め時には「5」に設定されています。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

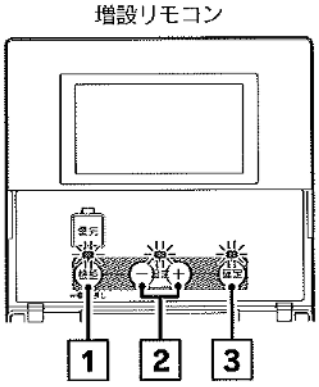
リモコンの設定

表示白黒反転の設定

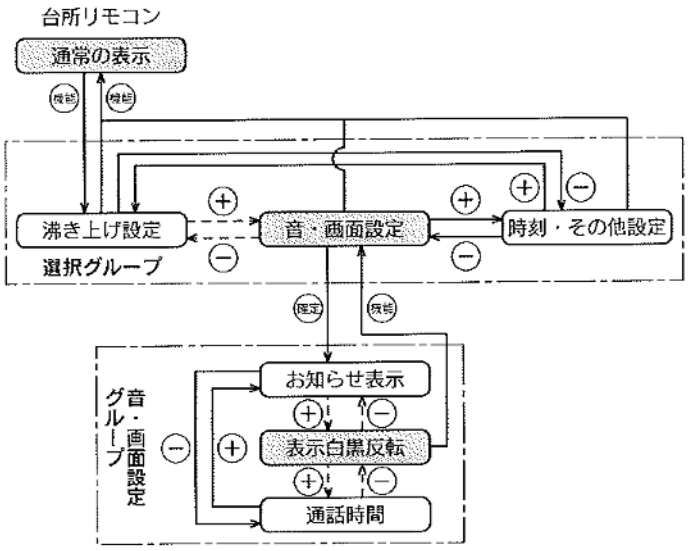
それぞれのリモコンで表示画面の白黒反転ができます。

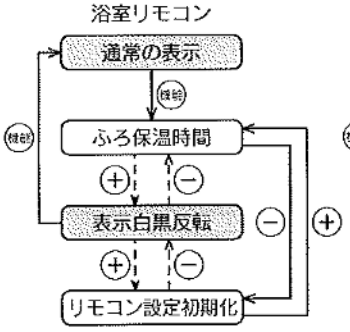


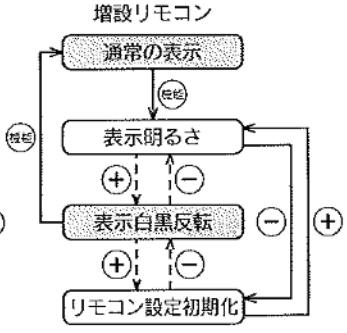




機能設定の順序





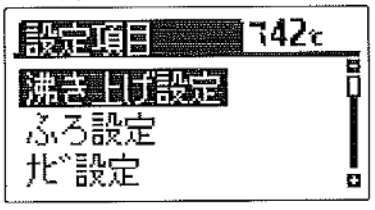


●浴室リモコン、増設リモコンで設定する場合は **3・4** の操作はありません。

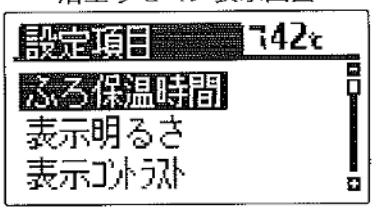
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

台所リモコン表示画面



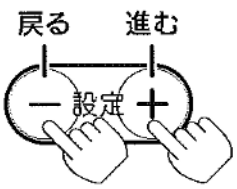
浴室リモコン表示画面

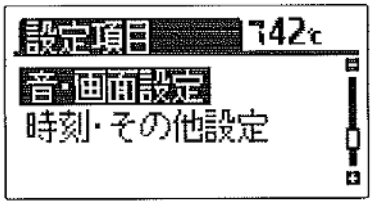




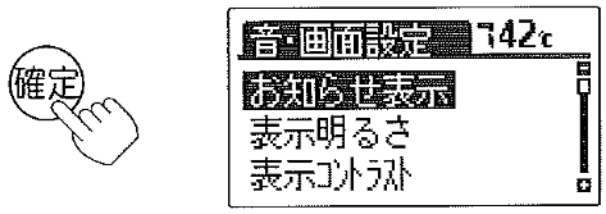
3 設定スイッチ[2]を押して「音・画面設定」を選択する

(台所リモコンのみ)



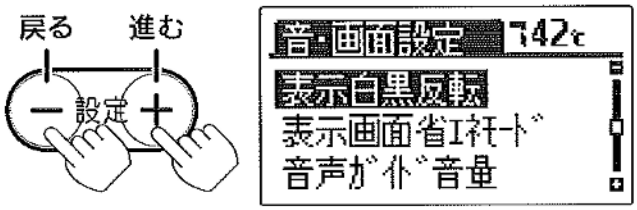


4 確定スイッチ3を押す
(台所リモコンのみ)



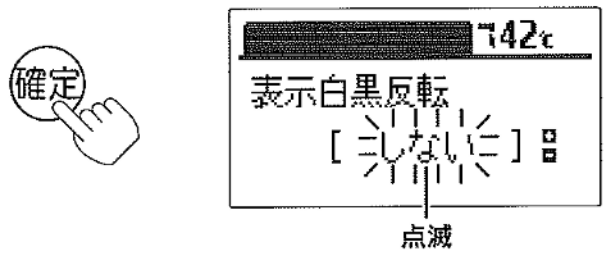
音・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ2を押して「表示白黒反転」を選択する



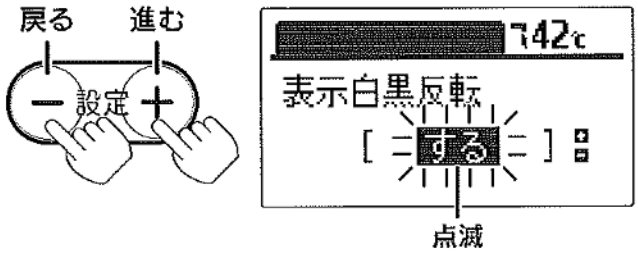
※イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ3を押す



現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ2を押して希望の内容を設定する



する⇔しないを選択できます。

8 確定スイッチ3を押す



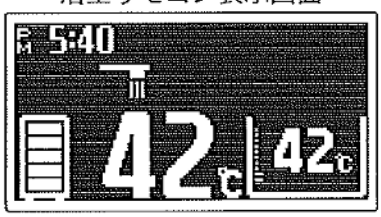
設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ1を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる

台所リモコン表示画面



浴室リモコン表示画面



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

お知らせ

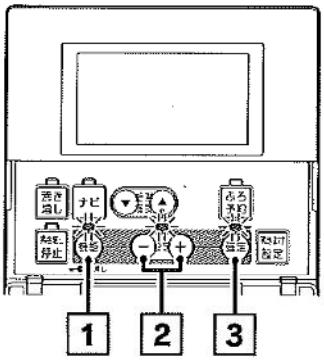
●台所リモコン、浴室リモコン、増設リモコンは別々に表示白黒反転の設定をすることができます。
●お買い求め時には「**しない**」に設定されています。
●途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

リモコンの設定

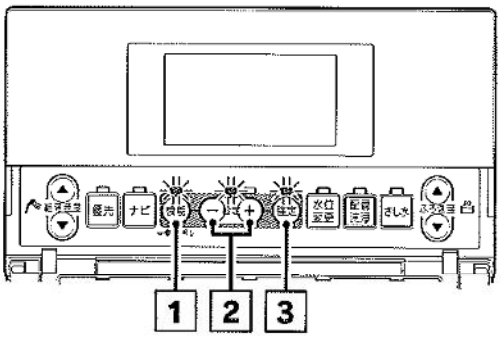
表示画面省エネモードの設定

それぞれのリモコンで表示画面のバックライトの点灯状態を設定することができます。

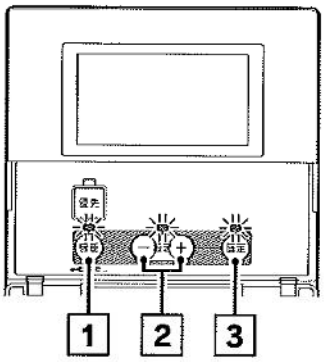
台所リモコン



浴室リモコン

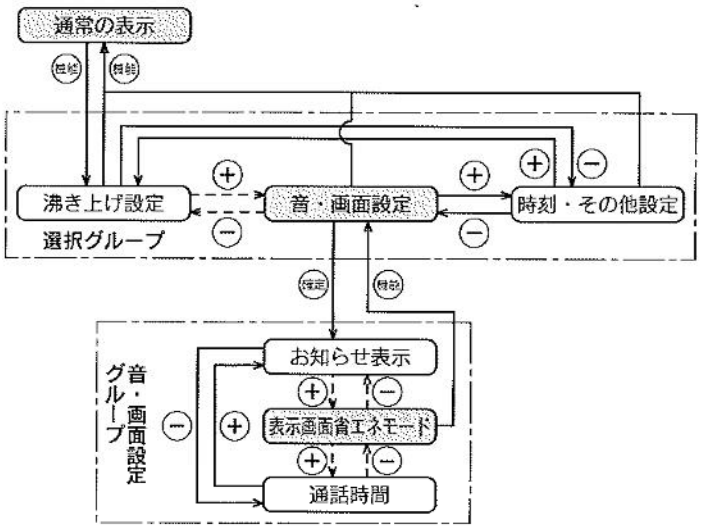


増設リモコン

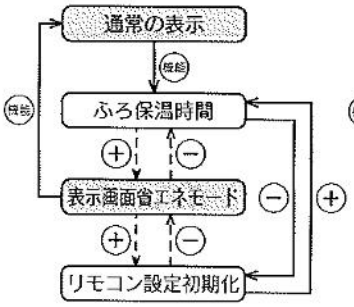


機能設定の順序

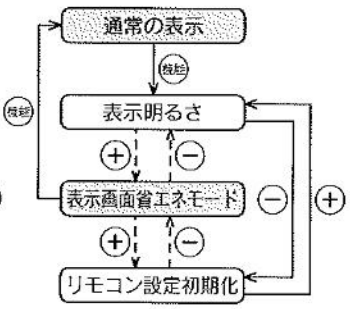
台所リモコン



浴室リモコン



増設リモコン

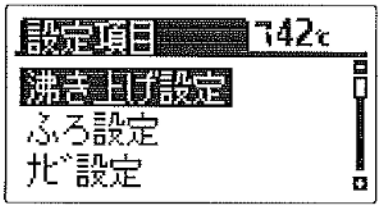


●浴室リモコン、増設リモコンで設定する場合は **3・4** の操作はありません。

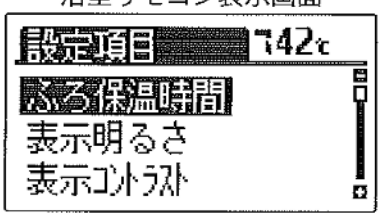
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

台所リモコン表示画面



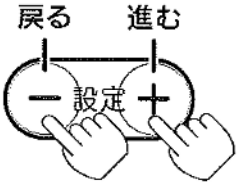
浴室リモコン表示画面

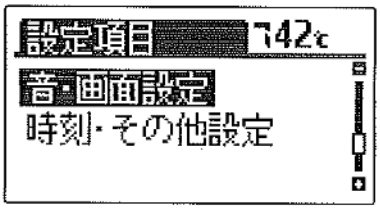




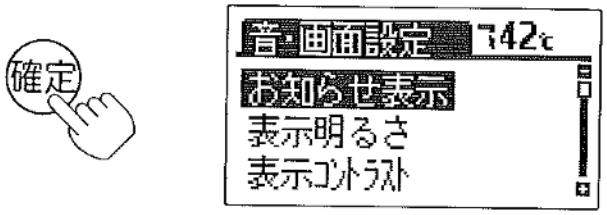
3 設定スイッチ[2]を押して「音・画面設定」を選択する

(台所リモコンのみ)



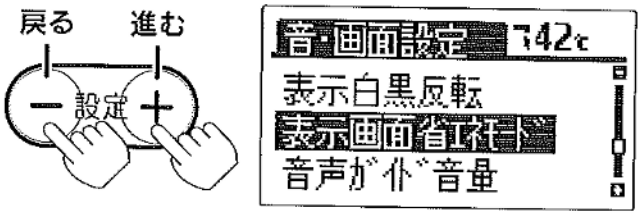


4 確定スイッチ3を押す
(台所リモコンのみ)



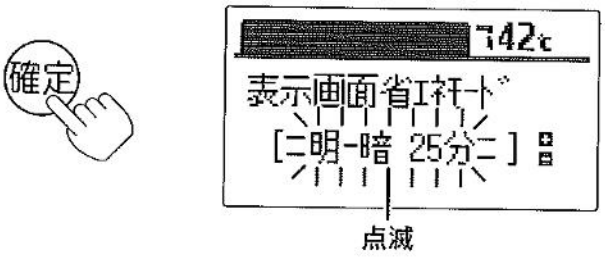
音・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ2を押して「表示画面省エネモード」を選択する



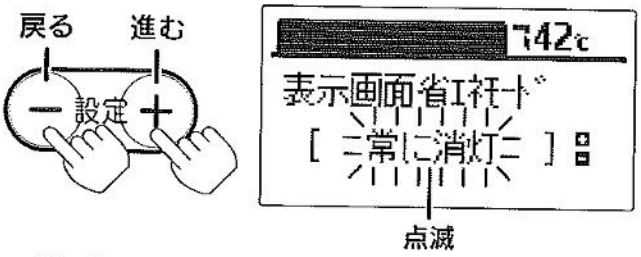
※イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ3を押す



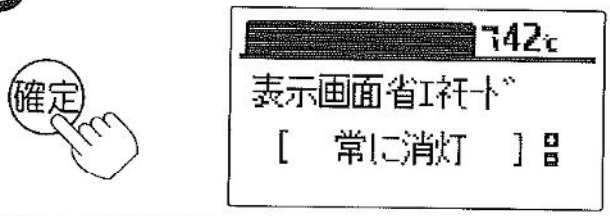
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ2を押して希望の内容を設定する



明-暗 25分 ↔ 明-消 25分 ↔ 明-暗 5分 ↔ 常に消灯 ↔ 常に点灯 ↔ 明-消 5分
の順で変更できます。

8 確定スイッチ3を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ1を押すと「**5**」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



選択した表示画面省エネモードで通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。
※イラストは台所リモコンの場合です。

お知らせ

- 台所リモコン、浴室リモコン、増設リモコンは別々に表示画面省エネモードの設定をすることができます。
- お買い求め時には「**明-暗25分**」に設定されています。
- 表示画面省エネモードの設定内容は右記となります。
- 「**明-暗25分**」・「**明-消25分**」・「**明-暗5分**」・「**明-消5分**」は表示画面省エネモード中にリモコンを操作したり、他のリモコンで給湯温度の設定が変更された場合、表示画面は通常の明るさに戻ります。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

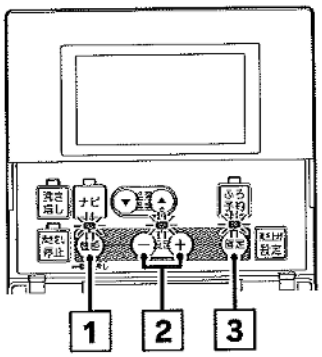
モード設定	表示画面省エネモードの内容
明-暗25分	リモコンのスイッチを使用しない状態が約25分間続くと表示画面のバックライトを暗くします。
明-消25分	リモコンのスイッチを使用しない状態が約25分間続くと表示画面のバックライトを消灯します。
明-暗5分	リモコンのスイッチを使用しない状態が約5分間続くと表示画面のバックライトを暗くします。
明-消5分	リモコンのスイッチを使用しない状態が約5分間続くと表示画面のバックライトを消灯します。
常に点灯	表示画面のバックライトを常に設定されている明るさで点灯します。
常に消灯	表示画面のバックライトを常に消灯します。

リモコンの設定

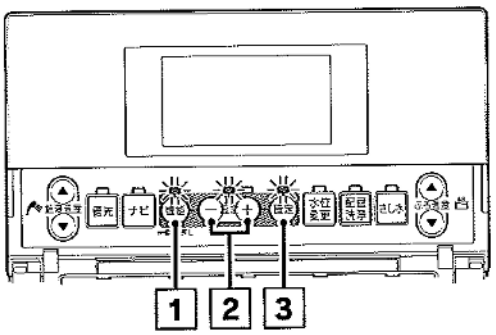
音声ガイドの音量の設定

それぞれのリモコンで音声ガイドの音量を調節することができます。

台所リモコン

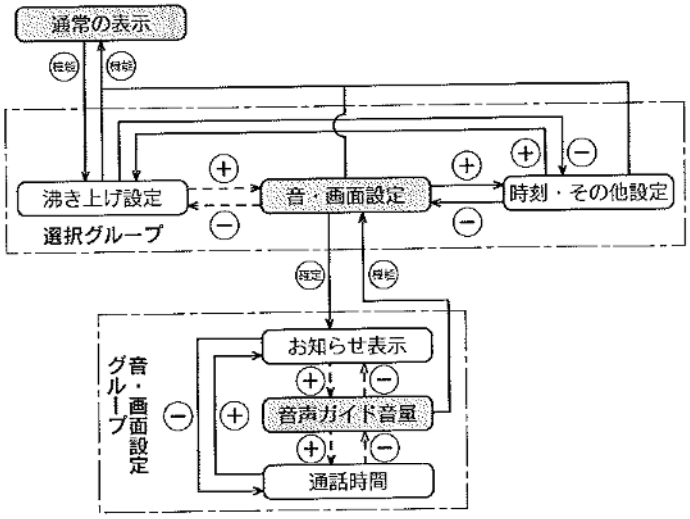


浴室リモコン

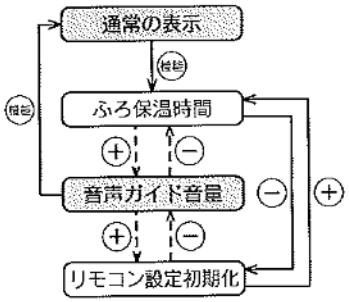


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

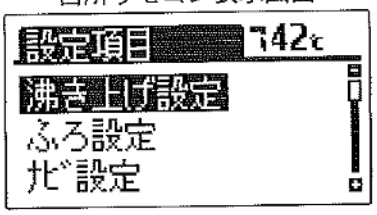


●浴室リモコンで設定する場合は **3・4** の操作はありません。

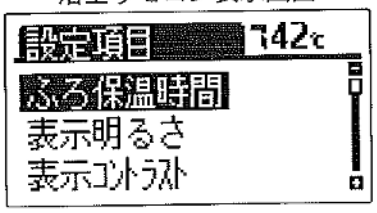
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

台所リモコン表示画面



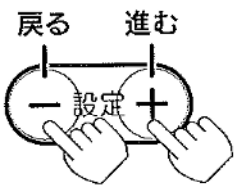
浴室リモコン表示画面

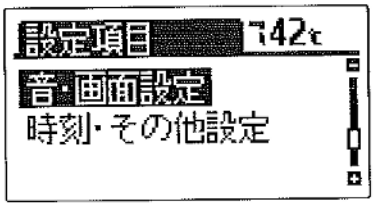




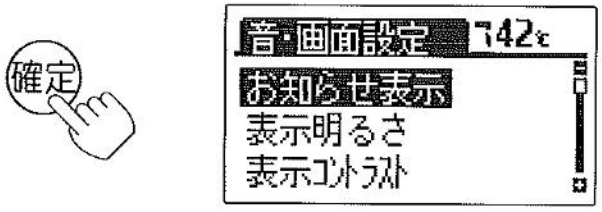
3 設定スイッチ[2]を押して「音・画面設定」を選択する

(台所リモコンのみ)



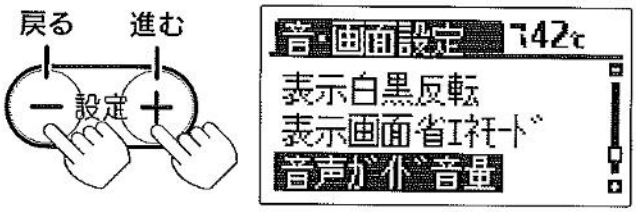


4 確定スイッチ[3]を押す
(台所リモコンのみ)



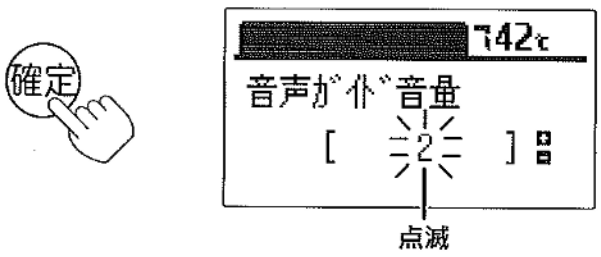
音・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ[2]を押して「音声ガイド音量」を選択する



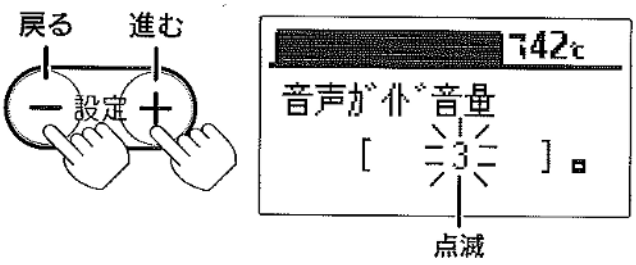
※イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ[3]を押す



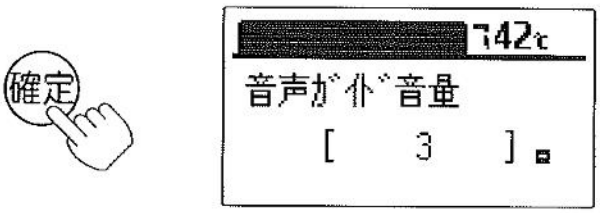
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を設定する



0↔1↔2↔3 の順で変更できます。
(切) (小) (中) (大)
このとき変更した音量で「**この声でお知らせします**」と発声します。

8 確定スイッチ[3]を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ[1]を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



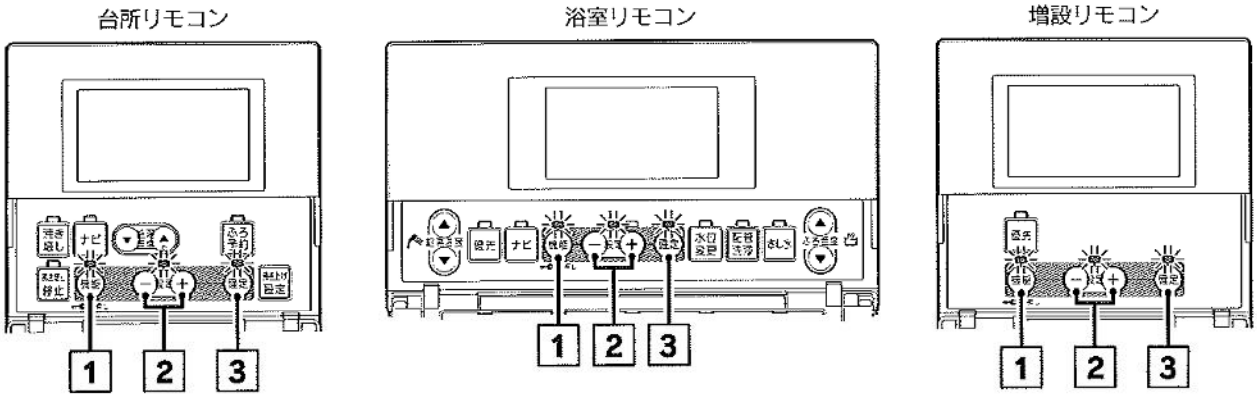
通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。
※イラストは台所リモコンの場合です。

お知らせ

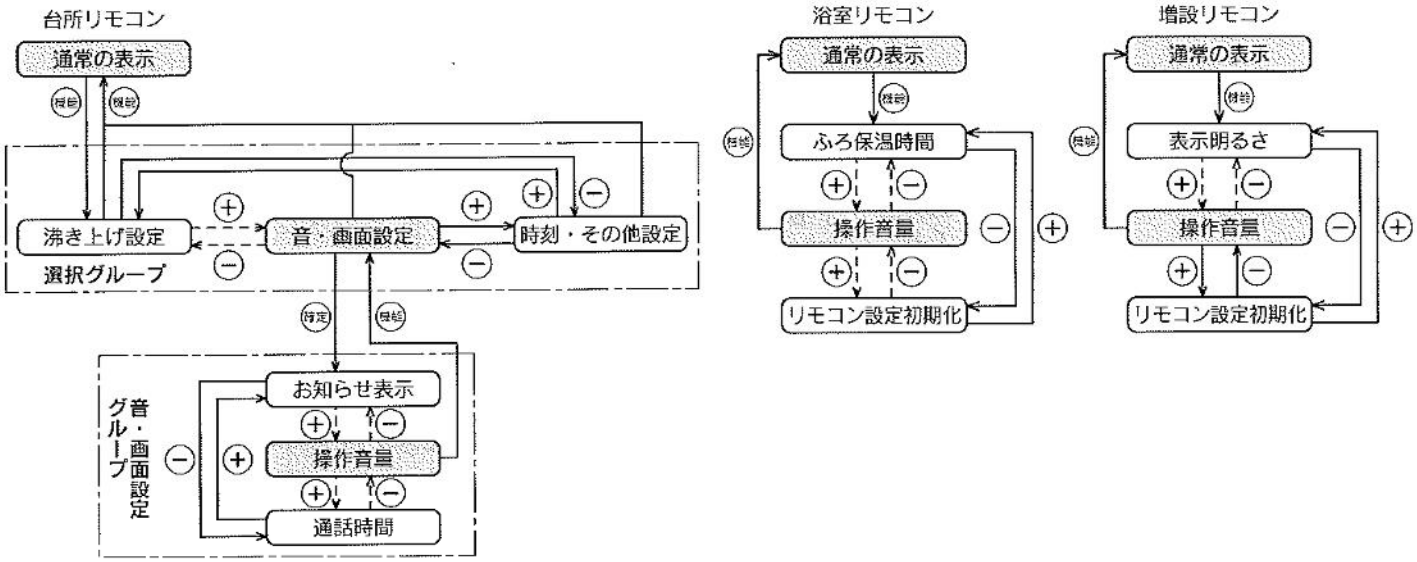
- 台所リモコン、浴室リモコンは別々に音量の設定をすることができます。
- お買い求め時には「2」に設定されています。
- 音量を「0(切)」にすると音声ガイドは消えますが、呼び出し音は消えません。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

操作音量の設定

それぞれのリモコンで操作音量を調節することができます。



機能設定の順序

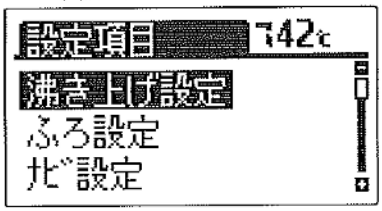


●浴室リモコン、増設リモコンで設定する場合は **3・4** の操作はありません。

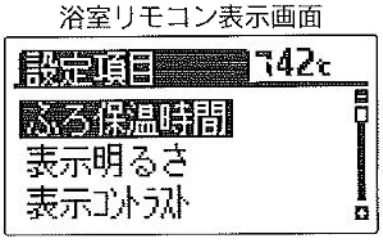
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

台所リモコン表示画面



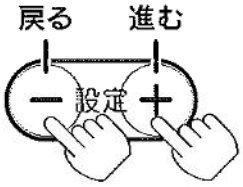
浴室リモコン表示画面

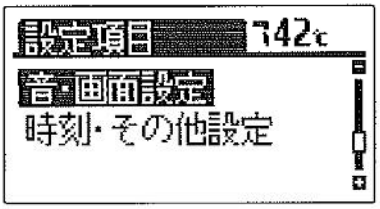




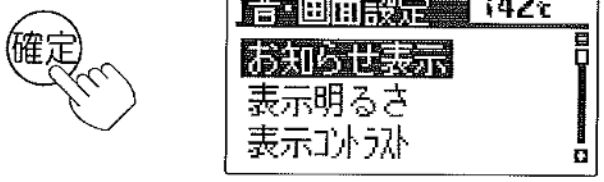
3 設定スイッチ[2]を押して「音・画面設定」を選択する

(台所リモコンのみ)



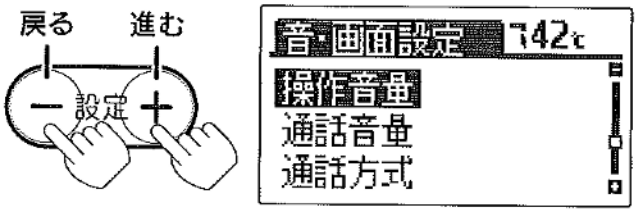


4 確定スイッチ[3]を押す
(台所リモコンのみ)



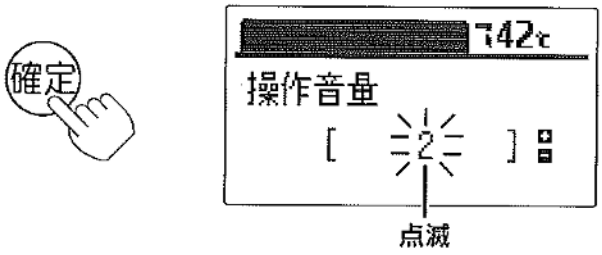
音・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ[2]を押して「操作音量」を選択する



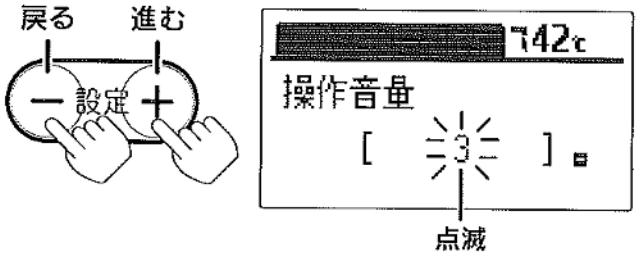
※イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ[3]を押す



現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を設定する



0⇔1⇔2⇔3 の順で変更できます。
(無) (小) (中) (大)
(増設リモコンはON/OFF設定)
このとき変更した音量で操作音が鳴ります。

8 確定スイッチ[3]を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ[1]を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



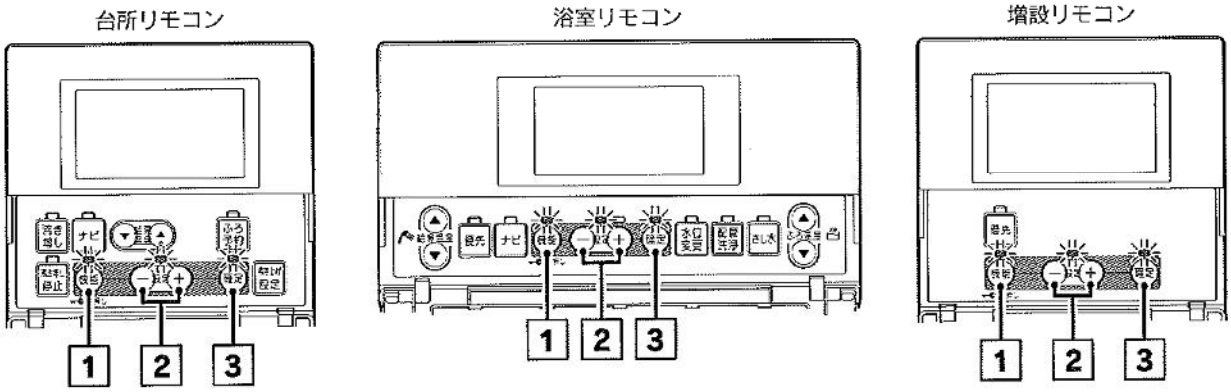
通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。
※イラストは台所リモコンの場合です。

お知らせ

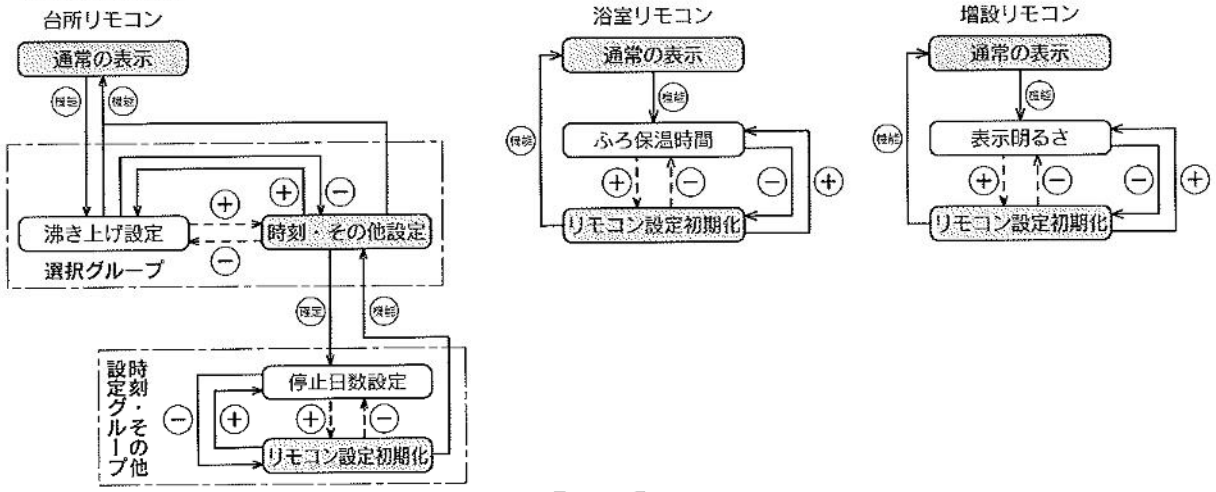
- 台所リモコン、浴室リモコン、増設リモコンは別々に音量の設定をすることができます。
- お買い求め時には「2」に設定されています。(増設リモコンは「ON」)
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

リモコン設定初期化の設定

台所リモコンの場合は「機能設定」の「音・画面設定」をお買い求め時の状態にします。
浴室リモコンの場合は「ふろ保温時間」以外の「機能設定」をお買い求め時の状態にします。
増設リモコンの場合はすべての「機能設定」をお買い求め時の状態にします。



機能設定の順序

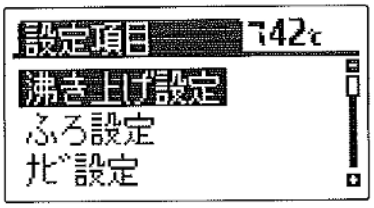


●浴室リモコン、増設リモコンで設定する場合は **3・4** の操作はありません。

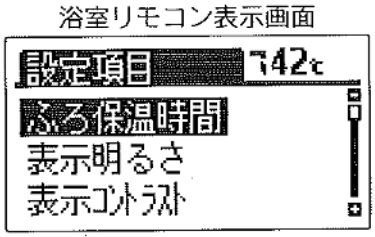
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

台所リモコン表示画面

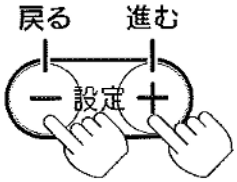


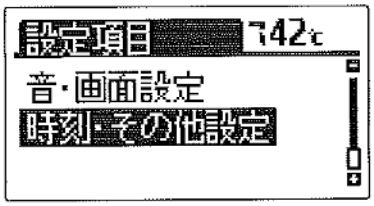
浴室リモコン表示画面



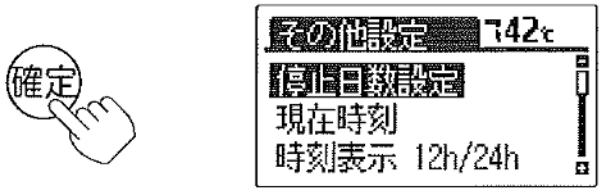


3 設定スイッチ[2]を押して「時刻・その他設定」を選択する（台所リモコンのみ）



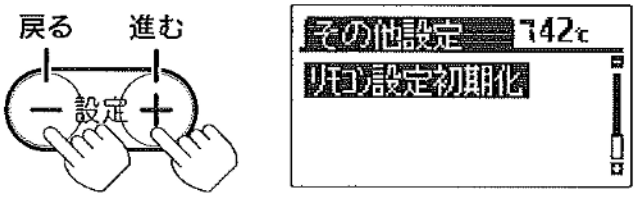


4 確定スイッチ3を押す
(台所リモコンのみ)



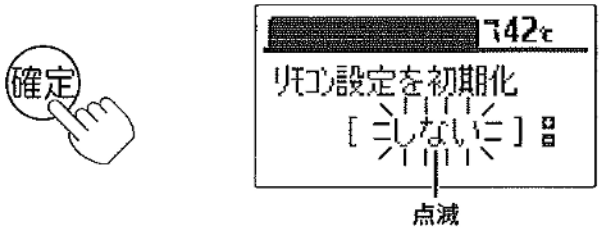
時刻・その他設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ2を押して「リモコン設定初期化」を選択する



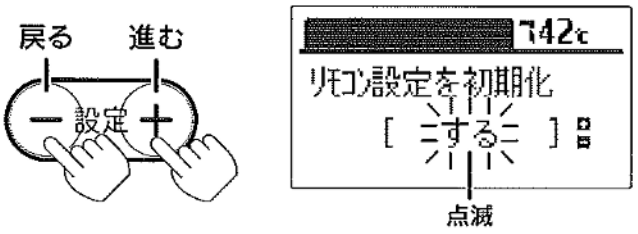
※イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ3を押す



現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ2を押して希望の内容を選択する



する⇔しないを選択できます。

8 確定スイッチ3を押す



現在の設定が点滅します。

誤操作防止の確認画面です。
初期化をしない場合は設定スイッチ2を押して「**いいえ**」を選択し、確定スイッチ3を２回押してください。またはふたを閉じてください。
通常の表示に戻ります。

9 もう一度確定スイッチ3を押す



音声で「**変更されました**」とお知らせし、設定の点滅が点灯に変わると初期化が完了します。
機能スイッチ1を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

10 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。
※イラストは台所リモコンの場合です。

お知らせ

- お買い求め時には「**しない**」に設定されています。
  初期化後は自動的に設定が「**しない**」に戻ります。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。
- 「***9***」で確定スイッチを押して、初期化した後で再度「**しない**」を選択し確定スイッチを押してもデータは元には戻りません。

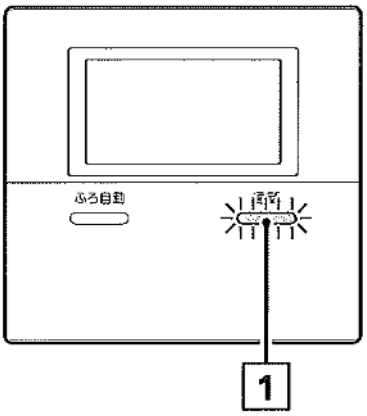
インターホン機能

インターホンの使いかた

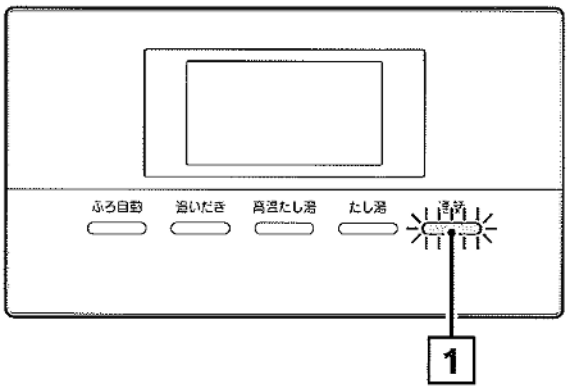
台所リモコン、浴室リモコンのどちらからでも通話できます。

⚠注意	リモコンに耳を近づけて使用しないでください。 大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。
お願い	台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合、インターホン通話をするとハウリング(キーンなどの大きな音がする現象)を起こすことがあります。そのような場合は音量を下げて使用してください。それでも直らない場合はお買い求めの販売店に連絡して、リモコンの設置場所や向きを変更してください。

台所リモコン

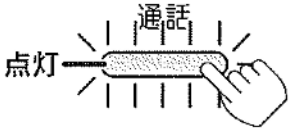


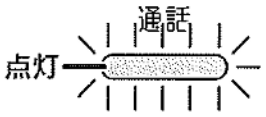
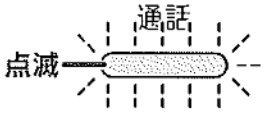
浴室リモコン



通話スイッチ[1]を押して通話を開始する

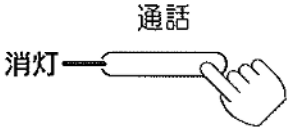
台所リモコンと浴室リモコンの呼び出し音が鳴って通話ランプが点灯します。
通話ランプによってリモコンの状態がわかります。



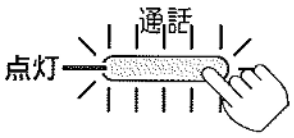
通話ランプ	リモコンの状態
	こちらの話が相手に聞こえます。
	話を受けている状態です。 こちらの話は相手に聞こえません。

通話を終了するには

通話スイッチ[1]を押すと、通話ランプが消灯し、通話状態が終了します。
話をしない場合や、音がしない状態が約１分間続いた場合、または通話をはじめてから設定した通話時間が経過した場合も、通話ランプが消灯して通話状態が終了します。
自動的に通話状態が終了するときは「**通話を終了します**」と表示と音声でお知らせします。



相手の話をさえぎって話をするときは…



通話スイッチ[1]を押しながら話します。
通話スイッチを押しているリモコンの通話が優先されます。

お知らせ

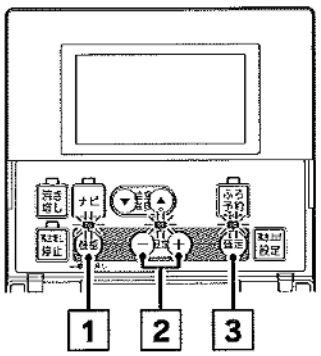
- 台所リモコンの周囲が騒々しいと台所リモコンからの通話モードとなり、浴室の音がモニターできないことがあります。
- 音声ガイドが流れているときは通話できません。
- 通話スイッチを押した直後は、浴室リモコンからの通話モードになっています。
- 話しはじめるときに音声が一瞬途切れることがあります。
- スイッチ操作などを行ったときに、音声が途切れることがあります。
- 音声が途切れたり、声が小さいときはリモコンに近づいて話してください。
- 話をするときはリモコンから約 20cm 離れて話してください。
- リモコンに近づきすぎて話すと、相手のリモコンで音声が聞きとりにくいことがあります。
- 通話スイッチを押しながら話す場合は、押す時間が短いと通話状態が終了することがあります。
- 浴室のドアを開けたままインターホンを使用するとハウリングが発生することがあります。その場合はドアを閉めて使用してください。
- ガイド音量を「0」に設定した場合は、ブザーでお知らせします。
- 通話終了時間はお買い求め時には 30 分に設定されています。台所リモコンで通話終了時間を 1 ～ 60 分に変更することができます。73・74ページ

インターホン機能

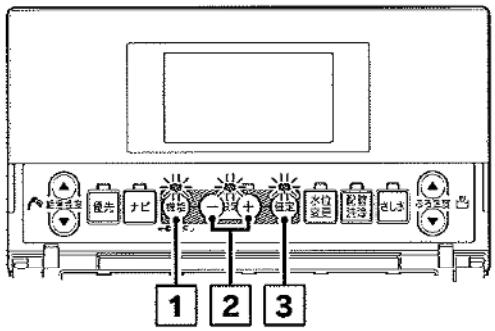
通話音量の設定

それぞれのリモコンのインターホン通話時のスピーカー音量を変更することができます。

台所リモコン

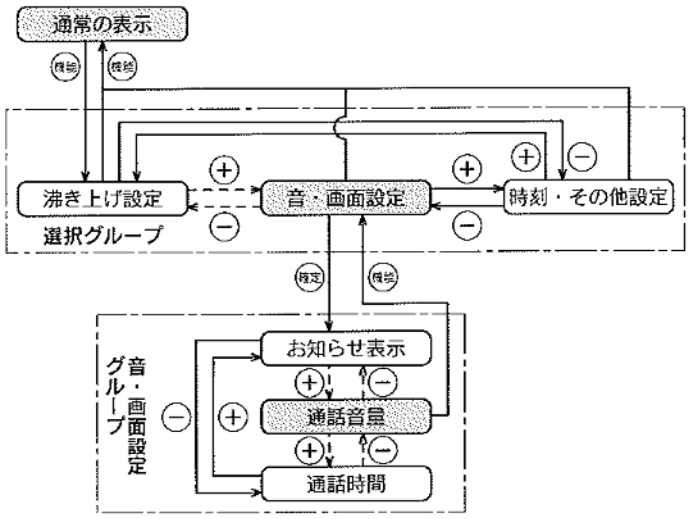


浴室リモコン

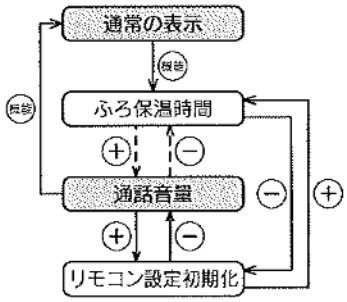


機能設定の順序

台所リモコン



浴室リモコン

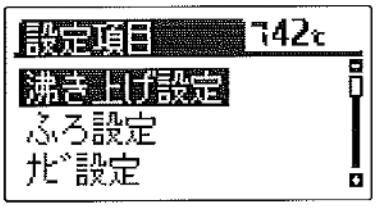


●浴室リモコンで設定する場合は **3・4** の操作はありません。

1 ふたを開く

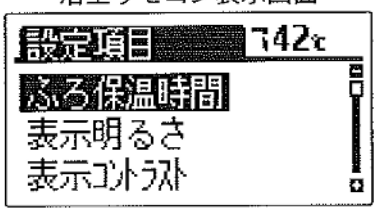
2 機能スイッチ[1]を押す

台所リモコン表示画面



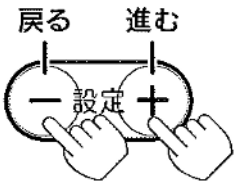


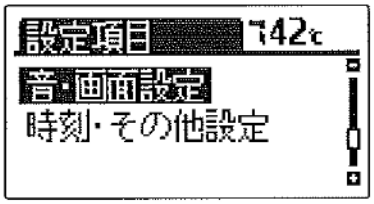
浴室リモコン表示画面



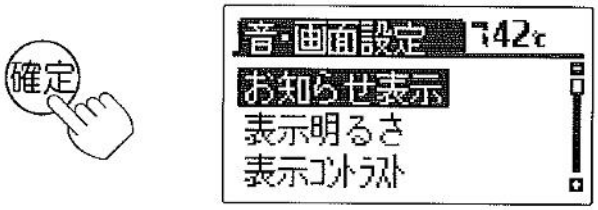
3 設定スイッチ[2]を押して「音・画面設定」を選択する

(台所リモコンのみ)



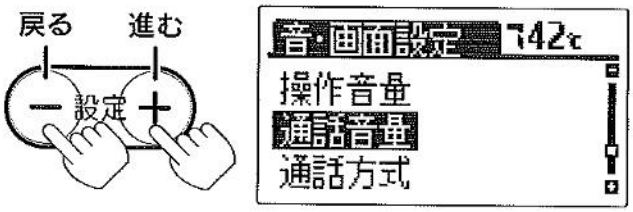


4 確定スイッチ3を押す
(台所リモコンのみ)



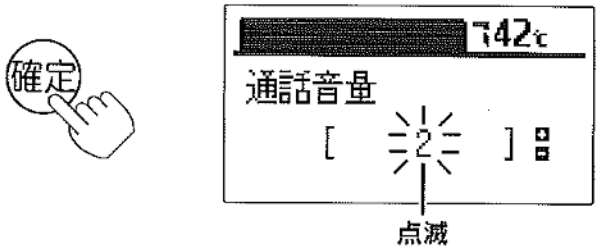
音・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ2を押して「通話音量」を選択する



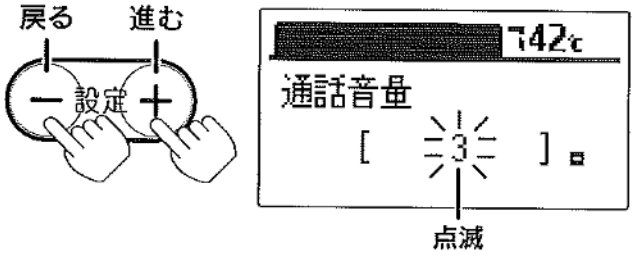
※イラストは台所リモコンの場合です。

6 確定スイッチ3を押す



現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ2を押して希望の内容を設定する



1↔2↔3 の順で変更できます。
(小) (中) (大)
このとき変更した音量で「**この声でお知らせします**」と発声します。

8 確定スイッチ3を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ1を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。
※イラストは台所リモコンの場合です。

お知らせ

- 台所リモコン、浴室リモコンは別々に音量の設定をすることができます。
- お買い求め時には「2」に設定されています。
- 途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

インターホンの通話方式について

●リモコンの通話方式には「**ハンズフリー方式**」と「**プレストーク方式**」があります。

ハンズフリー方式

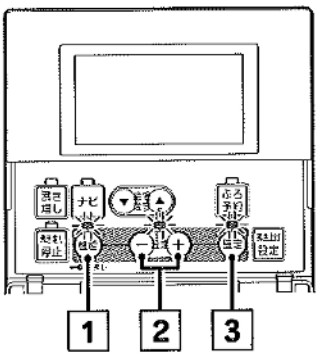
通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押すと、後は手を離した状態で通話できます。
(67・68ページの説明がハンズフリー方式での通話方法です。)
台所リモコンの周囲が騒々しいと浴室リモコンの通話ランプが点滅して、浴室リモコンからの通話ができないことがあります。

プレストーク方式

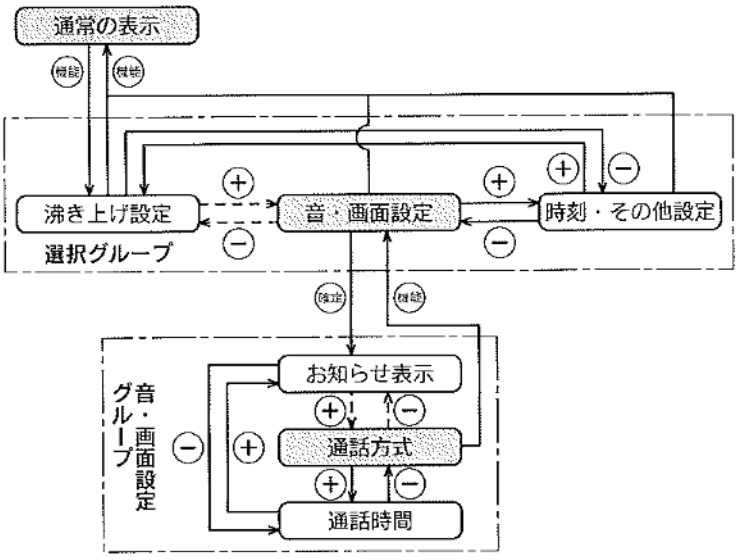
通話を始めたいときにどちらかのリモコンの通話スイッチを押し、台所リモコンから浴室に話しかけるときには台所リモコンの通話スイッチを押しながら話す方法です。浴室内の音を常時台所リモコンでモニターしていますので、浴室リモコンからは通話スイッチを押さなくても話ができます。
台所リモコンの通話ランプは常に点灯していますが通話状態にはなりません。
通話するときは通話スイッチを押しながら行ってください。

通話方式の設定

台所リモコン



機能設定の順序

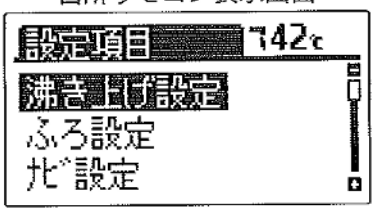


1 ふたを開く

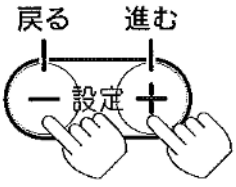
2 機能スイッチ[1]を押す

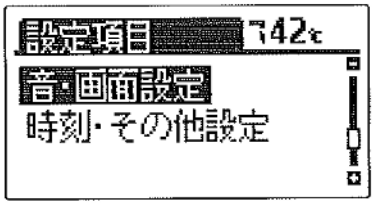
台所リモコン表示画面



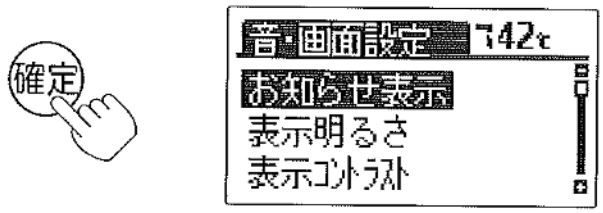


3 設定スイッチ[2]を押して「音・画面設定」を選択する



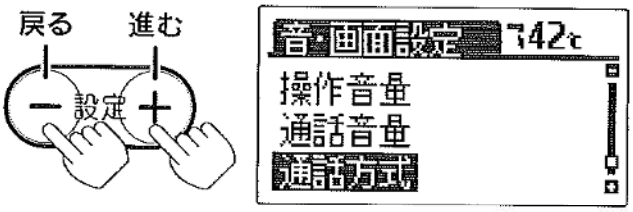


4 確定スイッチ3を押す

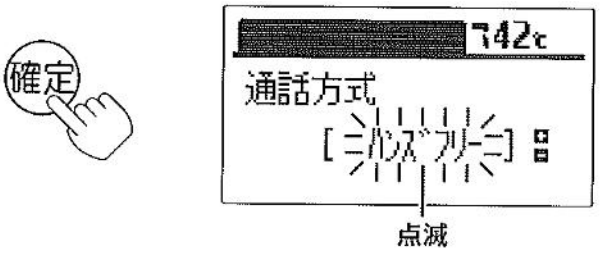


音・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ2を押して「通話方式」を選択する

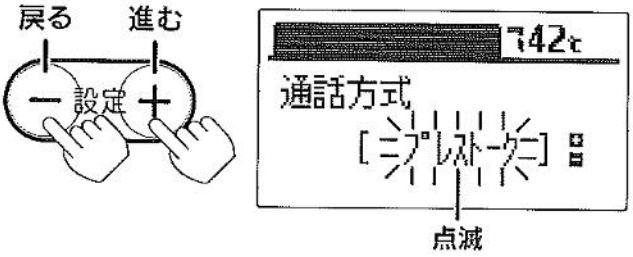


6 確定スイッチ3を押す



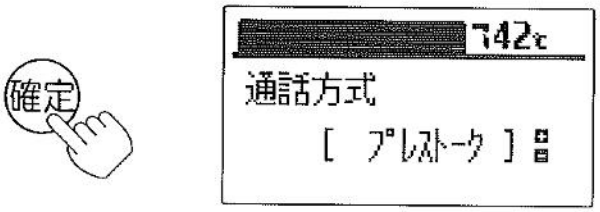
現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ2を押して希望の内容を設定する



ハンズフリー⇔プレストークを選択できます。

8 確定スイッチ3を押す



設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ1を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約40秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

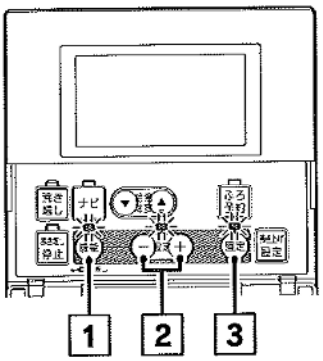
お知らせ

●お買い求め時には「**ハンズフリー**」に設定されています。
●途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

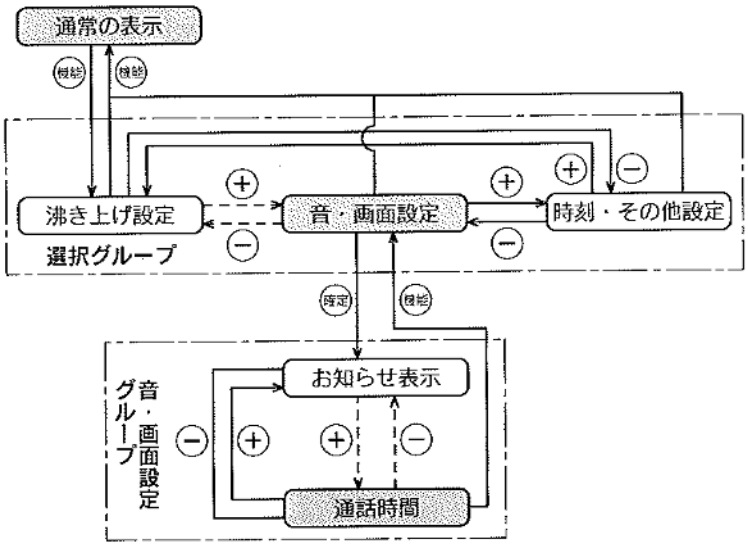
通話時間の設定

●通話を始めてから自動的に通話状態が終了するまでの時間を設定することができます。

台所リモコン



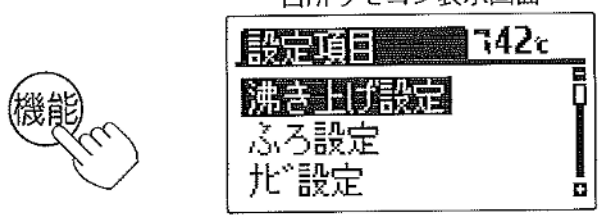
機能設定の順序



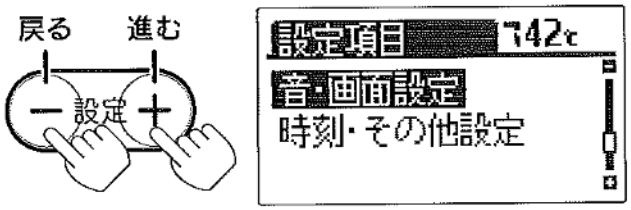
1 ふたを開く

2 機能スイッチ[1]を押す

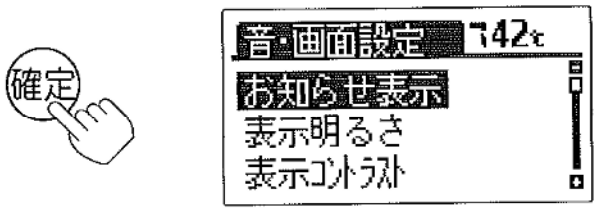
台所リモコン表示画面



3 設定スイッチ[2]を押して「音・画面設定」を選択する

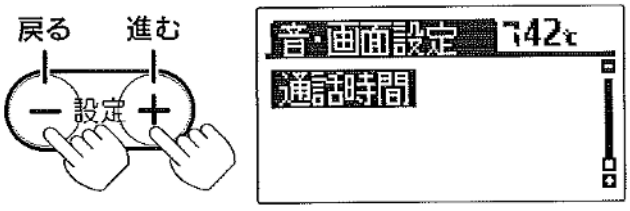


4 確定スイッチ[3]を押す



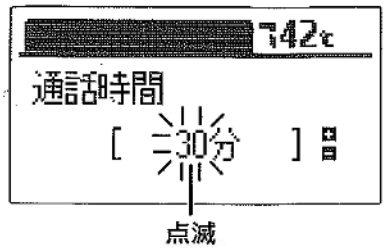
音・画面設定グループの項目を表示します。

5 設定スイッチ[2]を押して「通話時間」を選択する



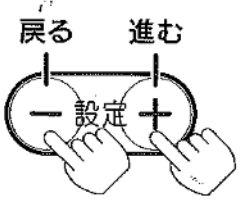
6 確定スイッチ[3]を押す

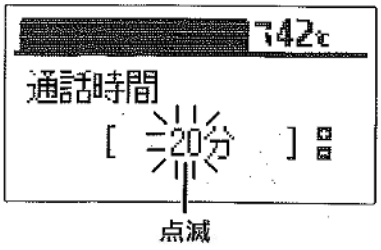




現在の設定が点滅します。

7 設定スイッチ[2]を押して希望の内容を設定する





1分↔5分↔10分↔20分↔30分↔40分↔50分↔60分 の順で変更できます。

8 確定スイッチ[3]を押す





設定の点滅が終了し、音声で「**変更されました**」とお知らせします。
機能スイッチ[1]を押すと「***5***」の表示になり他の機能を続けて設定できます。

9 ふたを閉じる



通常の表示に戻ります。
約 40 秒間操作しない場合も通常の表示に戻ります。

お知らせ

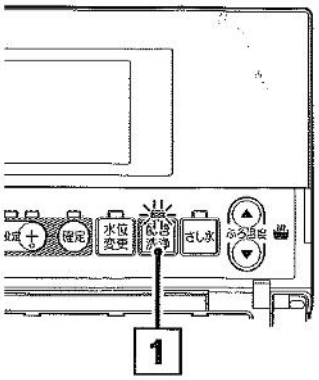
●お買い求め時には「**30 分**」に設定されています。
●途中で設定をやめる場合はふたを閉じてください。通常の表示に戻ります。

配管洗浄機能

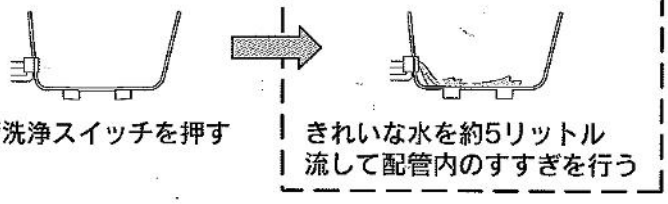
配管内の浴水を排水する場合

●配管にきれいな水(約５リットル)を流して配管内に残った浴水を排水します。

浴室リモコン

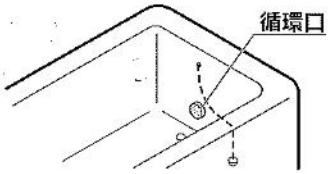


配管洗浄機能の動き



1 ふたを開く

2 浴そうの水位を確認する

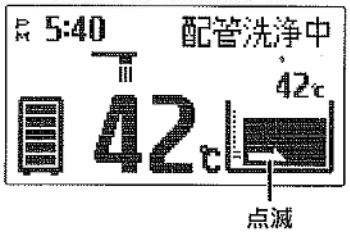


浴そうの排水栓を抜く、または残り湯(水)が循環口より下にあることを確認してください。

3 配管洗浄スイッチ[1]を押す



浴室リモコン表示画面



表示と音声で「**配管を洗浄します**」とお知らせし、配管洗浄ランプが点灯します。
表示画面に「**配管洗浄中**」と「**お湯はり表示**」を表示し、配管洗浄を開始します。

4 配管洗浄終了

配管洗浄が終了すると配管洗浄ランプが消灯し、通常の表示に戻ります。

配管洗浄をやめたいときは

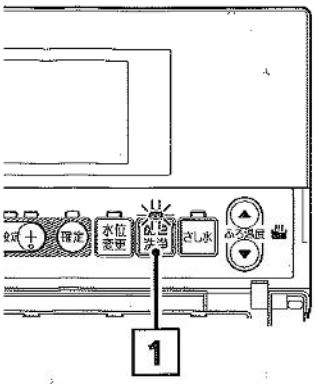


配管洗浄スイッチをもう一度押してください。
配管洗浄ランプが消灯し、通常の表示に戻ります。

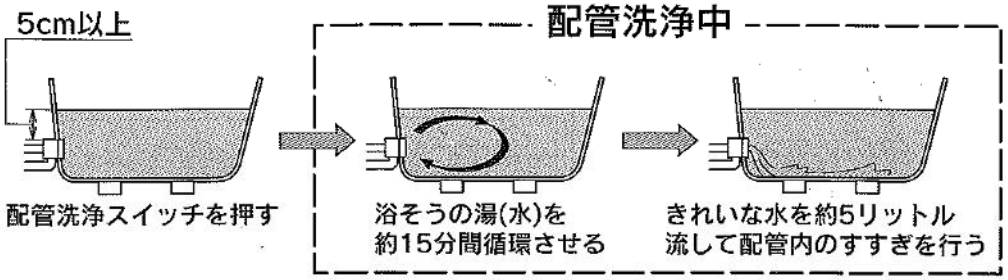
配管洗浄剤を使用して配管洗浄する場合

●配管洗浄剤(別売)を使用し浴そう内の水を循環させてふろ配管を洗浄します。

浴室リモコン



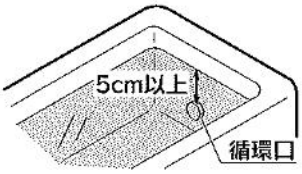
配管洗浄機能の動き



1 ふたを開く

2 浴そうの水位を確認し、指定の配管洗浄剤を入れる

残り湯(水)が循環口より5cm以上あることを確認し、浴そうに配管洗浄剤を入れてよく溶かしてください。

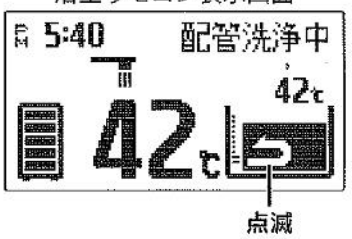


3 配管洗浄スイッチ1を押す

表示と音声で「**配管を洗浄します**」とお知らせし、配管洗浄ランプが点灯します。
表示画面に「**配管洗浄中**」と「**追いだき表示**」を表示し、配管洗浄を開始します。

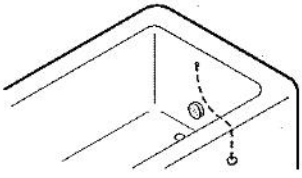


浴室リモコン表示画面



4 配管洗浄終了

配管洗浄が終了すると配管洗浄ランプが消灯し、通常の表示に戻ります。
残り湯(水)を排水して、浴そうをよく水洗いしてください。



配管洗浄をやめたいときは

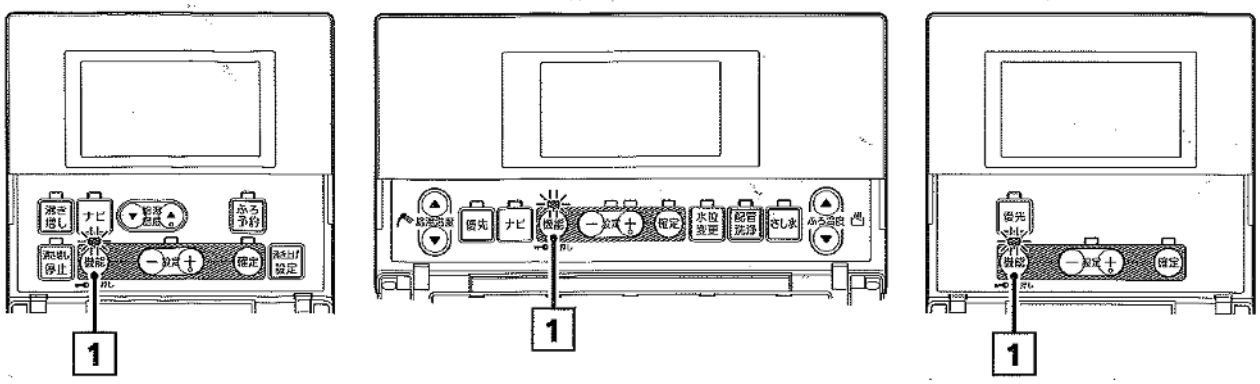
配管洗浄スイッチをもう一度押してください。
配管洗浄ランプが消灯し、通常の表示に戻ります。



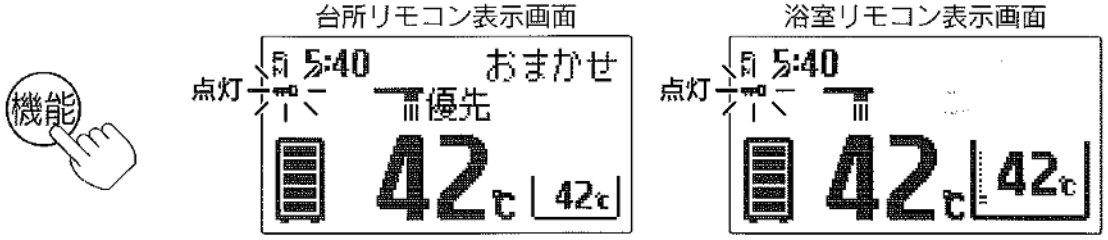
チャイルドロックの設定

●お子様のいたずらによる運転開始、温度変更などを防止します。
● 🔑が点灯しているときは、通話スイッチとナビの操作および「ふろ自動」「追いだき」「高温たし湯」「たし湯」「さし水」「配管洗浄」を停止する操作のみ受け付けます。
その他の操作を行うと表示と音声で「**チャイルドロックが設定されています**」とお知らせします。

台所リモコン　浴室リモコン　増設リモコン



機能スイッチ[1]を３秒間押す



表示と音声で「**チャイルドロックが設定されました**」とお知らせし、🔑が点灯します。

チャイルドロックの解除



機能スイッチ[1]を３秒間押します。🔑が消灯します。

お知らせ

●台所リモコン、浴室リモコン、増設リモコンは別々にチャイルドロックの設定をすることができます。
●停電するとチャイルドロックは解除されます。

災害時などにお湯を取出す方法

●断水時や万一の地震などの災害時は、貯湯タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。

⚠警告

お湯が冷めてから取水してください。
熱湯が出たり、ホースが熱くなりやけどをすることがあります。

1 配管カバー・脚部カバーを取外す 93ページ

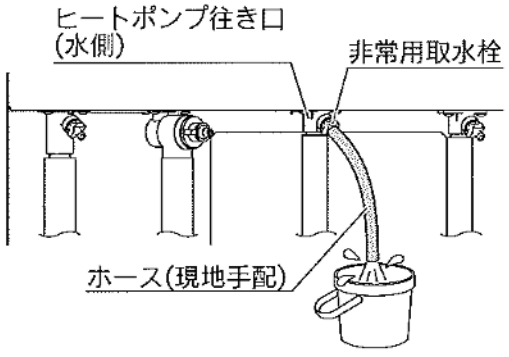
2 操作部のふたを開き、漏電遮断器のレバーを「OFF」にし、ふたを閉じて、貯湯ユニットの給水元栓を閉める

3 点検口のふたを開き、逃し弁のレバーをゆっくり上げる

4 ヒートポンプ往き口(水側)の非常用取水栓にホース(現地手配)を取付ける

5 ヒートポンプ往き口(水側)の非常用取水栓を緩める

非常用取水栓は３周以上回さないでください。非常用取水栓が外れます。
貯湯タンクのお湯(水)をバケツなどで受けて取出します。
出始めに湯あかやゴミが出ることがあります。



取水が終わったら、

非常用取水栓を締め、逃し弁のレバーを下げて点検口のふたを閉じてください。

お知らせ

●再度使用する場合は販売店にご相談ください。

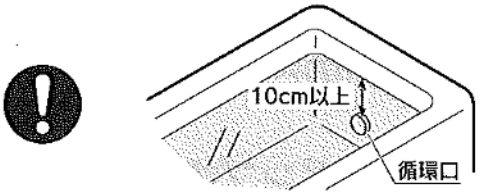
凍結予防

●冬期には凍結のおそれがある地域だけでなく暖かい地方でも、急な寒波のために機器や配管が凍結して破損することがあります。必ず配管の保温工事を行い、冬期には充分注意してください。
●凍結のおそれがある地域では配管やバルブ類に市販の凍結予防ヒータで充分な保温工事を行ってください。
●凍結のおそれがある地域の屋外ではユニット間の配管に厚さ 20mm 以上の保温材を使用してください。
(屋外では配管長 20m 以上の場合は、厚さ 30mm の保温材を使用してください。)
●凍結が予測される場合は浴そうの水を抜かないでください。
●万一凍結した場合は、溶けるまで使用しないでください。
不具合があるときはご自分で修理せず、お買い求めの販売店にご連絡ください。
●屋外温度が 10℃以下の場合、凍結予防のために沸き上げポンプ・循環ポンプ・ヒートポンプユニットが自動的に作動します。異常ではありません。

1 凍結予防装置による方法(自動)

浴そうの水位の確認

必ず循環口より 10cm 以上給水してください。
浴そう内の水を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。



2 水を抜く方法

「長期間使用しない場合」に従って水を抜いてください。 86~88ページ

⚠注意

冬期に水抜きをしない場合は、漏電遮断器のレバーを「OFF」にしないでください。
凍結して破損し、水漏れするおそれがあります。

停電したとき

●約 24 時間以内の停電であれば、停電後も現在時刻は記憶していますが、現在時刻が合っていない場合は設定し直してください。
●夜間時間帯に停電した場合は、翌朝までに沸き上がらない場合があります。

地震などの被害があったとき

●機器の被害を確認し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

使用上の注意

⚠警告

1 やけどに注意

給湯栓を開けると、熱湯が吹き出ることがあります。やけどに注意してください。

⚠注意

2 安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この取扱説明書に従って処置をしてください。

3 感電に注意

漏電遮断器のレバーを濡れた手で触らないでください。また操作部のふたを開いたままにしないでください。雨水やほこりなどが入り、ショート・感電・漏電の原因になります。

4 機器内の水について

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は雑用水として使用してください。
調理に使用したり、飲まないでください。

飲用される場合は下記の点に注意し、必ず沸騰させてください。
- ●必ず水道法に定められた飲用水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- ●熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- ●固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せず直ちに、お買い求めの販売店へ点検を依頼してください。

5 日常の点検・手入れを行う 91~93ページ

安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
漏電遮断器	万一漏電したときに自動的に電源を切ります。	お買い求めの販売店にご連絡ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

修理を依頼する前に

●次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

現　象	説　明
お湯も水も出ない	●断水していませんか。 ●給水元栓を閉めていませんか。 ●凍結していませんか。
お湯が満タンに沸かない	●部分沸き上げになっていませんか。 ナビ表示の湯量モニタで確認してください。 46・47ページ
お湯がぬるい お湯が足りない	●お湯を使いすぎていませんか。シャワーを使うときや、洗いものをするときはお湯をこまめに止めてください。 ●出湯配管が水漏れしていませんか。 ●逃し弁のゴミかみにより水が漏れていませんか。 92ページ ●排水栓が「**排水**」の位置になっていませんか。 ●給湯設定温度・沸き上げ設定は適切ですか。 ●沸き上げ中にお湯を使用していませんか。 ●追いだき運転を頻繁にしていませんか。 ●残り湯で追いだき運転をしていませんか。
汚れたお湯が出る	●近くで断水や水道工事はありませんでしたか。 ●貯湯タンクのお手入れをしていますか。 93ページ
お湯が白く見える	●水中に溶けていた空気が分離して白く見えるためです。
ふろ自動運転や追いだき運転をするとき、循環口から泡が出る	●機器内のお湯の中に空気が混入したり、水中に溶けていた空気が分離するためです。
リモコンの表面が熱く感じる	●使用中は表示画面などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じることがあります。
逃し弁から水が出る	●沸き上げ中は逃し弁の排水ホースから膨張水が出ますが、異常ではありません。
夜間時間帯になっても沸き上げ運転を始めない	●通電制御型のエコアースは水温と残湯量によってはすぐに沸き上げ運転をしないことがあります。翌朝沸き上がっていれば正常です。
夜間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる	●昼間の残湯があるときは、夜間時間帯の終了時間よりも早く沸き上がることがあります。
沸き上げ設定が「**おまかせ**」または「**深夜のみ**」で湯切れした	●「**おまかせ**」設定では過去７日間のお湯の使用量からマイコンが湯量を設定します。来客で多量のお湯を使用するなど、使用量が不規則なときは湯切れすることがあります。また「**深夜のみ**」設定では、冬期やお湯の使用量が多いときは、湯量不足になることがあります。このようなときは沸き増し運転の「**満タン**」に設定して、しばらくお待ちください。 30ページ
寒いときに沸き上げポンプ・循環ポンプ・ヒートポンプユニットが動く音がする	●屋外温度が10℃以下の場合、凍結予防のために沸き上げポンプ・循環ポンプ・ヒートポンプユニットが自動的に作動し、お湯が循環します。異常ではありません。

現　象	説　明
機器内からポンプが動く音がする	●設置後や部品交換後、エア抜きのために熱交循環ポンプが自動的に約10分間作動することがあります。異常ではありません。
断水のときお湯が出ない	●断水のときは貯湯ユニットに給水されないためお湯が出ません。 下記の処置を行ってください。 1.貯湯ユニットの漏電遮断器のレバーを「OFF」にする。 2.貯湯ユニットの給水元栓を閉める。 ●再び使用するときは給水栓から汚れた水が出ないことを確認して貯湯ユニットの給水元栓を開け、給湯栓からお湯(水)が出ることを確認し、漏電遮断器のレバーを「ON」にしてください。
お湯から油が出る お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出ることがありますが、しばらくすると消えます。
沸き上げ中にヒートポンプユニットが霜で白くなる	●冬期運転中は霜がつくことがあります。
ヒートポンプユニットから水や湯気が出る	●ヒートポンプユニットについた霜を取除くと、水や湯気となり出てきます。
沸き上げ中にヒートポンプユニットのドレン口から水が出る	●ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出てきます。
沸き上げ停止中にヒートポンプユニットのファンが回る	**沸き上げが停止した直後** ●保護のため約１分間はヒートポンプユニットのファンが回ります。 **沸き上げが停止しているとき** ●真夏など外気温度が高いときは保護のためにヒートポンプユニットのファンが回ることがあります。
沸き上げが停止した	●電圧が急に大きく変動した場合は保護のために停止することがあります。約３分後に自動的に運転を再開します。
浴そうや水が青く見える	●光の波長の関係で浴そうや水が青く見えることがあります。 また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸が反応して浴そうや洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。

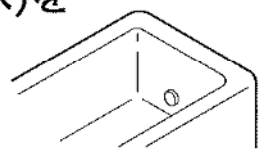
故障・異常の見分けかたと処置方法

現　象	説　明
設定した水位にならない	●設定した水位にならないときは下記の「**ふろ試運転**」を行ってください。

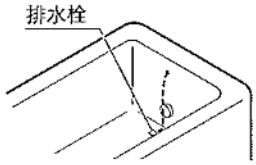
ふろ試運転

●ふろ試運転では浴そうに水をはります。(お湯ではありません。)

1 浴そうのお湯(水)を全部抜く

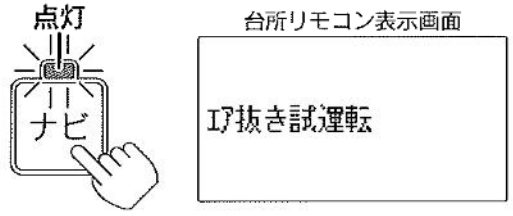


2 排水栓を閉める



3 台所リモコンのナビスイッチを約 10 秒間押す

マニュアル試運転モードに切替わります。
台所リモコン表示画面に「**エア抜き試運転**」と表示します。



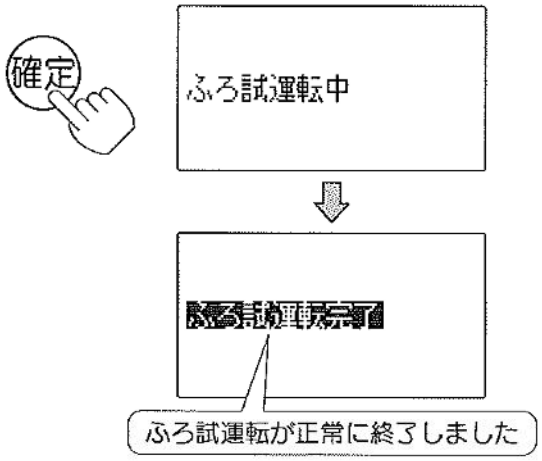
4 ナビスイッチを 2 回押す

台所リモコン表示画面に「**ふろ試運転**」と表示します。



5 確定スイッチを 2 回押す

台所リモコン表示画面に「**ふろ試運転中**」と表示し、ふろ自動を開始します。
ふろ試運転が完了すると、音声で「**ふろ試運転が正常に終了しました**」とお知らせし、台所リモコン表示画面に「**ふろ試運転完了**」と表示します。



6 再度確定スイッチを押す

通常の表示に戻ります。



●ふろ試運転完了後入浴する場合は、必ず浴そうの水を全部抜いてふろ自動運転を行ってください。
●試運転を解除する場合はナビスイッチを約 10 秒間押してください。
●ふろ試運転が完了しても水位が安定しない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
●マニュアル試運転中は浴室リモコン、増設リモコンには「**マニュアル試運転中**」と表示します。
●浴そうにお湯(水)が入っている状態で、ふろ試運転を行うとエラーコード「**F00**」が出て運転を停止します。
この場合は、浴そうの水を全部抜いてから、再度ふろ試運転を行ってください。

エラーコード(警報)表示

エラーコード(警報)はリモコンの表示画面に表示されます。
(機種により表示しないエラーコードがあります。)
エラーコードが表示された場合は84・85ページに従って処置を行ってください。

■貯湯ユニット

	エラーコード	原　因	確認・処置
※1	740	台所リモコン通信異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※1	750	浴室リモコン(増設リモコン)通信異常	
※2	760	リモコン通信異常	
※2	E16	給湯高温検知	給湯中に断水しませんでしたか。
※2	E31	給湯サーミスタ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※3	E32	給水サーミスタ異常	
※2	E65	給湯混合弁異常	
※2	F00	初回残り湯検知	浴そうの水を全部抜いてから、 再度ふろ自動運転を行ってください。
※2	F03	お湯はり時間超過	浴そうの排水栓が抜けていませんか。 お湯はり中に断水しませんでしたか。
※2	F16	お湯はり高温検知	お湯はり中に断水しませんでしたか。
※2	F25	水流スイッチ異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※2	F31	お湯はりサーミスタ異常	
※2	F32	ふろサーミスタ異常	
※2	F43	水位センサ異常	
※2	F45	熱交循環ポンプ異常	
※2	F46	ふろ循環ポンプ異常	
※2	F56	お湯はり異常	お湯はり中に断水しませんでしたか。
※2	F59	循環口漏れ検知	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※2	F63	ふろ循環異常	浴そうの排水栓が抜けていませんか。
※2	F65	お湯はり混合弁異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
※2	H15	缶体高温検知	
※2	H30	缶体上サーミスタ異常	
※3	H31	残湯量サーミスタ1異常	
※3	H32	残湯量サーミスタ2異常	
※3	H33	残湯量サーミスタ3異常	
※3	H34	残湯量サーミスタ4異常	
※3	H35	残湯量サーミスタ5異常	
※2	H57	膨張水三方弁異常	
※3	H70	電源周波数異常	
※2	U45	沸き上げポンプ異常	
※2	U54	沸き上げ三方弁異常	
※3	U76	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間 通信異常	

故障・異常の見分けかたと処置方法

■ヒートポンプユニット

	エラーコード	原　因
※1	E1	制御基板不良
※1	E6	圧縮機起動不良
※1	E7	室外ファンロック
※1	E8	入力過電流検出による停止
※1	EC	出湯温度系異常による停止
※1	F3	吐出管温度制御による停止
※1	FA	ピークカット異常による停止
※1	H0	電圧・電源センサ不良
※1	H3	高圧圧力スイッチ系による停止
※1	H6	位置検出センサ不良による停止
※1	H8	CT系異常検出による停止
※3	H9	外気サーミスタ異常
※3	HC	出湯サーミスタ異常

	エラーコード	原　因
※1	HJ	循環水系統不良
※1	J3	吐出サーミスタ異常
※3	J6	熱交温度サーミスタ異常
※3	J8	入水サーミスタ異常
※3	L4	放熱フィン温度異常
※1	L5	出力過電流検出による停止
※3	P4	放熱フィンサーミスタ系異常
※3	U0	ガス欠検出による停止
※1	U2	電源電圧系異常
※3	U4	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間通信異常
※1	UF	貯湯ユニット～ヒートポンプユニット間誤配管検出

警報解除の方法

●※1のエラーコード(警報)は

《貯湯ユニットの場合》･･･漏電遮断器のレバーを3秒以上「OFF」にした後、再度「ON」にしてから、制御基板上のリセットスイッチを押すと警報解除できますが、現在時刻が消去されますので再度時刻設定が必要です。感電のおそれがあり危険ですのでお客様自身では行わず、お買い求めの販売店にご連絡ください。

《ヒートポンプユニットの場合》･･･漏電遮断器のレバーを3秒以上「OFF」にした後、再度「ON」にします。

●※2のエラーコード(警報)はリモコンのふたを開き、確定スイッチを10秒間押し続けることで警報解除できます。警報解除しても直らない場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●※3のエラーコード(警報)は正常温度検出、または正常作動で自動復帰します。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

●部品は必ずAsahi自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機純正部品(指定された部品)を使用してください。

●故障したままで使用しないでください。

●故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

長期間使用しない場合

●1カ月以上使用しない場合は販売店に相談し、以下の手順に従って水抜きを行ってください。
●1カ月以内の短期間の場合は、**数日間運転を停止する方法[停止日数設定]**に従ってください。
32・33ページ

⚠警告	排水時は配管や排水に手を触れないでゆっくり操作してください。 熱湯が勢いよく出たり、ホースが熱くなることがありますので、やけどに注意してください。
⚠注意	お湯が熱い場合は冷めてから排水してください。

貯湯ユニットの水抜き

1 台所リモコンのふたを開く

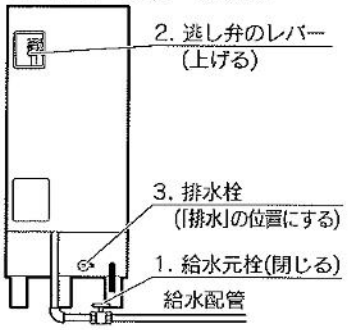
2 沸き増し停止スイッチを押す



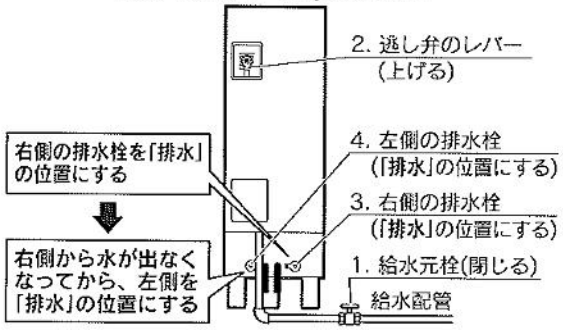
3 配管カバーまたは脚部カバーを取外す 93ページ

4 1. 給水元栓を閉める
2. ゆっくり逃し弁のレバーを上げる
3. ゆっくり排水栓を「排水」の位置にして水を抜く

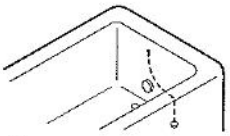
AQT-37CFS・AQT-46CFN



AQT-37CFT・AQT-46CFT



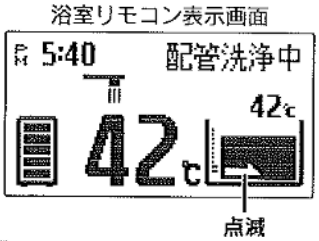
5 浴そうの排水栓を抜く



6 配管洗浄スイッチを押す



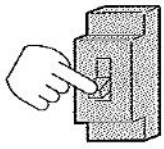
浴室リモコン表示画面



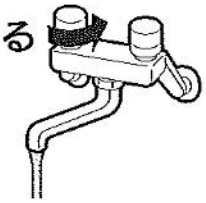
配管洗浄スイッチを押して、配管内の水を出します。

長期間使用しない場合

7 200V電源ブレーカを「切」にする

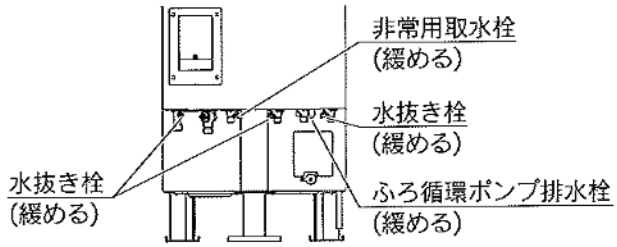


8 給湯栓を開ける

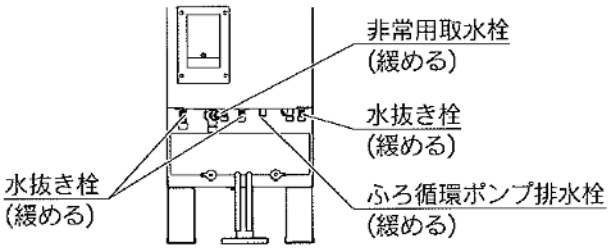


9 ふろ循環ポンプ排水栓、水抜き栓(3カ所)、非常用取水栓を緩めて水を抜く

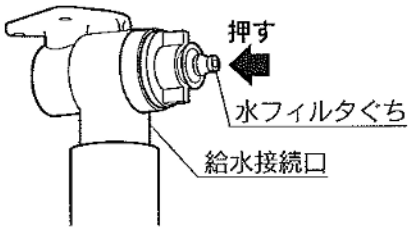
AQT-37CFS・AQT-46CFN



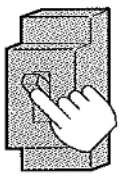
AQT-37CFT・AQT-46CFT



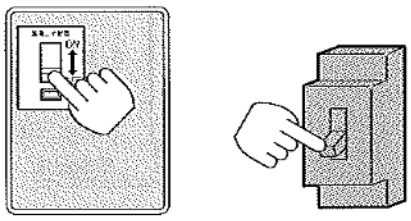
10 9で緩めた各栓から水が出なくなったら、給水接続口の水フィルタぐちを押して水を抜く



11 200V電源ブレーカを「入」にする



12 約1分後に漏電遮断器のレバーを「OFF」にし、200V電源ブレーカを「切」にする



13 水抜きが終了したら貯湯ユニットの逃し弁のレバーを下げ、給湯栓、ふろ循環ポンプ排水栓、水抜き栓(3カ所)、非常用取水栓を閉め、排水栓を「通常」の位置にする

お知らせ

●配管・バルブなどの凍結予防はできませんので、必ず充分に保温してください。

ヒートポンプユニットの水抜き

1 ヒートポンプユニットの閉鎖弁カバーのねじ(1本)を外し、閉鎖弁カバーを下方へスライドさせ取外す

2 ヒートポンプユニットの水抜き栓水側(下側)を取外す

3 ヒートポンプユニットの水抜き栓湯側(上側)を緩める(1～2周程度)

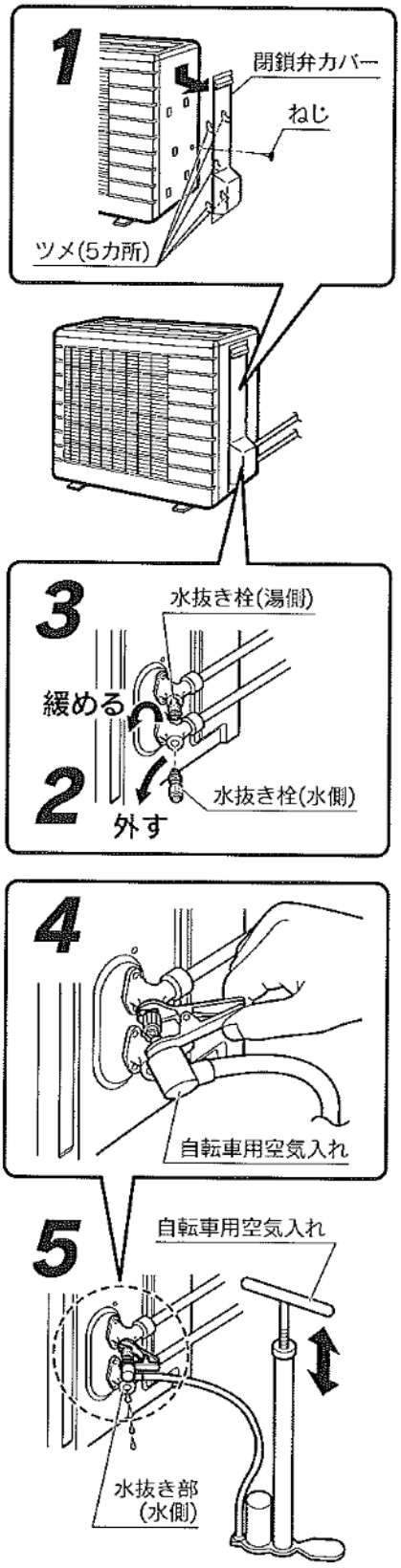
4 緩めた水抜き栓湯側(上側)に自転車用空気入れを取付ける

5 水抜き部(水側)からお湯(水)が出なくなるまで、自転車用空気入れで空気を送り込む(10回程度)

6 自転車用空気入れを取外し、緩めた水抜き栓湯側(上側)を閉める

7 取外した水抜き栓水側(下側)を取付ける

8 閉鎖弁カバーのツメ(5カ所)をはめて、上方へスライドさせ、ねじ(1本)を取付ける



お知らせ

- 配管・バルブなどの凍結予防はできませんので、必ず充分に保温してください。
- 再度使用する場合は販売店にご相談ください。

水抜き後の再使用方法

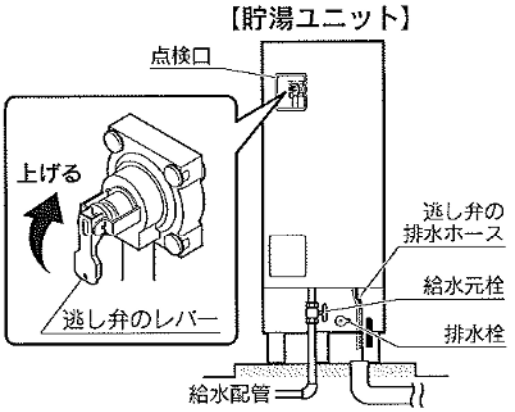
●水抜き後に再使用するときは下記の「**エア抜き試運転**」を行ってください。

エア抜き試運転

1 水を貯める準備

●貯湯ユニットの漏電遮断器のレバーが「OFF」になっていることを確認してください。

●点検口のふたを開き、逃し弁のレバーを上げます。



2 貯湯タンクを満水にする

(1)貯湯ユニットの排水栓が「通常」の位置になっていることを確認します。

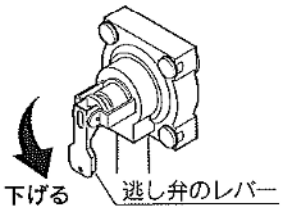
貯湯ユニットの排水栓位置



(2)給水元栓を開けます。

(3)逃し弁の排水ホースから連続的に水が出ることを確認します。
水が出るまで約20～30分かかります。

> 逃し弁の排水ホースから連続的に水が出れば貯湯タンクは満水です。

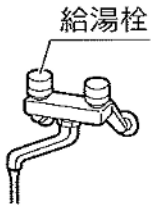


(4)逃し弁のレバーを下げ、点検口のふたを閉じます。

(5)混合水栓の給湯栓を開けて水を流します。
(サーモスタット付混合水栓の場合は40℃に設定して水を流します。)

(6)給湯栓を閉めます。

【混合水栓】



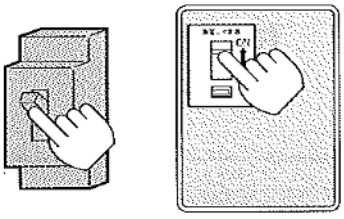
3 電源投入

(1)200V電源ブレーカを「入」にします。

(2)貯湯ユニットの漏電遮断器のレバーを「ON」にします。

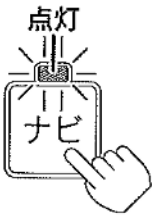
(3)通電していない時間が約24時間以内であれば、現在時刻を記憶していますが、現在時刻が合っていない場合は設定し直してください。

17・18ページ



4 台所リモコンのナビスイッチを約10秒間押す

マニュアル試運転モードに切替わります。
台所リモコン表示画面に「**エア抜き試運転**」と表示します。



台所リモコン表示画面

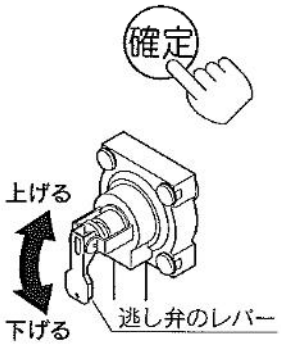


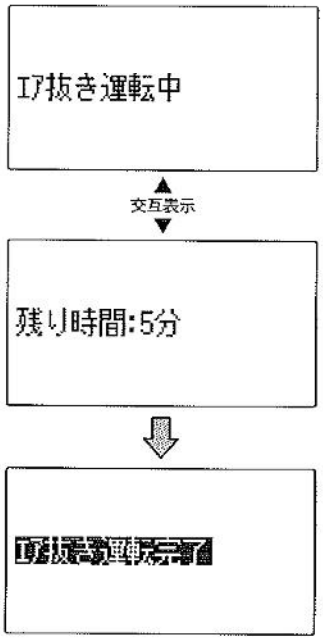
5 確定スイッチを押す

台所リモコン表示画面に「**エア抜き運転中**」と「**残り時間:○分**」を交互に表示し、エア抜き運転を開始します。

> 「**エア抜き運転中**」と「**残り時間:○分**」を交互に表示しているときに逃し弁のレバーを上げます。約20秒間経過してからレバーを下げてください。

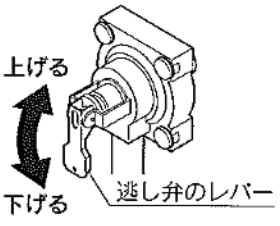
エア抜き運転が終了すると、台所リモコン表示画面に「**エア抜き運転完了**」と表示します。

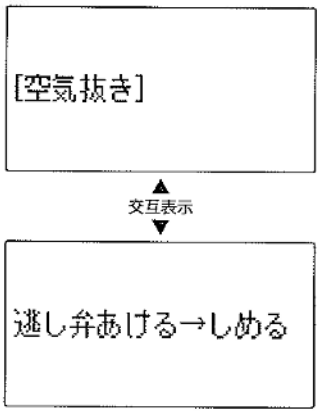




6 確定スイッチを押す

台所リモコン表示画面に「**[空気抜き]**」と「**逃し弁あける→しめる**」を交互に表示します。
逃し弁のレバーを上げて貯湯タンク内の空気を抜いてください。
空気混じりに出ていた水が連続的に出てくるようになったら逃し弁のレバーを下げてください。





7 確定スイッチを押す

通常の表示に戻ります。





お知らせ

- 試運転を解除する場合はナビスイッチを約10秒間押してください。
- 貯湯タンクが満水になっていない状態でエア抜き試運転を行うと、「**試運転異常**」と「**U45**」を表示し運転を停止します。確定スイッチを約10秒間押すと警報が解除され通常表示になります。貯湯タンクが満水になっていることを確認して、再度エア抜き試運転を行ってください。

日常の点検・手入れのしかた

点検・手入れの際のご注意

⚠注意

- ●点検・手入れの際は手袋などの保護具を着用してください。
- ●部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- ●異常がある場合は販売店にご連絡ください。

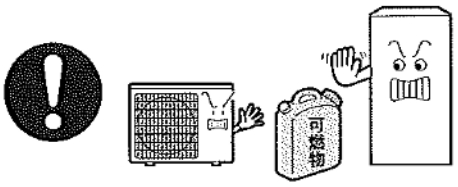
点検・手入れの時期、必要項目、方法

毎日

周囲の確認

⚠警告

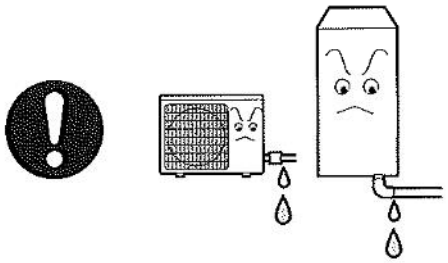
機器の周囲に可燃物・灯油・ガス・ガソリンなど引火性のもの、危険物などがないことを確認してください。



水漏れの確認

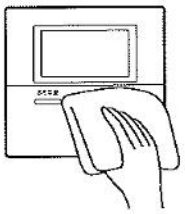
⚠注意

機器・配管・浴そう内の循環口などから水漏れしていないことを確認してください。
ただし、沸き上げ中は逃し弁の排水ホースから膨張水が出ます。



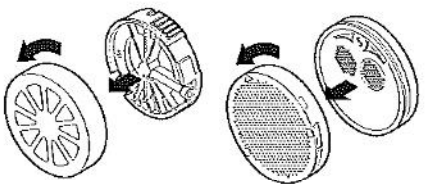
適時に

リモコン



水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装がはがれたり、傷の原因となります。

循環口フィルタの掃除



循環口の形状は種類により異なります。

浴そうを掃除するときは、必ず循環口もはずして歯ブラシなどでフィルタの汚れを掃除してください。ご使用時には必ず取付けてください。

1カ月に1回以上

漏電遮断器の作動確認

⚠警告

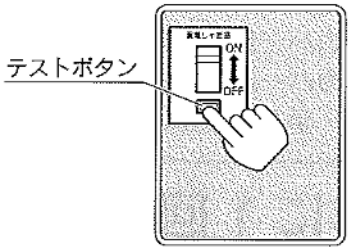
(1)アースが接続されていることを確認します。

(2)操作部のふたを開きます。

(3)漏電遮断器のテストボタンを押します。
「ON」になっている漏電遮断器のレバーが「OFF」になると正常です。

(4)正常であれば漏電遮断器のレバーを「ON」にして、操作部のふたを閉じます。





逃し弁の確認

⚠警告	逃し弁のレバーは熱くなりますので、やけどに注意してください。 また、レバーを急に上げると熱湯が吹き出ることがありますので、ゆっくり操作してください。

(1)点検口のふたを開きます。

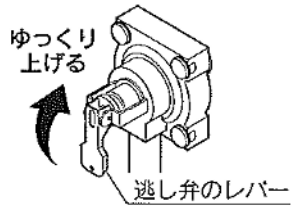
(2)逃し弁のレバーをゆっくり上げて逃し弁の排水ホースから水が出ることを確認します。

(3)レバーを下げて、水が止まることを確認します。

(4)レバーの上げ下げを数回繰り返して、水アカやゴミを流します。

(5)点検口のふたを閉じます。



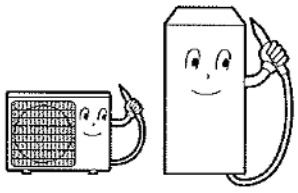


アースの確認

⚠警告

アース線が途中で切れていないか確認してください。

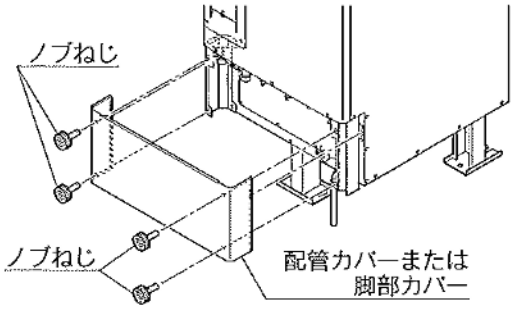




日常の点検・手入れのしかた

配管カバーまたは脚部カバーの外しかた

配管カバーまたは脚部カバーのノブねじ(4本)を外して
配管カバーまたは脚部カバーを取外します。
点検・手入れが終わったら元通りに取付けてください。



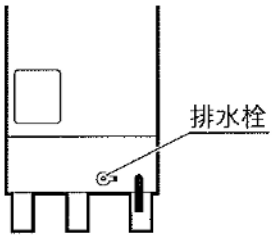
1年に1回以上

貯湯タンクのお手入れ

⚠警告	排水時は配管や排水に手を触れないでゆっくり操作してください。 熱湯が勢いよく出たり、ホースが熱くなることがありますので、やけどに注意してください。
⚠注意	貯湯タンクのお湯が熱い場合は冷めてから排水してください。

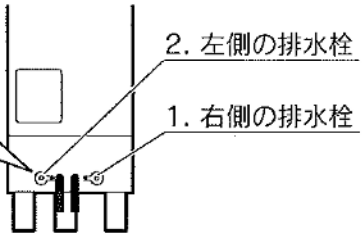
(1)台所リモコンの沸き増し停止スイッチを押します。(沸き増し停止ランプが点灯します。)
(2)ゆっくり排水栓を「**排水**」の位置にして1～2分間排水し、排水栓を「**通常**」の位置にします。
(3)台所リモコンの沸き増し停止スイッチを押します。(沸き増し停止ランプが消灯します。)

AQT-37CFS・AQT-46CFN



AQT-37CFT・AQT-46CFT

右側の排水栓を「排水」の位置にする
↓
1~2分間排水し、排水栓を「通常」の位置にする
↓
左側の排水栓を「排水」の位置にする
↓
1~2分間排水し、排水栓を「通常」の位置にする



給水接続口の水フィルタの点検

給水接続口の水フィルタにゴミがつまると水が出にくくなりますので、販売店に点検を依頼してください。

定期点検

●長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては(社)日本水道協会発行の「**給水用具の維持管理指針**」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度です。
●定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

仕　様

■システム

形名		ASQ-3703FS	ASQ-3703FT
種類		自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機	
適用電力制度		時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)	
機能		高圧力型フルオートタイプ	
電源		単相200V　50/60Hz(制御電源含む)	
運転範囲		−10℃～43℃	
最大電流		17A	
電源容量		20A	
年間給湯効率 ※1		3.3	3.0
付属品		リモコンセット、取扱説明書、取扱ガイド、保証書、ドレンソケット	

■貯湯ユニット

形名			AQT-37CFS	AQT-37CFT
設置区分			屋外(防雨)/屋内兼用型	屋外(防雨)型
タンク容量			370L	
貯湯タンク材質			特殊ステンレス鋼板	
消費電力	熱交循環ポンプ		6W	
	ふろ循環ポンプ		45W	
	沸き上げポンプ		4W	
	制御		4W	
給湯温度	給湯側		約32℃/35℃/37℃～50℃/55℃/60℃	
	浴そう側		約35℃～48℃/60℃	
沸き上げ温度			「多　め」：約75℃～85℃　「深夜のみ」：約65℃、約75℃～85℃ 「おまかせ」：約65℃～90℃	
最高使用圧力			190kPa(1.9kgf/cm²)	
外形寸法			高さ 2,140mm　幅 560mm　奥行 630mm	高さ 1,870mm　幅 1,090mm　奥行 445mm
運転音	給湯時		34dB(A)	
	ふろ・追いだき時		33dB(A)	
質量（満水時）			65kg (435kg)	87kg(457kg)
安全装置			漏電遮断器	
電流ヒューズ			ヒューズ　250V　5A	

■ヒートポンプユニット

形名			AQH-45C
設置区分			屋外(防雨)型
加熱能力		中間期 ※2	4.5kW
		夏期 ※3	4.5kW
		冬期高温 ※4	4.5kW
運転特性	運転電流	中間期 ※2	5.1A
		夏期 ※3	4.7A
		冬期高温 ※4	7.7A
	消費電力	中間期 ※2	0.945kW
		夏期 ※3	0.835kW
		冬期高温 ※4	1.50kW
中間期エネルギー消費効率 ※5			4.8
圧縮機電動機出力			0.98kW
ファン電動機出力			27W
運転音 ※6		中間期 ※2	38dB(A)
		冬期高温 ※4	44dB(A)
外形寸法			高さ 635mm　幅 825mm(＋74mm)　奥行 300mm
質量			55kg
冷媒名			R744(CO_2)
電流ヒューズ			ヒューズ　250V　30A　　ファン電動機用ヒューズ　250V　3.15A

●この仕様数値は50/60Hz共通です。
●停止しているときも、約4～11Wの電力を消費します。(季節によって数値は変わります。)
外気温度が約0℃以下のときは凍結予防を行うため、さらに約30Wの電力を消費することがあります。
●運転特性はJRA4050規格に基づいた数値です。

※1 年間給湯効率は(社)日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050:2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお、掲載値は、省エネモードである「おまかせ(省エネ)」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件などにより変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で42℃のお湯を一日に約425L使用する条件などを想定したものです。
年間給湯効率＝一年で使用する給湯に係る熱量÷一年間で必要な消費電力量
※2 中間期加熱条件(外気温度16℃DB/12℃WB、給水温度17℃、出湯温度65℃)
※3 夏期加熱条件(外気温度25℃DB/21℃WB、給水温度24℃、出湯温度65℃)
※4 冬期高温加熱条件(外気温度7℃DB/6℃WB、給水温度9℃、出湯温度90℃)
※5 中間期の消費電力1kWあたりの加熱能力を表したものです。　中間期エネルギー消費効率＝中間期加熱能力÷中間期消費電力
※6 運転音は、JRA4050規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

仕　様

■システム

形名		ASQ-4603FN	ASQ-4603FT
種類		自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機	
適用電力制度		時間帯別電灯/季節別時間帯別電灯対応通電制御型(マイコン型)	
機能		高圧力型フルオートタイプ	
電源		単相200V　50/60Hz(制御電源含む)	
運転範囲		−10℃～43℃	
最大電流		19A	
電源容量		20A	
年間給湯効率 ※1		3.3	3.0
付属品		リモコンセット、取扱説明書、取扱ガイド、保証書、ドレンソケット	

■貯湯ユニット

形名		AQT-46CFN	AQT-46CFT
設置区分		屋外(防雨)/屋内兼用型	屋外(防雨)型
タンク容量		460L	
貯湯タンク材質		特殊ステンレス鋼板	
消費電力	熱交循環ポンプ	6W	
	ふろ循環ポンプ	45W	
	沸き上げポンプ	10W	
	制御	4W	
給湯温度	給湯側	約32℃/35℃/37℃～50℃/55℃/60℃	
	浴そう側	約35℃～48℃/60℃	
沸き上げ温度		「多　め」：約75℃～85℃　「深夜のみ」：約65℃、約75℃～85℃ 「おまかせ」：約65℃～90℃	
最高使用圧力		190kPa(1.9kgf/cm²)	
外形寸法		高さ 2,170mm　幅 630mm　奥行 730mm	高さ 1,870mm　幅 1,190mm　奥行 495mm
運転音	給湯時	34dB(A)	
	ふろ・追いだき時	33dB(A)	
質量(満水時)		78kg(538kg)	95kg(555kg)
安全装置		漏電遮断器	
電流ヒューズ		ヒューズ　250V　5A	

■ヒートポンプユニット

形名			AQH-60C
設置区分			屋外(防雨)型
加熱能力		中間期 ※2	6.0kW
		夏期 ※3	4.5kW
		冬期高温 ※4	6.0kW
運転特性	運転電流	中間期 ※2	7.1A
		夏期 ※3	5.1A
		冬期高温 ※4	10.3A
	消費電力	中間期 ※2	1.305kW
		夏期 ※3	0.875kW
		冬期高温 ※4	2.00kW
中間期エネルギー消費効率 ※5			4.6
圧縮機電動機出力			1.11kW
ファン電動機出力			27W
運転音 ※6		中間期 ※2	40dB(A)
		冬期高温 ※4	45dB(A)
外形寸法			高さ 635mm　幅 825mm(+74mm)　奥行 300mm
質量			56kg
冷媒名			R744(CO_2)
電流ヒューズ			ヒューズ　250V　30A　ファン電動機用ヒューズ　250V　3.15A

●この仕様数値は50/60Hz共通です。
●停止しているときも、約4～11Wの電力を消費します。(季節によって数値は変わります。)
外気温度が約0℃以下のときは凍結予防を行うため、さらに約30Wの電力を消費することがあります。
●運転特性はJRA4050規格に基づいた数値です。

※1 年間給湯効率は(社)日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050:2007Rに基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件※のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお、掲載値は、省エネモードである「おまかせ(省エネ)」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定やご使用条件などにより変わります。
※一定の条件とは、東京・大阪を平均した気象条件・給水温度で42℃のお湯を一日に約425L使用する条件などを想定したものです。
年間給湯効率＝一年で使用する給湯に係る熱量÷一年間で必要な消費電力量
※2 中間期加熱条件(外気温度16℃DB/12℃WB、給水温度17℃、出湯温度65℃)
※3 夏期加熱条件(外気温度25℃DB/21℃WB、給水温度24℃、出湯温度65℃)
※4 冬期高温加熱条件(外気温度7℃DB/6℃WB、給水温度9℃、出湯温度90℃)
※5 中間期の消費電力1kWあたりの加熱能力を表したものです。　中間期エネルギー消費効率＝中間期加熱能力÷中間期消費電力
※6 運転音は、JRA4050規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

アフターサービス

修理を依頼するとき

修理を依頼する前に81～85ページの「**故障・異常の見分けかたと処置方法**」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品　名……Asahi自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機
2. 形　名……ASQ-3703FS
   ASQ-4603FN
   ASQ-3703FT
   ASQ-4603FT
3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況……できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日

転居または機器を移設する場合

●転居する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
●移設は販売店に依頼し、お客様自身で行わないでください。

保証・修理について

この機器には「保証書」がついています

●正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。
お買い求めの販売店にご相談ください。
●保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
●家庭用の給湯以外の特殊な使用方法でのクレーム発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
●凍結やスケール(石灰づまり)による故障の場合は保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品について

自然冷媒(CO_2)ヒートポンプ給湯機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後９年です

●性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

Asahi
朝日ソーラー株式会社
〒870-0844 大分県大分市古国府1003-2
TEL:(097)546-7500(代) FAX:(097)546-7555
http://www.asahisolar.co.jp
フリーコール:0120-268-315

販 売 店

PRINTED WITH SOY INK™
この印刷物は環境に配慮し、天然成分で作られた有害物質の少ない大豆油インキを使用しています。